

東芝デジタル複合機

設定管理ガイド

e-STUDIO2000AC

e-STUDIO2505AC/3505AC/4505AC/5005AC

e-STUDIO2508A/3508A/4508A/5008A

e-STUDIO5506AC/6506AC/7506AC

e-STUDIO6508A/8508A

PAPER REUSING SYSTEM
Loops
LP35

PAPER REUSING SYSTEM
Loops
LP45

PAPER REUSING SYSTEM
Loops
LP50

©2016, 2017 TOSHIBA TEC CORPORATION All rights reserved

本書は、著作権法により保護されており、東芝テック株式会社の承諾がない場合、本書のいかなる部分もその複写、複製を禁じます。


はじめに


このたびは東芝デジタル複合機をお買い上げいただきまして、まことにありがとうございます。この取扱説明書は、本機タッチパネルの「設定/登録」や「カウンタ」から行う操作や設定について説明しています。本機をお使いになる前に本書をよくお読みください。


■ 本書の読みかた


本文中の記号について

本書では、重要事項には以下の記号を付けて説明しています。これらの内容については必ずお読みください。

 **警告** 「誤った取り扱いをすると人が死亡する、または重傷*1を負う可能性があること」を示しています。

 **注意** 「誤った取り扱いをすると人が傷害*2を負う可能性、または物的損害*3のみが発生する可能性があること」を示しています。

 **注意** 操作するうえでご注意いただきたい事柄を示しています。

 **補足** 操作の参考となる事柄や、知っておいていただきたいことを示しています。



関連事項を説明しているページを示しています。必要に応じて参照してください。

*1 重傷とは、失明やけが・やけど（高温・低温）・感電・骨折・中毒などで、後遺症が残るものおよび治療に入院・長期の通院を要するものを指します。

*2 傷害とは、治療に入院や長期の通院を要さない、けが・やけど・感電を指します。

*3 物的損害とは、財産・資材の破損にかかわる拡大損害を指します。

本書の対象読者について

本書は一般使用者および機器管理者向けの取扱説明書です。

本書の対象機種について

本書の対象機種は、本文中で以下のように表記しています。

対象機種	本文中の表記
e-STUDIO2000AC	e-STUDIO5005AC Series
e-STUDIO2505AC/3505AC/4505AC/5005AC	
e-STUDIO2508A/3508A/4508A/5008A	e-STUDIO5008A Series
e-STUDIO5506AC/6506AC/7506AC	e-STUDIO7506AC Series
e-STUDIO6508A/8508A	e-STUDIO8508A Series
Loops LP35/LP45/LP50	Loops LP50 Series

オプション機器について

使用可能なオプション機器は、お使いの機種のかんたん操作ガイドをご覧ください。

本文中のタッチパネル画面について

タッチパネル画面はオプション機器の装着状況など、ご使用の環境によって異なる場合があります。

本文中の記載名称について

本書では、両面同時原稿送り装置と自動両面原稿送り装置を、どちらも自動原稿送り装置と記述して説明しています。

商標について

商標については安全にお使いいただくためにをご覧ください。

目次

はじめに.....	3
本書の読みかた	3

第1章 設定項目（ユーザ設定）

ユーザ設定メニューに入る	10
機器設定.....	11
表示言語を変更する.....	11
ハイコントラスト表示を設定する	11
ディスプレイを調整する	12
簡易階調補正を設定する	12
自動階調補正を設定する	12
位置を補正する.....	12
ファンクションボタンの機能を表示する	12
コピー設定	13
ファクス設定	15
スキャン設定	17
ファイリングボックス.....	19
リスト印刷	20
カセット.....	21
用紙サイズを設定する	21
用紙種類を設定する.....	22
アドレス帳.....	23
アドレス帳を管理する	23
グループを管理する.....	27
Eメール確認.....	28
インターネットファクス設定	29
プリント.....	30
Bluetooth印刷	31
Wi-Fi Direct設定.....	32
SSIDとパスフレーズによる接続を設定する	32

第2章 設定項目（管理者設定）

管理者設定メニューに入る	35
機器設定.....	37
機器情報を設定する.....	39
メール通知を設定する	39
パスワードを管理する/サービス用パスワードをリセットする.....	40
日時を設定する.....	41
節電モードを設定する	41
自動階調補正と位置合わせの操作を設定する	43
自動階調補正を設定する	44
画像粗さを切り替える	45
位置を補正する.....	46
ステータスメッセージを設定する	46
オートクリアを設定する	46
オプションのライセンスを管理する	46
表示言語を追加/削除する	50
システムをアップデートする	54

複製データを作成/インストールする	56
電源オフ画面の表示/電源オフ時の動作を設定する	60
ログをエクスポートする	60
ジョブスキップを設定する	61
キーボード設定を変更する	61
帯電チャージャとLEDプリントヘッドをクリーニングする	62
ポップアップメッセージを設定する	62
原稿送り装置のスジ低減レベルを設定する	62
セルフチェック間隔を設定する	63
ファンクションボタンの機能を設定する	63
ブルー印刷濃度を設定する	63
データバックアップ/リストアを設定する	63
ネットワーク設定	68
TCP/IPプロトコルを設定する (IPv4)	69
TCP/IPプロトコルを設定する (IPv6)	70
IPX/SPXプロトコルを設定する	76
NetWareを設定する	76
SMBプロトコルを設定する	77
AppleTalkプロトコルを設定する	78
HTTPネットワークサービスを設定する	78
Ethernet速度を設定する	79
LDAP、フィルタリング機能、リンクダウン検出を設定する	79
IPセキュリティを設定する	80
ネットワーク状態を確認する	81
コピー設定	82
ファクス設定	84
自局名を登録する	84
初期設定をする	85
記録モードを設定する	87
復活送信を設定する	88
回線増設ユニットを設定する	88
機密受信を設定する	88
ファイル設定	90
Eメール設定	91
Eメールの件名を設定する	92
インターネットファクス設定	93
セキュリティ設定	94
証明書を管理する	94
セキュアPDFの初期設定をする	98
インテグリティチェックを実行する	100
リスト印刷/レポート設定	102
レポート出力を設定する	102
リストを印刷する	106
プリンタ/ファイリングボックス	107
無線LAN	109
セキュリティモードを設定する	109
設定内容	110
Bluetooth	112
システムの初期化	113
USBケーブル印刷	115
カセット	116
ユーザパスワード変更	117

IEEE 802.1X認証設定	118
-----------------------	-----

第3章 カウンタの管理

カウンタ管理メニューに入る	124
トータルカウンタ	125
プリントカウンタを表示する	126
スキャンカウンタを表示する	126
OCRカウンタを表示する	126
トータルカウンタ印刷	127
部門管理カウンタ	128
部門プリントカウンタを表示する	129
部門スキャンカウンタを表示する	129
部門ファクス通信カウンタを表示する	129
部門OCRカウンタを表示する	129
部門管理	130
部門コードリストを印刷する	131
部門管理の有効/無効を設定する	131
部門コードを登録/変更/削除する	131
全部門一括制限の有効/無効を設定する	137
白黒無制限の有効/無効を設定する	137
コピー /プリント割当を初期化する	137
全部門のカウンタをリセットする	138
全部門を削除する	138
ユーザ別カウンタ	139

第4章 付録

ホーム画面設定	142
文字入力のしかた	144
文字入力画面	144
外部接続キーボードの使用	145
番号入力画面	145
リスト印字	146
ネットワーク設定ページ	146
システム設定リスト (管理者)	148
区点コード表	168

索引	175
----------	-----

設定項目（ユーザ設定）

ユーザ設定メニューに入る	10
機器設定	11
表示言語を変更する	11
ハイコントラスト表示を設定する	11
ディスプレイを調整する	12
簡易階調補正を設定する	12
自動階調補正を設定する	12
位置を補正する	12
ファンクションボタンの機能を表示する	12
コピー設定	13
ファクス設定	15
スキャン設定	17
ファイリングボックス	19
リスト印刷	20
カセット	21
用紙サイズを設定する	21
用紙種類を設定する	22
アドレス帳	23
アドレス帳を管理する	23
グループを管理する	27
Eメール確認	28
インターネットファクス設定	29
プリント	30
Bluetooth印刷	31
Wi-Fi Direct設定	32
SSIDとパスフレーズによる接続を設定する	32

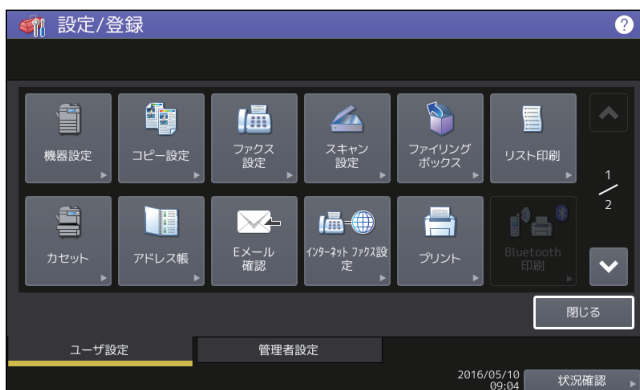
ユーザ設定メニューに入る

以下の手順で、ユーザ設定メニューを表示します。

補 足

- 文字入力画面の詳細は、以下のページを参照してください。
📖 P.144 「文字入力画面」
- 番号入力画面の詳細は、以下のページを参照してください。
📖 P.145 「番号入力画面」

- 1 ホーム画面の【設定登録】を押して、設定/登録メニューに入ります。
- 2 【ユーザ設定】タブを押します。
ユーザ設定メニューが表示されます。
- 3 必要なユーザ設定操作を続けて行います。



ユーザ設定画面には、以下のボタンがあります。詳細は各参照先をご覧ください。

- 📖 P.11 「機器設定」
- 📖 P.13 「コピー設定」
- 📖 P.15 「ファクス設定」
- 📖 P.17 「スキャン設定」
- 📖 P.19 「ファイリングボックス」
- 📖 P.20 「リスト印刷」
- 📖 P.21 「カセット」
- 📖 P.23 「アドレス帳」
- 📖 P.28 「Eメール確認」
- 📖 P.29 「インターネットファクス設定」
- 📖 P.30 「プリント」
- 📖 P.31 「Bluetooth印刷」
- 📖 P.32 「Wi-Fi Direct設定」

注 意

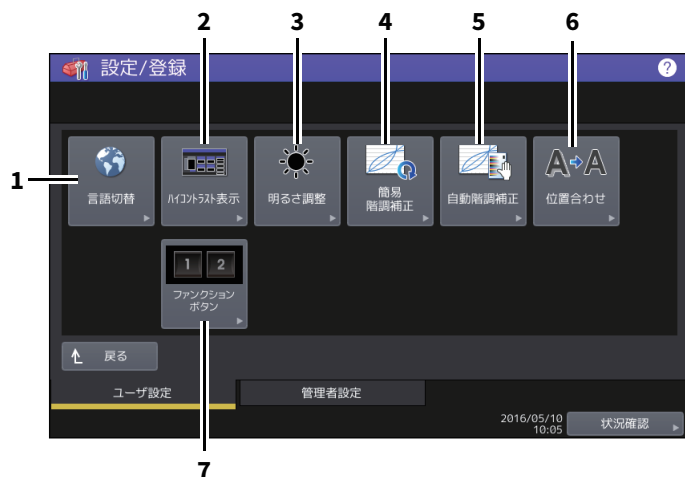
- 表示されるボタンは、機種によって異なります。
- ユーザ管理を行っている場合、管理者権限を持たないユーザで本機にログインすると、[管理者設定] タブは使用できません。

機器の初期設定を変更します。

補足

機器設定メニューを表示する手順は、以下のページを参照してください。

📖 P.10 「ユーザー設定メニューに入る」



このメニューでは、以下の操作を行います。

	項目名	機能説明
1	言語切替	📖 P.11 「表示言語を変更する」
2	ハイコントラスト表示	📖 P.11 「ハイコントラスト表示を設定する」
3	明るさ調整	📖 P.12 「ディスプレイを調整する」
4	簡易階調補正	📖 P.12 「簡易階調補正を設定する」
5	自動階調補正	📖 P.12 「自動階調補正を設定する」
6	位置合わせ	📖 P.12 「位置を補正する」
7	ファンクションボタン	📖 P.12 「ファンクションボタンの機能を表示する」

注意

表示されるボタンは、機種によって異なります。

■ 表示言語を変更する

タッチパネルの表示言語を変更します。表示したい言語を選択して [OK] を押すと、タッチパネルの表示が、選択した言語に切り替わります。

補足

表示言語を追加する場合は、以下のページを参照してください。

📖 P.50 「表示言語を追加/削除する」

■ ハイコントラスト表示を設定する

タッチパネルをハイコントラストで表示します。ハイコントラスト表示にする場合は [オン] を、通常表示にする場合は [オフ] を押します。

■ ディ스플레이を調整する

タッチパネルのコントラストを調整します。

[-] または [+] を押して、希望の明るさに調節します。

補足

[リセット] を押すと、明るさ調整の値を工場出荷時の状態に戻します。

■ 簡易階調補正を設定する

本機の画像の階調を自動補正します。濃淡や色合いが思うように再現されない場合に使います。画面の指示に従って操作してください。

補足

- このメニューは一部の機種のみ表示されます。
- より精細に画像の濃淡や色合いを調整したい場合は、「自動階調補正」をお使いください。

■ 自動階調補正を設定する

本機の画像の階調を自動補正します。濃淡や色合いが思うように再現されない場合に使います。「簡易階調補正」よりも精細な調整が可能です。

自動階調補正の手順は、管理者設定メニューから行った場合と同じです。

以下のページを参照してください。

📖 P.44 「自動階調補正を設定する」

注意

ユーザ設定メニューの「自動階調補正」は、管理者設定メニューの「表示レベル」で、「自動階調補正」の設定を [ユーザ] に設定したときに表示されます。表示レベルを変更する操作については、以下のページを参照してください。

📖 P.43 「自動階調補正と位置合わせの操作を設定する」

■ 位置を補正する

色ズレが発生したときに、位置を補正します。

位置合わせの手順は、管理者設定メニューから行った場合と同じです。

以下のページを参照してください。

📖 P.46 「位置を補正する」

注意

ユーザ設定メニューの「位置合わせ」は、管理者設定メニューの「表示レベル」で、「位置合わせ」の設定を [ユーザ] に設定したときに表示されます。

表示レベルを変更する操作については、以下のページを参照してください。

📖 P.43 「自動階調補正と位置合わせの操作を設定する」

補足

このボタンは、一部の機種のみ表示されます。


■ ファンクションボタンの機能を表示する


操作パネルのファンクションボタンに割り当てられている機能を確認できます。




コピー設定

コピー操作時の初期設定を変更します。

補足

- 設定画面のページ数や設定項目は、機種によって異なります。
- コピー設定画面を表示する手順は、以下のページを参照してください。
 P.10 「ユーザ設定メニューに入る」
- コピー機能の詳細は、**コピーガイド**を参照してください。

項目名	機能説明
濃度	モノクロ機の設定項目です。コピー操作時の読み取り濃度の初期値を設定します。 <ul style="list-style-type: none"> • 自動：原稿に合わせて自動的に濃度を設定します。 • 手動：濃度を手動で設定します。
濃度調整（カラー）	カラー機の設定項目です。カラーコピー操作時の読み取り濃度の初期値を設定します。 <ul style="list-style-type: none"> • 自動：原稿に合わせて自動的に濃度を設定します。 • 手動：濃度を手動で設定します。
濃度調整（ブルー）	Loops LP50 Seriesでブルートナー使用時の設定項目です。コピー操作時の読み取り濃度の初期値を設定します。 <ul style="list-style-type: none"> • 自動：原稿に合わせて自動的に濃度を設定します。 • 手動：濃度を手動で設定します。
濃度調整（白黒）	カラー機とLoops LP50 Seriesの設定項目です。白黒コピー操作時の読み取り濃度の初期値を設定します。 <ul style="list-style-type: none"> • 自動：原稿に合わせて自動的に濃度を設定します。 • 手動：濃度を手動で設定します。
トナーモード	Loops LP50 Seriesで使用するトナーを設定します。 <ul style="list-style-type: none"> • ブルー：ブルートナーを使用する設定にします。 • 白黒：黒トナーを使用する設定にします。
カラーモード	カラー機の設定項目です。コピー時に初期設定として適用するカラーモードのボタンを押します。白黒無制限（  P.137）が有効になっている場合は、[白黒]のみ選択することができます。
コピー設定手差し用紙	手差し給紙の初期設定として適用する用紙種類のボタンを押します。また、用紙の裏面にコピーする場合は、用紙種類のボタンを押してから、「印刷面」で[うら]を押します。 表示される用紙種類は、機種によって異なります。用紙種類の詳細については、 用紙準備ガイド 第1章「用紙をセットする」 を参照してください。
原稿モード	モノクロ機の設定項目です。コピー時に初期設定として適用する原稿モードのボタンを押します。
カラー原稿モード	カラー機の設定項目です。カラーコピー時に初期設定として適用する原稿モードのボタンを押します。
ブルー原稿モード	Loops LP50 Seriesでブルートナー使用時の設定項目です。ブルートナー選択コピー時に初期設定として適用する原稿モードボタンを押します。
白黒原稿モード	カラー機とLoops LP50 Seriesの設定項目です。白黒コピー時に初期設定として適用する原稿モードのボタンを押します。
自動カラー選択時の原稿モード	カラー機の設定項目です。自動カラー選択コピー時に初期設定として適用する原稿モードボタンを押します。

項目名	機能説明
白紙ページ 除去判定レベル	<p>コピー操作時にスキャンした原稿が白紙ページと判定された場合に、白紙ページを自動的に削除するための判断基準を設定します。</p> <p> を押しスライドバーを右に設定すると、スキャンした原稿は白紙と判定されやすくなります。</p> <p>機能の詳細は、コピーガイド 第3章「応用的なコピーのしかた」を参照してください。</p>
自動カラー選択判定レベル	<p>カラー機の設定項目です。自動カラー選択コピー時に、スキャンした原稿がカラー原稿か白黒原稿かを判定するための判断基準を設定します。</p> <p> を押しスライドバーを右に設定すると、カラー原稿と判定されやすくなります。</p> <p> を押しスライドバーを左に設定すると、白黒原稿と判定されやすくなります。</p>
ページ集約	<p>ページ集約コピー時に初期設定として適用する項目ボタンを押します。</p> <ul style="list-style-type: none"> • 縦書き：ページ集約コピーで右から左および上から下にページをレイアウトし印刷します。 • 横書き：ページ集約コピーで左から右および上から下にページをレイアウトし印刷します。
ブック両面	<p>ブック両面コピー時に初期設定として適用する項目ボタンを押します。</p> <ul style="list-style-type: none"> • 左とじ：左側にページをめくる冊子（主に横書きの冊子）をコピーします。 • 右とじ：右側にページをめくる冊子（主に縦書きの冊子）をコピーします。
製本	<p>製本コピー時に初期設定として適用する項目ボタンを押します。</p> <ul style="list-style-type: none"> • 左とじ：製本コピーで右ページから冊子が開くように製本します。 • 右とじ：製本コピーで左ページから冊子が開くように製本します。

ファクス設定

ファクス・インターネットファクス機能の初期設定を変更します。ファクスの送受信には、FAXユニットが必要です。

補足

- FAXユニットが装着されていない場合は、「解像度」、「原稿モード」、「濃度」、および「プレビュー設定」のみ設定できます。
- FAXユニットが装着されていない場合には、このメニューで設定する項目は、インターネットファクス送信に適用されます。
- お使いの機種によっては、「ファクス設定」はスキャナキットまたはプリンタ/スキャナキットが装着されている場合にのみ有効です。
- ファクス設定画面を表示する手順は、以下のページを参照してください。
📖 P.10 「ユーザ設定メニューに入る」


項目名	機能説明
解像度	原稿の精細度に応じた読み取り解像度を選択します。 <ul style="list-style-type: none">• 普通：普通の大きさの文字による原稿に適しています。• 精細：小さな文字や細かい図などを含む原稿に適しています。• 高精細：精密な図などを含む原稿に適しています。 <p>補足</p> 宛先の装置に同じ解像度の受信能力がない場合は、解像度を自動的に変換して送信します。また、解像度を細かくするほど送信時間は長くなります。
原稿モード	原稿のタイプに応じた読み取りモードを選択します。 <ul style="list-style-type: none">• 文字：文字や線画による原稿に適しています。• 文字/写真：文字と写真が混在している原稿に適しています。• 写真：写真原稿に適しています。 <p>補足</p> 文字/写真モードと写真モードは、文字モードよりも送信時間が長くなる場合があります。
送信方法	ファクスの送信方法です。 <ul style="list-style-type: none">• メモリ送信：原稿をいったんメモリへ蓄積してから自動的に送信します。メモリ送信は、1送信あたり最大1000ページ、100件まで予約することができます。• ダイレクト送信：直ちに宛先へ接続して原稿の送信を開始します。1ページごとに読み取りと送信を繰り返しますので、複数ページの原稿などは送信操作完了までに時間がかかりますが、宛先へ送信していることをその場で確認することができます。
濃度	原稿の読み取り濃度の初期値を設定します。 濃度を手動で設定する場合は、 <input type="checkbox"/> または <input type="checkbox"/> を押し任意の濃度を設定します。 原稿に合わせて自動的に濃度を設定する場合は、「自動」を押します。










項目名	機能説明
機密受信強制設定	<p>機密受信の設定を有効または無効にすることができます。週間予定が設定されている場合にのみ操作可能です。</p> <ul style="list-style-type: none"> • ON：機密受信を有効にします。ON→有効 <p>補 足</p> <p>週間予定で設定されている時刻に無効になります。</p> <ul style="list-style-type: none"> • OFF：機密受信を無効にします。 OFF→無効 <p>補 足</p> <ul style="list-style-type: none"> • 週間予定で設定されている時刻に有効になります。 • 管理者パスワードが必要です。
受信元記録	<p>受信元情報付加印刷のオン/オフを切り替えます。これをオンにする場合は、あらかじめ本機の自局名を登録しておく必要があります。</p>
発信元記録	<p>発信元情報付加送信のオン/オフを切り替えます。これをオンにする場合は、あらかじめ本機の自局名を登録しておく必要があります。</p>
ECM	<p>ECM (Error Correction Mode) 通信のオン/オフを切り替えます。ECMとは、国際的に標準化された自動エラー訂正方式による通信モードのことです。ECM通信をオンにすると、通信障害などにより送信データが影響を受けても、自動的に影響を受けた部分だけを再送信しますので、画像の乱れがない通信を行うことができます。</p> <p>補 足</p> <ul style="list-style-type: none"> • 送信側および受信側ともにECM通信機能を装備していないとECM通信は行われません。 • ECM通信中に障害などで影響を受けた場合は、通信時間が正常時に比べ若干長くなります。また、ECM通信を行った場合も、回線の状況によってはエラーが発生することがあります。 • 通話にECM通信は使用できません。
プレビュー設定	<p>プレビュー機能を有効にすると、ファクス・インターネットファクスジョブを送信する前に、スキャンイメージを表示し確認することができます。</p> <ul style="list-style-type: none"> • ON：この機能を有効にします。 • OFF：この機能を無効にします。
複数宛先送信前確認	<p>複数の宛先指定時に確認画面を表示するかを設定します。</p>
送信品質改善	<p>お使いの回線の通信品質によっては、V.34で送信に失敗する場合があります。この機能を使用すると、送信失敗を回避できることがあります。</p>
受信速度制限	<p>お使いの回線の通信品質によっては、V.34で受信に失敗する場合があります。この機能を使用すると、受信失敗を回避できることがあります。</p> <ul style="list-style-type: none"> • 回線1：回線1の受信速度制限をオンにするかを設定します。 • 回線2：回線2の受信速度制限をオンにするかを設定します。
初期アドレス帳	<p>アドレス帳で初期表示するタブを選択します。</p>
個人用タブ初期表示形式	<p>アドレス帳の個人用タブの初期表示形式を選択します。</p>
グループタブ初期表示形式	<p>アドレス帳のグループタブの初期表示形式を選択します。</p>

スキャン設定

スキャンジョブの初期設定を変更します。

補足

- お使いの機種によっては、[スキャン設定] はスキャナキットまたはプリンタ/スキャナキットが装着されている場合にのみ有効です。
- スキャン設定画面を表示する手順は、以下のページを参照してください。
 P.10 「ユーザ設定メニューに入る」

項目名	機能説明
カラーモード	初期値として適用するカラーモードのボタンを押します。
圧縮率	グレースケール、フルカラー、自動カラー選択スキャン時に初期設定として適用する画質モードのボタンを押します。
両面モード	初期設定として適用する片面/両面モードのボタンを押します。 <ul style="list-style-type: none"> 片面：片面原稿のスキャンを初期設定にします。 両面（左/右とじ）：左右綴じ両面原稿（両面が上下同じ向きの原稿）のスキャンを初期設定にします。 両面（上/下とじ）：上下綴じ両面原稿（両面が上下逆向きの原稿）のスキャンを初期設定にします。
画像回転	画像回転の初期設定として適用する項目ボタンを押します。 <ul style="list-style-type: none"> ：スキャンしたイメージを回転せずにスキャンします。 ：スキャンしたイメージを90度右に回転します。 ：スキャンしたイメージを180度回転します。 ：スキャンしたイメージを90度左に回転します。
プレビュー設定	プレビュー機能を有効にすると、スキャンジョブを保存またはメール送信する前に、スキャンイメージを表示し確認することができます。 <ul style="list-style-type: none"> ON：この機能を有効にします。 OFF：この機能を無効にします。
白紙ページ除去判定レベル	スキャン操作時にスキャンした原稿が白紙ページと判定された場合に、白紙ページを自動的に削除するための判断基準を設定します。  を押しスライドバーを右に設定すると、スキャンした原稿は白紙と判定されやすくなります。 機能の詳細は、 スキャンガイド 第3章「便利な使いかた」 を参照してください。
自動カラー選択判定レベル	自動カラー選択スキャン時に、スキャンした原稿がカラー原稿か白黒原稿かを判定するための判断基準を設定します。  を押しスライドバーを右に設定すると、カラー原稿と判定されやすくなります。  を押しスライドバーを左に設定すると、白黒原稿と判定されやすくなります。
自動カラー選択時のモノクロページ画質	自動カラー選択スキャン時に白黒画像として認識された原稿をスキャンするときの画質モードのボタンを押します。
自動カラー選択時モノクロページ濃度調整	自動カラー選択スキャン時に白黒原稿として認識された原稿をスキャンするときの濃度を設定します。  を押しスライドバーを左に設定すると、より薄くスキャンします。  を押しスライドバーを右に設定すると、より濃くスキャンします。
初期アドレス帳	アドレス帳で初期表示するタブを選択します。
個人用タブ初期表示形式	アドレス帳の個人用タブの初期表示形式を選択します。

項目名	機能説明
グループタブ初期表示形式	アドレス帳のグループタブの初期表示形式を選択します。

以下の項目は、カラーモード（フルカラー/自動カラー選択モード、グレースケールモード、白黒モード）ごとに設定します。

項目名	機能説明
解像度	スキャン時に初期設定として適用する解像度（dpi）のボタンを押します。
原稿モード	スキャン時の初期設定として適用する原稿モードのボタンを押します。（グレースケールモードには、[原稿モード] の設定はありません。） Loops LP50 Seriesでブルートナーで印刷された原稿をスキャンする場合、[ブルー原稿] を選択します。
濃度	スキャン時の濃度の初期値を設定します。 濃度を手動で設定する場合は、 <input type="checkbox"/> または <input type="checkbox"/> を押し濃度レベルを設定します。 原稿に合わせて自動的に濃度を設定する場合は、[自動] を押します。
下地調整	スキャン時の下地調整の初期値を設定します。 <input type="checkbox"/> を押しスライドバーを左に設定すると、背景が明るくなります。 <input type="checkbox"/> を押しスライドバーを右に設定すると、背景が暗くなります。

ファイリングボックス

スキャン操作によりファイリングボックスに保管したカラー文書を印刷する際に適用する原稿種類を設定します。

補足

ファイリングボックス画面を表示する手順は、以下のページを参照してください。

📖 P.10 「ユーザ設定メニューに入る」

項目名	機能説明
標準	通常のカラ－文書を印刷するのに適切なイメージ品質を適用します。
写真	写真を印刷するのに適切なイメージ品質を適用します。
プレゼンテーション	プレゼンテーション資料を印刷するのに適切なイメージ品質を適用します。
ラインアート	多くの文字やラインアートで構成される文書を印刷するのに適切なイメージ品質を適用します。

リスト印刷

この機能では、以下のリストを印刷できます。

補 足

- リスト印刷画面を表示する手順は、以下のページを参照してください。
☞ P.10 「ユーザ設定メニューに入る」
- リスト印刷では、A4-Rに設定されたカセットの用紙を優先的に使用して、排紙トレイに排紙します。

項目名	機能説明
アドレス帳リスト	アドレス帳に登録されている宛先の一覧を印刷します。 <ul style="list-style-type: none">• ID番号順：ID番号で並べ替えられたアドレス帳登録リストが印刷されます。• 名称順：フリガナ順に並べ替えられたアドレス帳登録リストが印刷されます。
グループリスト	アドレス帳にグループ登録されている宛先の一覧を印刷します。
システム設定リスト	システム設定リスト（ユーザ設定）を印刷します。
Fコード	本機に現在登録されているメールボックスの一覧を印刷します。

本機が部門管理されている場合は、部門コードの入力画面が表示されます。この場合は、部門コードを入力し [OK] を押すと各リストが印刷されます。ただし、白黒無制限（☞ P.137）が有効な場合には、部門コードの入力画面は表示されず、各リストが印刷されます。

カセット

各カセットにセットした用紙のサイズや用紙種類を設定します。

📖 P.21 「用紙サイズを設定する」

📖 P.22 「用紙種類を設定する」

注意

用紙サイズや用紙種類を変更するには、[管理者設定] > [カセット] > [用紙サイズ設定] で [許可] に設定する必要があります。

補足

カセット画面を表示する手順は、以下のページを参照してください。

📖 P.10 「ユーザ設定メニューに入る」

■ 用紙サイズを設定する

カセット画面で、用紙サイズを変更したいカセットのイラスト部分を押し、設定したい用紙サイズのボタンを押します。



用紙サイズ検知機能のある機種では、用紙サイズのボタンの代わりに [自動 (mm)] または [自動 (inch)] を選ぶと、カセットに入っている用紙サイズを自動的に設定できます。A3やA4サイズなどのAB系列の用紙をお使いの場合は、[自動 (mm)] を、LDやLTなどのLT系列の用紙をお使いの場合は、[自動 (inch)] を押してください。

注意

- 表示されるボタンは、機種によって異なります。
- 自動検知ボタン ([自動 (mm)] または [自動 (inch)]) と異なる系列の用紙をカセットにセットすると、「！」マークが表示され、用紙のサイズを検知できない場合があります。この場合には、用紙の系列に合わせた自動検知ボタンに切り替えてください。

■ 用紙種類を設定する

カセット画面で「用紙種類」を押すと、用紙種類を設定できます。
用紙種類を設定したいカセットを選択して、設定したい用紙種類のボタンを押します。



- 用紙種類は、用紙種類と特定用途の2つに分けられます。
- 用紙種類は、厚紙や再生紙の場合に設定してください。
- 特定用途は、カセット内の用紙を特定の用途に使用する場合に設定してください。たとえば、「挿入シート」を押すと、設定したカセットの用紙をシート挿入に使用できるようになります。
- Loops LP50 Seriesでリユース紙を使用する場合は、「リユース」に設定してください。

注意



表示されるボタンは、機種によって異なります。

補足



- 用紙種類の詳細については、**用紙準備ガイド 第1章「用紙をセットする」**を参照してください。
- 用紙種類を「普通紙」・「再生紙」以外に設定したカセットや、特定用途を「無し」以外に設定したカセットの用紙は、自動用紙選択モードでは使用されません。
自動用紙選択モードの詳細は、**コピーガイド 第2章「基本的なコピーのしかた」**を参照してください。
- 特定用途を「無し」以外に設定したカセットの用紙は、オートカセットチェンジの対象になりません。
オートカセットチェンジの詳細は、以下のページを参照してください。
P.82 「コピー設定」

アドレス帳

このメニューでは、以下の操作を行います。

-  P.23 「アドレス帳を管理する」
-  P.27 「グループを管理する」

補足

- アドレス帳メニューを表示する手順は、以下のページを参照してください。
 P.10 「ユーザ設定メニューに入る」
- [区点コード] から区点コード表に記載されている文字を入力することもできます。区点コード表の詳細は、以下のページを参照してください。
 P.168 「区点コード表」

■ アドレス帳を管理する





アドレス帳に登録した宛先は、ホーム画面の [ファクス] を押したときに表示される画面などで、宛先一覧として表示されます。ファクスやインターネットファクスを送信するときに、宛先一覧を選択して、簡単に送信先を指定できます。また、アドレス帳に登録した宛先は、スキャンのEメール送信の宛先にも使用できます。

アドレス帳には、ファクス番号、Eメールアドレス、または両方を指定した3000件の宛先を登録できます。また、FAXユニットが装着されている場合は、送信方法、ECM、海外指定送信、回線指定、サブアドレス設定などの付加機能を宛先ごとに指定することができます。

注意

- ファクスの送受信にはFAXユニットが必要です。
- お使いの機種によっては、スキャナキットまたはプリンタ/スキャナキットが装着されている場合にのみ、登録されたEメールアドレスをEメール送信やインターネットファクス送信の宛先として利用することができます。

アドレス帳メニューの [個人用] タブでは、宛先を管理するために以下の操作を行えます。



-  P.23 「宛先の登録」
-  P.26 「宛先の編集/削除」
-  P.26 「宛先の検索」
-  P.26 「宛先の検索結果の表示順設定」

補足

アドレス帳のデータは、TopAccessの管理者モードからインポートまたはエクスポートすることができます。詳細は、**TopAccessガイド 第8章「[管理者] タブ」**を参照してください。

□ 宛先の登録

新しい宛先をアドレス帳に登録します。登録するには、以下の2つの方法があります。

-  P.24 「[設定/登録] からアドレス帳に登録する」
-  P.25 「ログ一覧からアドレス帳に登録する」

【設定/登録】 からアドレス帳に登録する

1 アドレス帳一覧画面で空欄の行を押して、【登録】 を押して、宛先を登録します。


項目名	機能説明
姓	宛先の姓を入力します。入力した名前は、タッチパネルの宛先一覧に表示されます。全角半角に関係なく32文字まで入力できます。
名	宛先の名を入力します。入力した名前は、タッチパネルの宛先一覧に表示されます。全角半角に関係なく32文字まで入力できます。
索引	宛先の索引を入力します。全角カタカナで64文字まで入力できます。
電話番号	宛先のファクス番号を入力します。半角数字で128文字まで入力できます。お気に入りボタンを押すと、アドレス帳のお気に入りタブに登録したアドレスが表示されます。
電話番号2	宛先のサブファクス番号を入力します。(上記【電話番号】にリダイヤルしても通信できないときに、【電話番号2】に登録があればその番号にファクスします。)半角数字で128文字まで入力できます。
Eメール	宛先のEメールアドレスを入力します。半角数字で192文字まで入力できます。お気に入りボタンを押すと、アドレス帳のお気に入りタブに登録したアドレスが表示されます。
会社名	宛先の会社名を入力します。全角半角に関係なく64文字まで入力できます。
部署名	宛先の部署名を入力します。全角半角に関係なく64文字まで入力できます。
備考	必要に応じて、宛先のキーワードを入力します。このキーワードでも宛先を検索することができます。全角半角に関係なく256文字まで入力できます。

注意

「姓」または「名」と、「電話番号」または「Eメール」は入力必須項目です。入力されていないと登録できません。

2 付加機能を設定したい場合は、【付加機能】 を押します。

注意

- FAXユニットが装着されている場合のみ設定できます。
- 付加機能についての詳細は、 P.15 「ファクス設定」を参照してください。

3 【OK】 を押して、宛先を登録します。

ログ一覧からアドレス帳に登録する

送／受信履歴の画面から、相手先の電話番号やEメールアドレスなどの情報をアドレス帳に登録できます。

送信履歴で登録可能

- 直接ダイヤル (テンキー入力またはLDAP検索) による送信
- Eメールアドレスを直接入力 (テンキー入力またはLDAP検索) したEメール送信

受信履歴で登録可能

- 直接ダイヤル (テンキー入力またはLDAP検索) によるポーリング受信
- Eメール受信

スキャン履歴で登録可能

- Eメールアドレスを直接入力したEメール送信

- 1 タッチパネルの [状況確認] を押します。
- 2 [ログ] タブを選択し、[送信] (または [受信]、[スキャン]) を押します。
送信ログ一覧 (または受信ログ一覧、スキャンログ一覧) が表示されます。
- 3 アドレス帳に登録したいファクス番号またはEメールアドレスから送信されたジョブを選択し、[アドレス帳登録] を押します。



注意

スキャンログ一覧からBcc送信された宛先をアドレス帳に登録するには、TopAccessのEメール設定で「BCC送信アドレス表示 (ジョブログ、ジョブ状況)」を [ON] に設定する必要があります。「BCC送信アドレス表示 (ジョブログ、ジョブ状況)」が [OFF] の場合、スキャンログ一覧にはEメールアドレスの代わりに [BCC宛先] と表示され、その宛先を選択しても [アドレス帳登録] を使用することはできません。「BCC送信アドレス表示 (ジョブログ、ジョブ状況)」の設定を切り替える方法については、**TopAccessガイド 第8章 [[管理者] タブ]** を参照してください。

- 4 宛先情報を編集します。
各項目の説明は、以下を参照してください。
📖 P.23 「宛先の登録」
- 5 付加機能を設定したい場合は、[付加機能] を押します。

注意

- FAXユニットが装着されている場合のみ設定できます。
- 付加機能についての詳細は、📖 P.15 「ファクス設定」 を参照してください。

- 6 [OK] を押して、宛先を登録します。

宛先の編集／削除

アドレス帳一覧画面で宛先を押して、[編集] を押すと、宛先を編集できます。宛先を押して、[削除] を押すと、宛先を削除できます。

宛先の検索

アドレス帳一覧画面で検索アイコンを押すと、検索画面が表示されます。検索項目を入力して宛先を検索できます。

宛先の検索結果の表示順設定

アドレス帳一覧画面で[設定] を押すと、宛先の検索結果の表示順を [ID番号順] と [索引順] のいずれかに設定できます。

■ グループを管理する


複数の宛先を含むグループを作成します。Eメール送信、ファクス、インターネットファクス送信の際に個別に宛先を指定することなく、グループに登録された複数の宛先を一括で指定できます。アドレス帳には最大200グループ、また1つのグループには最大400件の宛先を登録できます。


注意


- ファクス番号、Eメールアドレスはそれぞれ別の宛先としてカウントされるので、1つの連絡先にそれら両方を設定した場合は、2件の宛先を登録したことになります。
- ファクスの送受信にはFAXユニットが必要です。

アドレス帳メニューの [グループ] タブでは、グループを管理するために以下の操作を行えます。

 P.27 「グループの登録」

 P.27 「グループの編集／削除」

 P.27 「グループの検索」

 P.27 「グループメンバーの確認」

グループの登録

アドレス帳一覧画面で空欄の行を押して、[登録] を押して、グループを登録します。グループ名称、索引を入力して、グループに含める宛先を選択します。検索アイコンを押して宛先を検索することもできます。



グループの編集／削除

アドレス帳一覧画面でグループタブを選択して、グループを押して、[編集] を押すと、グループを編集できます。グループに含める宛先を追加または削除できます。グループを押して、[削除] を押すと、グループを削除できます。

注意

グループを削除しても、[個人用] タブの宛先のデータは削除されません。ただし、[個人用] タブで宛先のデータを削除すると、その宛先は登録されているグループからも削除されます。

補足

- 宛先のファクス番号とEメールアドレスの両方をグループに追加またはグループから削除する場合は、宛先の名前の上を押します。
- 宛先のファクス番号のみをグループに追加またはグループから削除する場合は、 を押します。
- 宛先のEメールアドレスのみをグループに追加またはグループから削除する場合は、 を押します。

グループの検索

アドレス帳一覧画面で検索アイコンを押すと、検索画面が表示されます。検索項目を入力してグループを検索します。

グループメンバーの確認

アドレス帳一覧画面でグループの [内容表示] を押すと、グループメンバーを確認できます。

Eメール確認

[Eメール確認] を押すと、POP3サーバーに接続し新着のEメール（インターネットファクス）があるかを確認します。新着のEメールがある場合は、Eメールデータを取り出して自動的に印刷します。

注意

この操作を行うには、TopAccessからPOP3サーバーの設定を行ってください。POP3サーバーの設定については、**TopAccessガイド 第8章「[管理者] タブ」**を参照してください。

補足

- Eメール確認画面を表示する手順は、以下のページを参照してください。
📖 P.10 「ユーザ設定メニューに入る」
- 自動的にPOP3サーバーに接続し新着のEメール（インターネットファクス）を確認することもできます。

インターネットファクス設定

インターネットファクスの発信元記録および受信元記録の設定をします。

- 発信元記録
発信元情報付加送信のオン/オフを切り替えます。
- 受信元記録
受信元情報付加印刷のオン/オフを切り替えます。

プリント

USBダイレクト印刷時のカラーモードの初期設定を変更します。

本機はBluetooth OPP/FTP/HCRP印刷をサポートしています。本機に無線LAN/Bluetooth モジュールが装着されている場合は、Bluetooth OPP/FTP/HCRP印刷をサポートしている機器から直接本機を使って印刷できます。Bluetooth印刷を使用する前に、印刷に使用する用紙サイズや印刷サイズを設定します。

- 用紙サイズ
印刷に使用する用紙サイズを選択します。
- 印刷サイズ
用紙に印刷されるサイズを選択します。

注意

- 印刷できるファイルフォーマットはOPP/FTP印刷ではJPEG、PDF、PS、PRN、TXTです。PRNファイルは本体付属のプリンタドライバで作成されたPRNファイルのみサポートします。これらのファイルフォーマットはバージョンによって印刷できない場合があります。
- 印刷できる画像フォーマットはJPEGのみです。機器固有のJPEG形式では、印刷できない場合があります。
- Bluetoothは機器によって仕様が異なる場合があります。機器によっては、本機に接続できない場合があります。
- Bluetooth機器を同時に2台以上接続することはできません。
- 印刷するファイルの名称には、1バイト（半角）の英数字を使用してください。ファイル名に2バイト（全角）の文字を使用すると、印刷できないことがあります。
- OPP/FTPは一部の機種によっては、サポートされていません。詳しくはサービスエンジニアまたは弊社販売店へお問い合わせください。
- iOS搭載機器からBluetooth印刷はできません。

補足

設定の詳細は、以下のページを参照してください。

📖 P.112 「Bluetooth」

Wi-Fi Direct設定

無線LAN/Bluetooth モジュールが装着されている場合は、Wi-Fi Directの設定をします。Wi-Fi Directとは、無線アクセスポイントなどを使わずに、Wi-Fi Directに対応した機器どうしで直接無線LANで接続できる機能です。本機では、Wi-Fi Directに対応した機器からの印刷をサポートしています。

補足

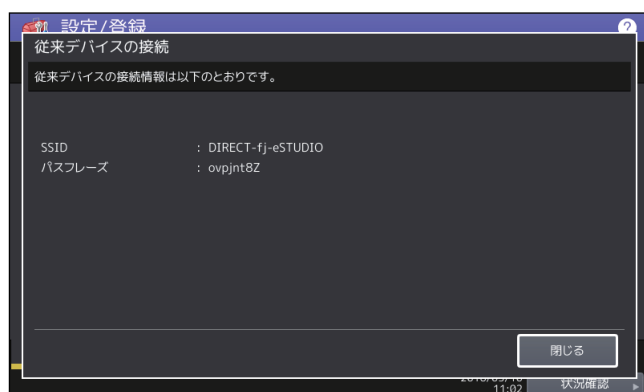
設定の詳細は、以下のページを参照してください。

📖 P.110 「設定内容」

項目名	機能説明
PBC	WPSのプッシュボタン方式で接続します。
PIN	WPSのPINコード方式で接続します。
従来デバイスの接続	SSIDとパスフレーズを表示します。 📖 P.32 「SSIDとパスフレーズによる接続を設定する」
デバイス情報	本機のデバイス情報を表示します。
接続状況	接続情報を表示します。

■ SSIDとパスフレーズによる接続を設定する

本機のSSIDとパスフレーズを表示します。接続したい機器で本機のSSIDを選択し、パスフレーズを入力すると、接続を開始します。



注意

SSID とパスフレーズは、本機の電源を入れるたびに変更されます。

設定項目（管理者設定）

管理者設定メニューに入る	35
機器設定	37
機器情報を設定する	39
メール通知を設定する	39
パスワードを管理する/サービス用パスワードをリセットする	40
日時を設定する	41
節電モードを設定する	41
自動階調補正と位置合わせの操作を設定する	43
自動階調補正を設定する	44
画像粗さを切り替える	45
位置を補正する	46
ステータスメッセージを設定する	46
オートクリアを設定する	46
オプションのライセンスを管理する	46
表示言語を追加/削除する	50
システムをアップデートする	54
複製データを作成/インストールする	56
電源オフ画面の表示/電源オフ時の動作を設定する	60
ログをエクスポートする	60
ジョブスキップを設定する	61
キーボード設定を変更する	61
帯電チャージャとLEDプリントヘッドをクリーニングする	62
ポップアップメッセージを設定する	62
原稿送り装置のスジ低減レベルを設定する	62
セルフチェック間隔を設定する	63
ファンクションボタンの機能を設定する	63
ブルー印刷濃度を設定する	63
データバックアップリストアを設定する	63
ネットワーク設定	68
TCP/IPプロトコルを設定する (IPv4)	69
TCP/IPプロトコルを設定する (IPv6)	70
IPX/SPXプロトコルを設定する	76
NetWareを設定する	76
SMBプロトコルを設定する	77
AppleTalkプロトコルを設定する	78
HTTPネットワークサービスを設定する	78

Ethernet速度を設定する	79
LDAP、フィルタリング機能、リンクダウン検出を設定する	79
IPセキュリティを設定する	80
ネットワーク状態を確認する	81
コピー設定	82
ファクス設定.....	84
自局名を登録する	84
初期設定をする.....	85
記録モードを設定する	87
復活送信を設定する.....	88
回線増設ユニットを設定する	88
機密受信を設定する.....	88
ファイル設定.....	90
Eメール設定.....	91
Eメールの件名を設定する	92
インターネットファクス設定	93
セキュリティ設定	94
証明書を管理する	94
セキュアPDFの初期設定をする.....	98
インテグリティチェックを実行する	100
リスト印刷／レポート設定	102
レポート出力を設定する	102
リストを印刷する	106
プリンタ／ファイリングボックス	107
無線LAN.....	109
セキュリティモードを設定する.....	109
設定内容	110
Bluetooth.....	112
システムの初期化	113
USBケーブル印刷	115
カセット.....	116
ユーザパスワード変更	117
IEEE 802.1X認証設定	118

管理者設定メニューに入る

以下の手順で、管理者設定メニューを表示します。

補足

- 文字入力画面の詳細は、以下のページを参照してください。
📖 P.144 「文字入力画面」
- 番号入力画面の詳細は、以下のページを参照してください。
📖 P.145 「番号入力画面」

1 ホーム画面の【設定登録】を押して、設定/登録メニューに入ります。

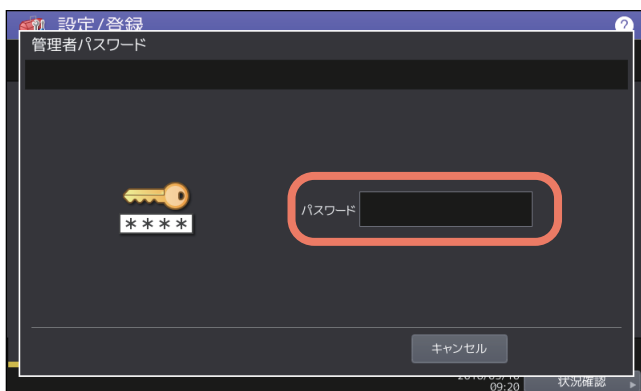
2 【管理者設定】タブを押します。

- ユーザ管理をしていない場合は、管理者パスワードを入力する必要があります。次の手順に進んでください。
- ユーザ管理をしている場合は、管理者権限を持つユーザで本機にログインしてください。
【管理者設定】タブを押すと管理者設定メニューが表示されます。手順4に進んでください。

注意

管理者権限を持たないユーザで本機にログインすると、【管理者設定】タブは使用できません。各ユーザへの権限の付与は、ロール情報の設定で行います。詳細は、**TopAccessガイド 第7章**「【ユーザ管理】タブ」を参照してください。

3 管理者パスワードを入力します。




















補足

工場出荷時の管理者パスワードは「123456」です。

4 必要な管理者操作を続けて行います。



管理者設定画面には、以下のボタンがあります。詳細は各参照先をご覧ください。

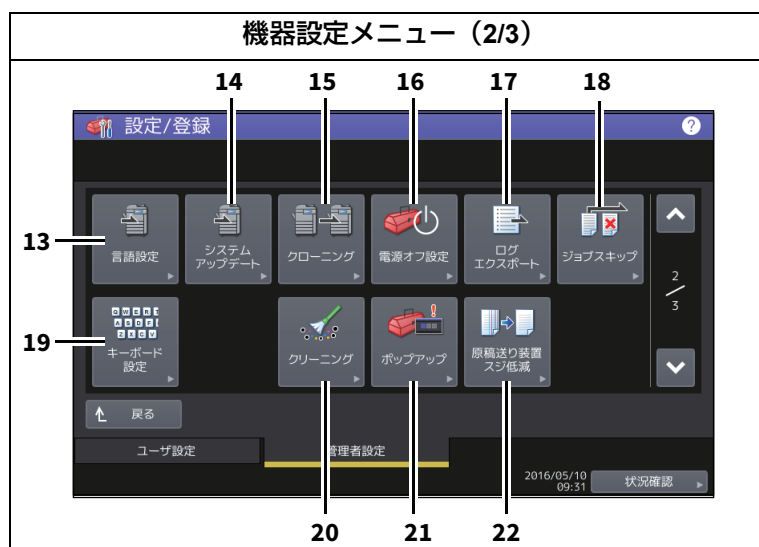
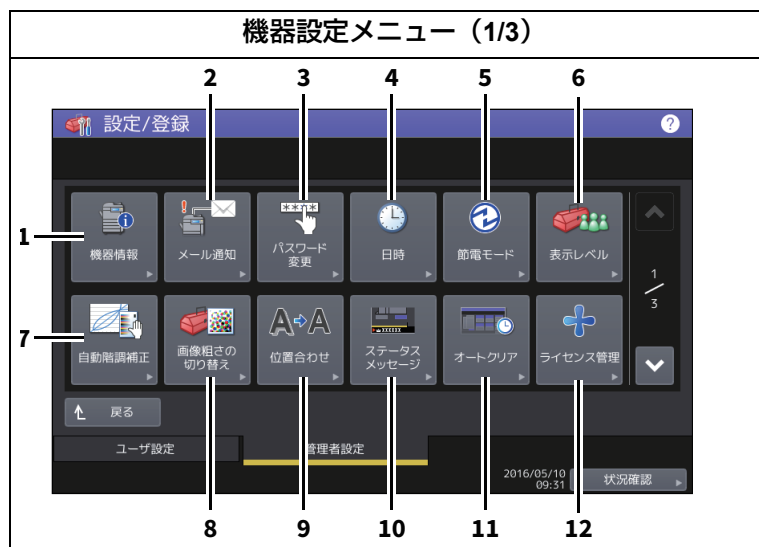
-  P.37 「機器設定」
-  P.68 「ネットワーク設定」
-  P.82 「コピー設定」
-  P.84 「ファクス設定」
-  P.90 「ファイル設定」
-  P.91 「Eメール設定」
-  P.93 「インターネットファクス設定」
-  P.94 「セキュリティ設定」
-  P.102 「リスト印刷／レポート設定」
-  P.107 「プリンタ／ファイリングボックス」
-  P.109 「無線LAN」
-  P.112 「Bluetooth」
-  P.113 「システムの初期化」
-  P.115 「USBケーブル印刷」
-  P.116 「カセット」
-  P.117 「ユーザパスワード変更」
-  P.118 「IEEE 802.1X認証設定」

機器設定

機器の初期設定を変更します。

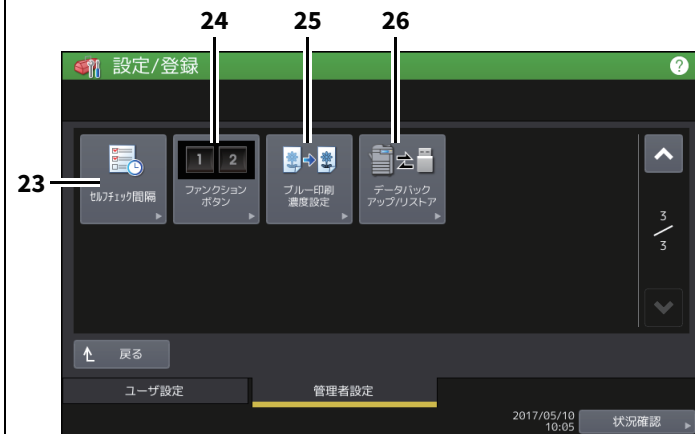
補足

機器設定メニューを表示する手順は、以下のページを参照してください。
P.35 「管理者設定メニューに入る」



機器設定メニュー (3/3)

Loops LP50 Seriesの場合



	項目名	機能説明
1	機器情報	📖 P.39 「機器情報を設定する」
2	メール通知	📖 P.39 「メール通知を設定する」
3	パスワード変更	📖 P.40 「パスワードを管理する/サービス用パスワードをリセットする」
4	日時	📖 P.41 「日時を設定する」
5	節電モード	📖 P.41 「節電モードを設定する」
6	表示レベル	📖 P.43 「自動階調補正と位置合わせの操作を設定する」
7	自動階調補正	📖 P.44 「自動階調補正を設定する」
8	画像粗さの切り替え	📖 P.45 「画像粗さを切り替える」
9	位置合わせ	📖 P.46 「位置を補正する」
10	ステータスメッセージ	📖 P.46 「ステータスメッセージを設定する」
11	オートクリア	📖 P.46 「オートクリアを設定する」
12	ライセンス管理	📖 P.46 「オプションのライセンスを管理する」
13	言語設定	📖 P.50 「表示言語を追加/削除する」
14	システムアップデート	📖 P.54 「システムをアップデートする」
15	クローニング	📖 P.56 「複製データを作成/インストールする」
16	電源オフ設定	📖 P.60 「電源オフ画面の表示/電源オフ時の動作を設定する」
17	ログエクスポート	📖 P.60 「ログをエクスポートする」
18	ジョブスキップ	📖 P.61 「ジョブスキップを設定する」
19	キーボード設定	📖 P.61 「キーボード設定を変更する」
20	クリーニング	📖 P.62 「帯電チャージャとLEDプリントヘッドをクリーニングする」
21	ポップアップ	📖 P.62 「ポップアップメッセージを設定する」
22	原稿送り装置スジ低減	📖 P.62 「原稿送り装置のスジ低減レベルを設定する」
23	セルフチェック間隔	📖 P.63 「セルフチェック間隔を設定する」
24	ファンクションボタン	📖 P.63 「ファンクションボタンの機能を設定する」
25	データバックアップ/リストア	📖 P.63 「データバックアップ/リストアを設定する」
26	ブルー印刷濃度設定	📖 P.63 「ブルー印刷濃度を設定する」

注意

表示されるボタンは、機種によって異なります。

■ 機器情報を設定する

機器情報を設定します。ここで設定した情報は、TopAccessの装置ページに表示されます。

項目名	機能説明
設置場所	設置場所を入力します。半角/全角ともに64文字まで入力できます。
サービス電話番号	サービス連絡先を入力します。半角数字で32文字まで入力できます。
情報	サービス連絡先の担当者を入力します。半角/全角ともに64文字まで入力できます。
管理者メッセージ	管理者のメッセージを入力します。半角/全角ともに40文字まで入力できます。

■ メール通知を設定する

用紙切れ、サービスマンコールなど本機に特定のイベントが発生したときに、通知メッセージをEメール送信します。

通知メッセージの宛先には、最大3か所のEメールアドレスを指定することができます。

📖 P.39 「メールアドレスの登録」

補足

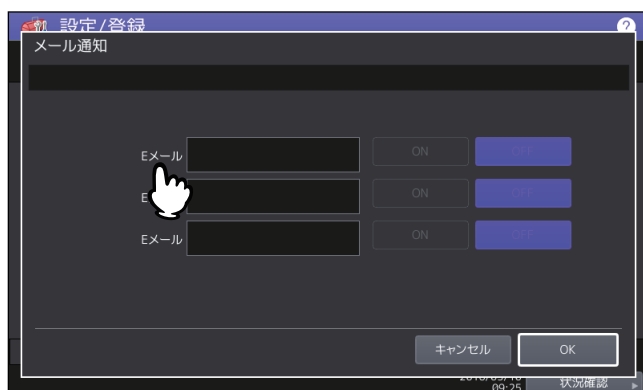
メール通知を行うイベントはTopAccessから設定します。設定方法については、**TopAccessガイド 第8章**「[管理者] タブ」を参照してください。

注意

この機能を使用するには、ご利用のネットワークにSMTPサーバーが必要です。また、インターネット通信ができるように、正しく設定されている必要があります。

メールアドレスの登録

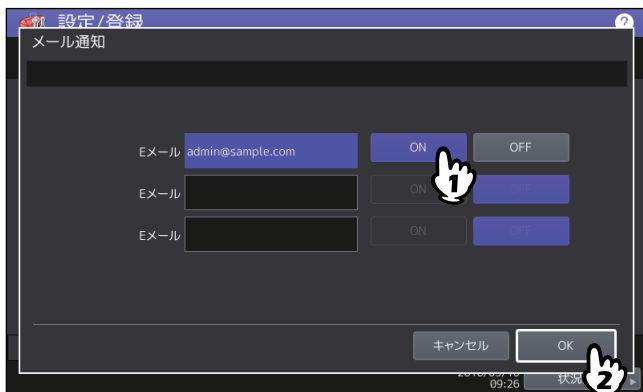
1 メール通知画面で、通知を送るEメールアドレスを入力します。



補足

必要に応じて3か所のEメールアドレスまで指定することができます。通知を有効にするときは、最低1か所のアドレスを入力してください。

2 通知を有効にするEメールアドレス欄の [ON] を押し、[OK] を押します。



通知を無効にする場合は、[OFF] を押します。

注意

[ON] はEメールが入力されている欄のみ選択することができます。

■ パスワードを管理する/サービス用パスワードをリセットする

管理者パスワードの変更を行います。また、本機担当のサービスエンジニアがサービス用パスワードを忘れてしまった場合に、このメニューからそのパスワードをリセットすることができます。

📖 P.40 「管理者パスワードを変更する」

📖 P.40 「サービス用パスワードをリセットする」

□ 管理者パスワードを変更する

1 管理者パスワード変更画面で、[管理者パスワード] を押します。

2 現在使用しているパスワードを入力し、[OK] を押します。

補足

はじめて管理者パスワードを変更する場合は、初期設定の管理者パスワード「123456」を入力します。

3 新しいパスワードを設定し、保存します。

注意

管理者パスワードは、6～64文字で指定してください。入力できる文字は英数字および以下のシンボル文字です。

! # \$ () * + , - . / : ; = ? @ \ ^ _ ` { | } ~

□ サービス用パスワードをリセットする

1 管理者パスワード変更画面で、[サービスパスワードリセット] を押します。

[サービスパスワードリセット] を選択した場合は、注意画面に「よろしいですか?」と表示されます。
[はい] を押して、サービス用パスワードをリセットします。

■ 日時を設定する

現在の日付や時刻を入力して、本機内部時計の時刻合わせを行います。

項目名	機能説明
日付/時刻	日付/時刻を設定します。 変更したい値を選択して、テンキーで値を入力し、[OK] を押します。 補足 年/月/日のいずれかの値を変更すると、曜日は自動的に設定されます。
日付表示形式	日付表示形式を設定します。

注意

SNTPサービスを利用して本機の時間設定を自動的に更新している場合、手動での日付や時刻の設定は行うことはできません。SNTPサービスの設定は、TopAccessの管理者モードから行います。詳細は、**TopAccessガイド 第8章「[管理者] タブ」**を参照してください。

■ 節電モードを設定する

このメニューでは、以下の節電モードを設定できます。

項目名	機能説明
ウィークリータイマー	この機能を設定すると、本機を自動的にスリープモードまたはスーパースリープモードに移行させることができます。たとえば、始業時刻、終業時刻に合わせてタイマーを設定すると、本機は設定時刻に自動的にスリープモードまたはスーパースリープモードに移行します。 📖 P.42 「ウィークリータイマーを設定する」 補足 ウィークリータイマー機能によってスリープモードまたはスーパースリープモードに移行した本機を復帰させるには、操作パネルの [節電] ボタンを押します。 注意 主電源スイッチをオフにした場合は、ウィークリータイマーは動作しません。
自動節電モード	この機能を設定すると、一定時間本機が使用されない場合に、自動的に本機を節電（低電力）モードに移行させることができます。 📖 P.42 「自動節電モードを設定する」
スリープモード スーパースリープモード	この機能を設定すると、一定時間本機が使用されない場合に、自動的に本機をスリープモードまたはスーパースリープモードに移行させることができます。スリープモード/スーパースリープモードでは、本機の待機時に不要な部分への通電を遮断します。節電モード設定では、スーパースリープモードの消費電力が一番小さくなり、スリープモード、自動節電モードの順に待機時の消費電力が大きくなります。 📖 P.43 「スリープモードまたはスーパースリープモードを設定する」

補足

節電モードの種類や移行手順については、**かんたん操作ガイド 第1章「使用前の準備」**を参照してください。

□ ウィークリータイマーを設定する

- 1 節電モード画面で、[ウィークリータイマー] を押します。
ウィークリータイマーの設定画面が表示されます。
- 2 表示された設定を確認し、変更する必要がある場合は [変更] を押します。
変更がなければ、[OK] を押して終了します。
- 3 ウィークリータイマーを設定します。
 1. 目的の曜日ボタンを押します。
 2. [ON] に、スリープモードまたはスーパースリープモードから復帰する時刻を入力します。
 3. [OFF] に、スリープモードまたはスーパースリープモードに入る時刻を入力します。
 4. [OK] を押し、設定を保存します。



補 足

- 本機を終日スリープモードまたはスーパースリープモードにする場合は、ON/OFFとも同じ時刻を入力してください。
例) [日曜日] に [ON] : 0 : 00、[OFF] : 0 : 00を設定した場合
本機は、土曜日のオフ時刻として指定された時刻に自動的にスリープモードまたはスーパースリープモードに移行し、月曜日の復帰時刻として指定された時刻までスリープモードまたはスーパースリープモードを継続します。
- 本機を終日スリープモードまたはスーパースリープモードに移行させたくない場合は、目的の曜日に以下の設定を行ってください。
[ON] : 0 : 00 / [OFF] : 24 : 00
本機は、終日ウィークリータイマー機能によるスリープモードまたはスーパースリープモードには移行しません。ただし、一定時間使用されない場合には、[スリープ/スーパースリープ] で設定された時間に従って、自動的にスリープモードまたはスーパースリープモードに移行します。

□ 自動節電モードを設定する

- 1 節電モード画面で、[自動節電] を押します。
自動節電の設定画面が表示されます。
- 2 節電モードに移行するまでの時間 (分) のボタンを押します。
自動節電の設定を保存し、前の画面に戻ります。

□ スリープモードまたはスーパースリープモードを設定する

1 節電モード画面で、[スリープ/スーパースリープ] を押します。

スリープ/スーパースリープの設定画面が表示されます。

2 下記項目を設定し、設定内容を保存します。

項目名	機能説明
スリープ移行時間	スリープモード/スーパースリープモードに移行するまでの時間(分)のボタンを押します。
スーパースリープ	本機をスリープモードに移行させるか、スーパースリープモードに移行させるかを設定します。 <ul style="list-style-type: none"> 有効：スーパースリープモードに移行します。 無効：スリープモードに移行します。

注意

- 本機の動作状態によっては、設定時間どおりに移行しない場合があります。
- 以下の場合には、[スーパースリープ] を [有効] にしてもスーパースリープモードには移行しません。
 - 特定のオプション機器を装着している。(無線LAN/Bluetoothモジュール、e-BRIDGE ID Gate)
 - 特定の機能を有効にしている。(IPsec機能、FAXユニット装着時のダイヤルイン機能)
 - IEEE802.1X認証を有効にしている。
 - IPv6を有効にしている、手動以外の方法でIPv6アドレスを設定している。
 - POP3設定を有効にしている、かつ次のいずれかの状態になっている。
 - (1) ポーリングレートが「0分」以外に設定されている。
 - (2) POPサーバーアドレスが入力されている。
 - (3) アカウント名が入力されている。
 - 特定のネットワークプロトコルを有効にしている。(AppleTalk、IPX/SPX)
- スーパースリープモードに移行できない条件下では、「スーパースリープ」の [有効] / [無効] は使用できません。
- 本機をスーパースリープモードから復帰させるためのプロトコル設定は、TopAccessの管理者モードから行います。詳細は、**TopAccessガイド 第8章「[管理者] タブ」**を参照してください。

■ 自動階調補正と位置合わせの操作を設定する

自動階調補正と位置合わせの各操作をユーザ設定メニューでユーザに許可するか、管理者設定メニューで管理者が操作するかを設定します。

自動階調補正と位置合わせの操作ボタン ([自動階調補正]、[位置合わせ]) は、ここでの設定に従い、管理者設定メニューのみ、または管理者設定メニューおよびユーザ設定メニューの両方に表示されます。

項目名	機能説明
自動階調補正	<ul style="list-style-type: none"> ユーザ：管理者設定メニューおよびユーザ設定メニューに表示する場合 管理者：管理者設定メニューのみに表示する場合
位置合わせ	<ul style="list-style-type: none"> ユーザ：管理者設定メニューおよびユーザ設定メニューに表示する場合 管理者：管理者設定メニューに表示する場合

■ 自動階調補正を設定する

本機の画像の階調を自動補正します。濃淡や色合いが思うように再現されない場合に使用します。ユーザー設定メニューの「簡易階調補正」よりも精細な調整が可能です。
📖 P.44 「階調を補正する」

注意

- 自動階調補正を管理者のみでなくユーザにも許可するかどうかは、「表示レベル」で設定します。
📖 P.43 「自動階調補正と位置合わせの操作を設定する」
- 補正を行う前に、A4またはLTサイズ用の紙（推奨用紙）をカセット*1にセットします。他の用紙サイズで補正の操作はできません。
- ガラス面の汚れやガラス面への異物の付着などにより、正しく補正が行われない場合があります。ガラス面の清掃を定期的に行ってください。
- 補正実行中は原稿カバーまたは自動原稿送り装置を持ち上げたり、前面カバーを開けたりしないでください。正しく補正されません。
- 補正実行中の割り込みコピーはできません。
- ひんぱんに色合いがずれる場合は、弊社サービスエンジニアにご相談ください。

*1 本機に大容量給紙装置が装着されているときは、大容量給紙装置に用紙をセットしてください。大容量給紙装置が装着されていない場合には、A4またはLTがセットされている一番上のカセットに用紙をセットしてください。

□ 階調を補正する

1 Loops LP50 Seriesの場合、補正するトナーを押します。

項目名	機能説明
ブルー	ブルートナーを選択します。
白黒	黒トナーを選択します。

2 補正するボタンを押します。

項目名	機能説明
コピー	コピージョブの階調補正を行います。
コピー 600dpi	コピージョブと600 dpiの印刷ジョブに適用される階調補正を行います。
600 dpi印刷	600 dpiの印刷ジョブに適用される階調補正を行います。
1200 dpi印刷	1200 dpiの印刷ジョブに適用される階調補正を行います。

注意

表示されるボタンは、機種によって異なります。

3 用紙種類を選択し、[OK] を押します。

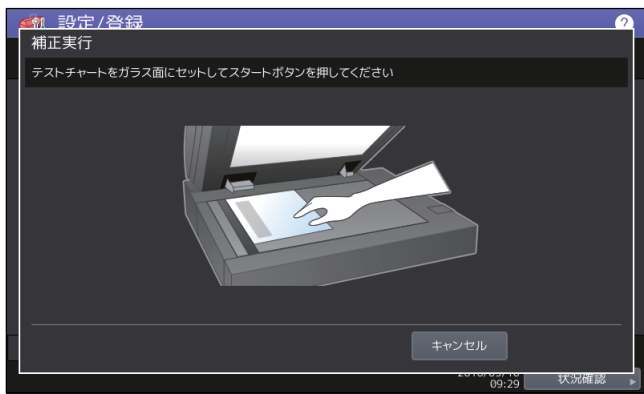
注意

お使いの機体の設定によっては、用紙種類を選択する画面は表示されません。この場合は次の手順に進んでください。

4 補正設定を選択します。

項目名	機能説明
初期設定に戻す	初期設定の補正レベルにセットし、前の画面に戻ります。
新規に補正する	印刷されるチャートを使って補正を行います。この場合は、次の手順に進んでください。

- 5 カラー機の場合、印刷されたチャートを、印刷面を下向きに黒い長方形（2個）が左側になるように、原稿スケールに沿って左奥コーナーの基準に合わせ原稿ガラス上にセットします。モノクロ機の場合、印刷されたチャートを、印刷面を下向きにチャートの黒い方が左側になるように、原稿スケールに沿って左奥コーナーの基準に合わせ原稿ガラス上にセットします。



- 6 操作パネルの【スタート】ボタンを押します。
「補正中です」という表示がタッチパネルから消え、補正が完了するまで本機を操作しないでください。

注意

チャートのセットがずれていると、タッチパネルに「正しくチャートをセットしてください」と表示されます。その場合には、手順3に戻ってチャートをセットし直してください。

■ **画像粗さを切り替える**

印刷時の画像の粗さを切り替えます。
この設定は600 dpiの印刷ジョブに適用されます。カラー/モノクロ別々に設定します。
Loops LP50 Seriesの場合、ブルートナー/黒トナー別々に設定します。

項目名	機能説明
細かい	通常の線数で印刷します。
粗い	通常よりも粗い線数で印刷します。

補足

設定を変更した場合、自動階調補正を行うかどうかの確認画面が表示されます。必要に応じて [OK] または [キャンセル] を選択してください。

■ 位置を補正する

色ズレが発生したときに、位置を補正します。
位置合わせ画面で、[はい] を押して位置合わせ処理を開始します。

注意

位置合わせを管理者のみでなくユーザにも許可するかどうかは、「表示レベル」で設定します。
表示レベルを変更する操作については、以下のページを参照してください。

☞ P.43 「自動階調補正と位置合わせの操作を設定する」

補足

このボタンは、一部の機種のみ表示されます。

■ ステータスメッセージを設定する

用紙切れ、トナーニアエンプティなど本機に特定のイベントが発生したときに、タッチパネルの下部にメッセージを表示します。

各項目の [ON] または [OFF] を押し、[OK] を押します。

項目名	機能説明
トナー切れ事前通知	有効にすると、各トナーカートリッジのトナーが少なくなったときに画面左下にメッセージが表示されます。
用紙切れ通知	有効にすると、各カセットの用紙がなくなったときに画面左下にメッセージが表示されます。

■ オートクリアを設定する

本機を操作の途中で一定時間放置した場合に、タッチパネルの表示をクリアし初期画面に戻る時間を設定します。

希望の時間（秒）のボタンを押します。オートクリアを無効にしたい場合は、[OFF] を押します。

注意

オートクリアを [OFF] に設定すると、設定/登録、状況確認やテンプレート画面を含めたすべてのモードにおいて、オートクリアが無効になります。

■ オプションのライセンスを管理する

本機にインストールされている、特定のオプションのライセンスIDなどの製品情報を確認します。また、必要に応じてそれらのオプションを本機にインストールすることができます。

☞ P.47 「製品情報を表示する」

☞ P.47 「ライセンス情報を表示する」

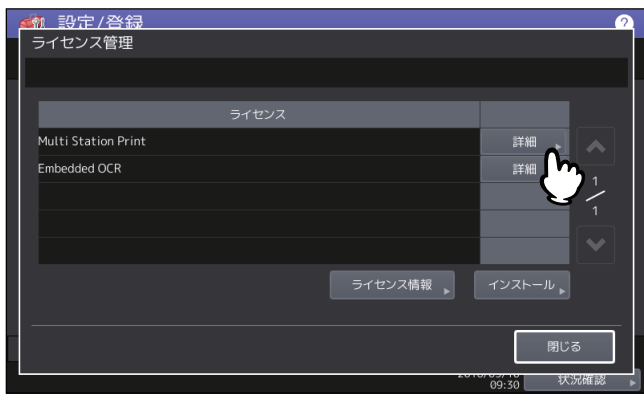
☞ P.48 「オプションをインストールする」

重要

オプションのインストールは、サービスエンジニアの指示に従って行ってください。

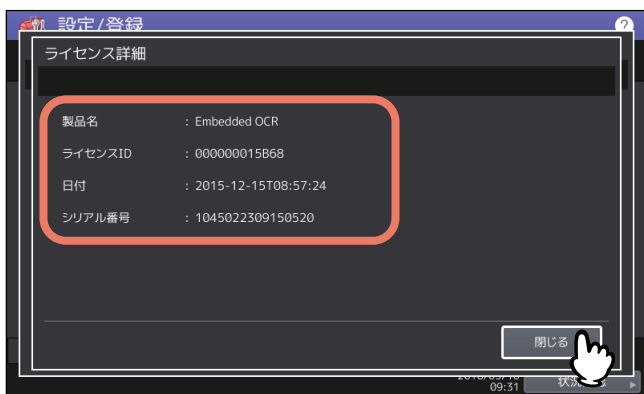
□ 製品情報を表示する

1 ライセンス管理画面で、製品情報を確認したいオプションを選択し、[詳細] を押します。



ライセンス詳細画面が表示されます。

2 製品情報を確認したら、[閉じる] を押します。



ライセンス管理画面に戻ります。

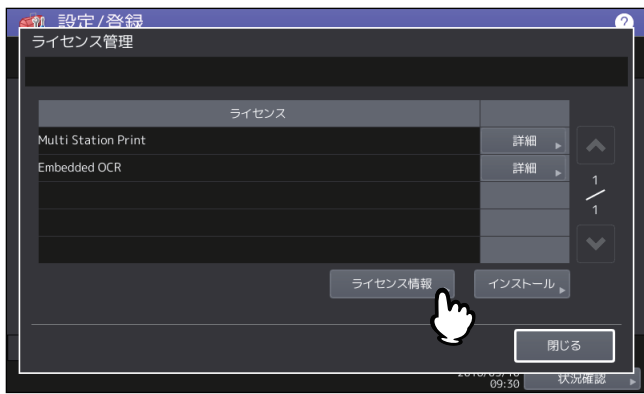
補足

以下の情報が表示されます。

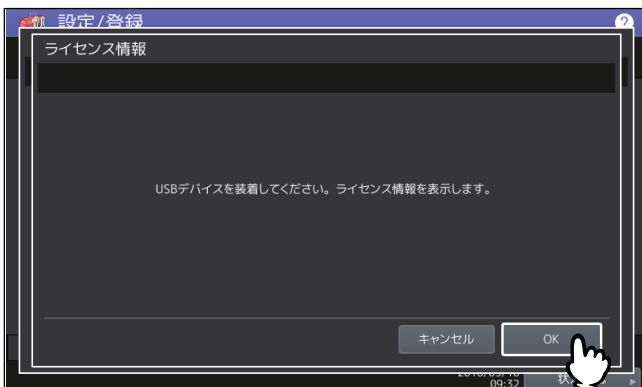
- 製品名：オプション名
- ライセンスID：オプションのライセンスID
- 日付：インストール日時
- シリアル番号：オプションのシリアル番号

□ ライセンス情報を表示する

1 ライセンス管理画面で [ライセンス情報] を押します。



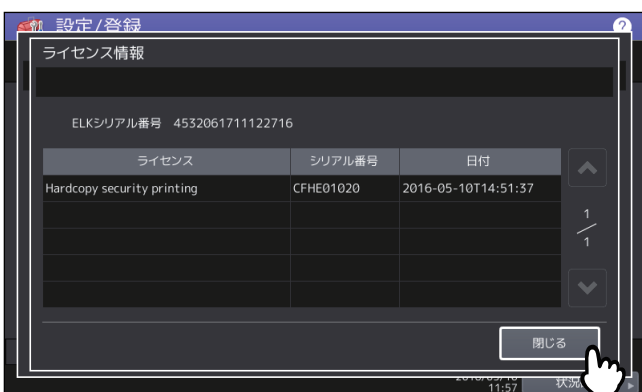
2 USBメディアを本機のUSBポートに接続し、[OK] を押します。



補足

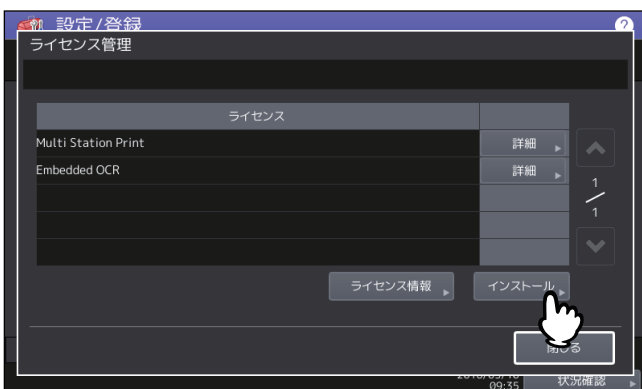
USBポートの位置については、**かんたん操作ガイド 第1章「使用前の準備」**を参照してください。

3 ライセンス情報を確認し、[閉じる] を押します。

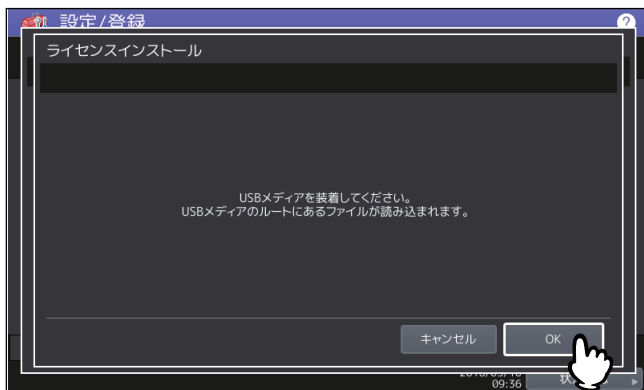


□ オプションをインストールする

1 ライセンス管理画面で、[インストール] を押します。



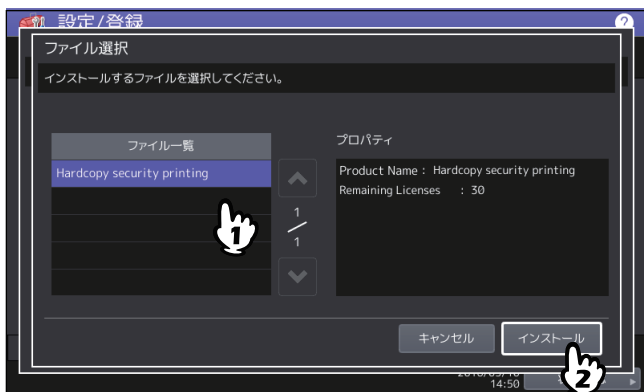
2 USBメディアを本機のUSBポートに接続し、[OK] を押します。



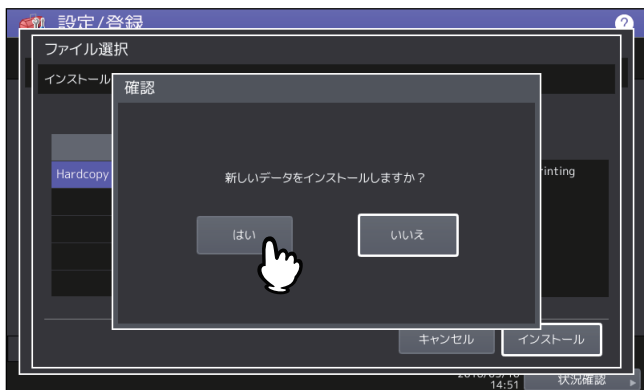
補足

USBポートの位置については、*かんたん操作ガイド* 第1章「使用前の準備」を参照してください。

3 インストールするオプションを選択し、[インストール] を押します。



4 [はい] を押します。



注意

データの転送が完了するまで絶対にUSBメディアを取り外さないでください。データの転送中にUSBメディアを取り外すと、USBメディアが破損する恐れがあります。

5 インストールが終了したら、[OK] を押します。



補足

インストールに失敗すると、警告画面に「インストールに失敗しました。もう一度実行しますか？」と表示されます。この場合には、[はい] を押して、インストールを再度実行してください。

6 USBメディアを本機のUSBポートから取り外します。

補足

設定を反映するため本機の再起動が必要になります。タッチパネルに「電源をいれ直してください」と表示されたら、操作パネルの[電源] ボタンを使って本機の電源を入れ直してください。

■ 表示言語を追加/削除する

タッチパネルの表示言語の追加や削除を行います。また、このメニューから標準で使用する言語を切り替えることもできます。

📖 P.51 「表示言語を追加する」

📖 P.52 「表示言語を削除する」

📖 P.53 「標準で使用する言語を設定する」

補足

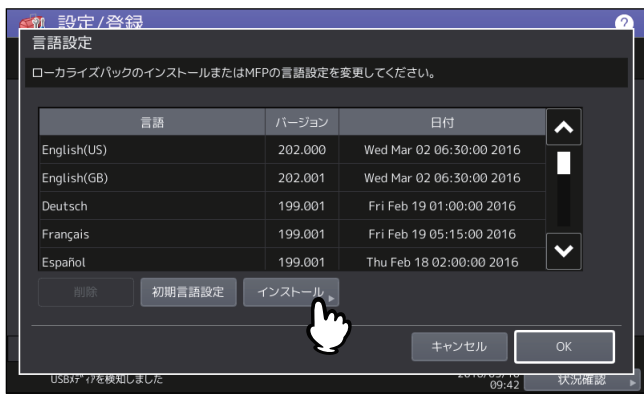
- 工場出荷時には、以下の言語パックが標準でインストールされています。

日本語	米語	英語	ドイツ語	フランス語
スペイン語	イタリア語	デンマーク語*	フィンランド語	ノルウェー語
スウェーデン語	オランダ語	ポーランド語	ロシア語	中国語（簡体字）
中国語（繁体字）	トルコ語			

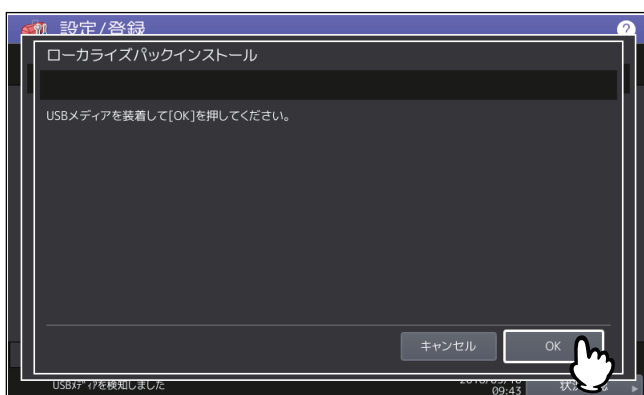
- 表示言語を追加する場合は、インストールしたい言語パックをあらかじめUSBメディアのルートに保存しておいてください。

□ 表示言語を追加する

1 言語設定画面で、[インストール] を押します。



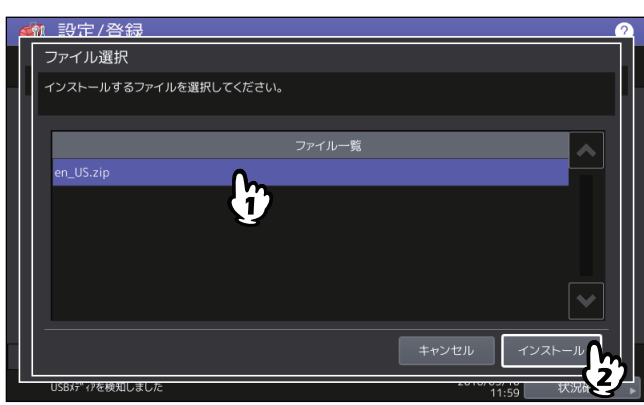
2 言語パックを保存したUSBメディアを本機のUSBポートに接続し、[OK] を押します。



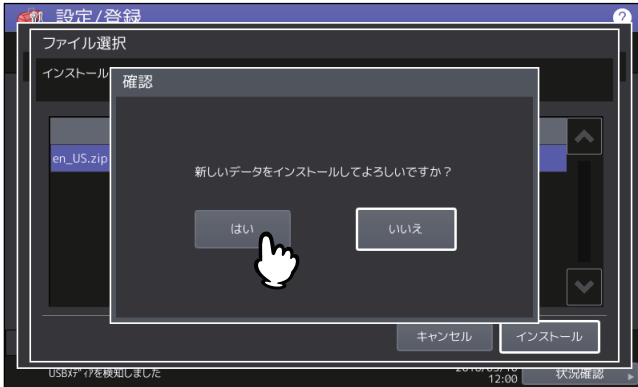
補足

USBポートの位置については、[かんたん操作ガイド 第1章「使用前の準備」](#)を参照してください。

3 インストールしたい言語パックを選択し、[インストール] を押します。



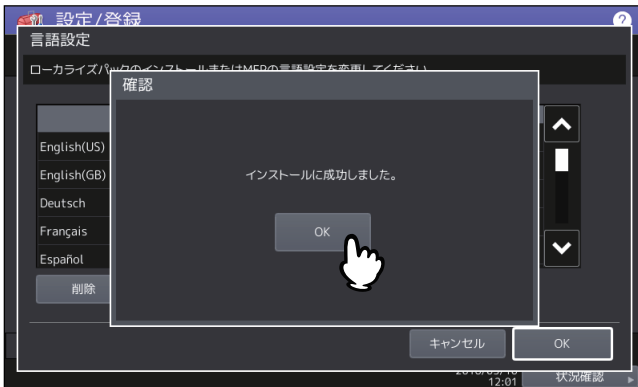
4 [はい] を押します。



注意

データの転送が完了するまで絶対にUSBメディアを取り外さないでください。データの転送中にUSBメディアを取り外すと、USBメディアが破損する恐れがあります。

5 インストールが終了したら、[OK] を押します。



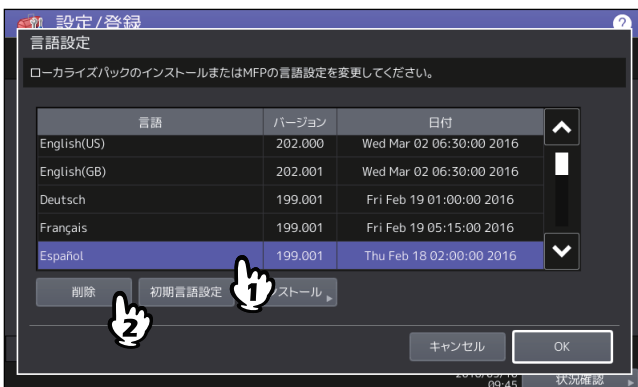
補足

言語パックのインストールに失敗すると、警告画面に「インストールに失敗しました」と表示されます。[閉じる] を押して、操作を再度実行してください。

6 USBメディアを本機のUSBポートから取り外します。

□ 表示言語を削除する

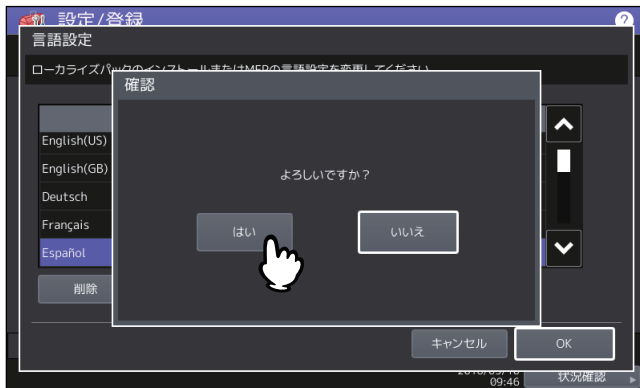
1 言語設定画面で、削除したい言語パックを選択し、[削除] を押します。



注意

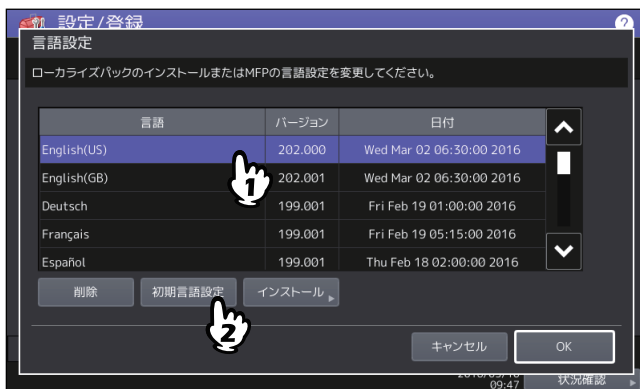
米語、英語および標準で使用している言語は、削除できません。

2 [はい] を押します。



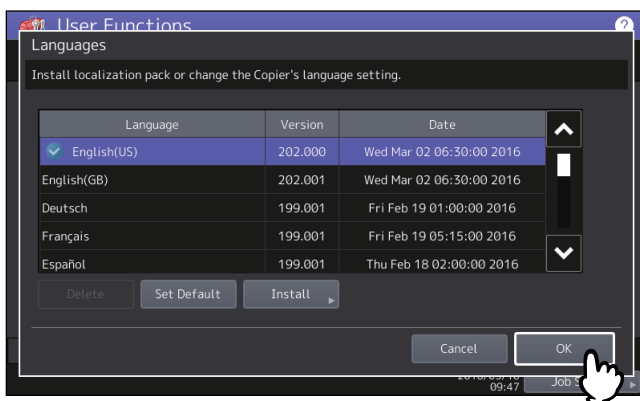
□ 標準で使用する言語を設定する

1 言語設定画面で、標準で使いたい言語を選択し、[初期言語設定] を押します。



選択した言語の横に が表示されます。

2 [OK] を押します。



■ システムをアップデートする

本機のシステムをアップデートするためのファイルをインストールします。

📖 P.54 「システムアップデートを実行する」

注意

- 操作を行う前に、アップデート用のファイルをあらかじめUSBメディアのルートに保存しておいてください。
- ファイルの入手については、サービスエンジニアにお問い合わせください。

□ システムアップデートを実行する

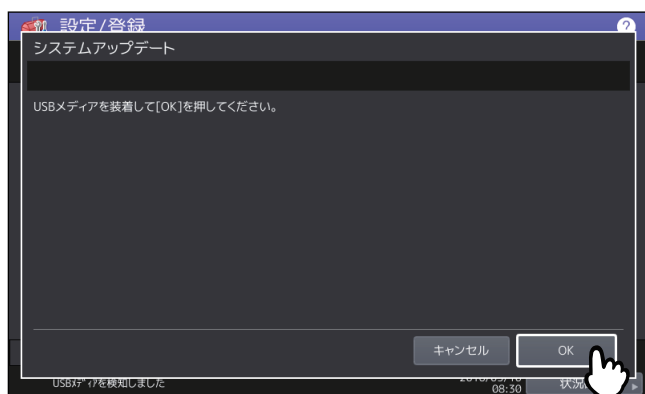
1 機器設定メニューで [システムアップデート] を押します。

システムアップデート画面に現在インストールされているソフトウェアの一覧およびそれらのバージョンが表示されます。

2 [インストール] を押します。



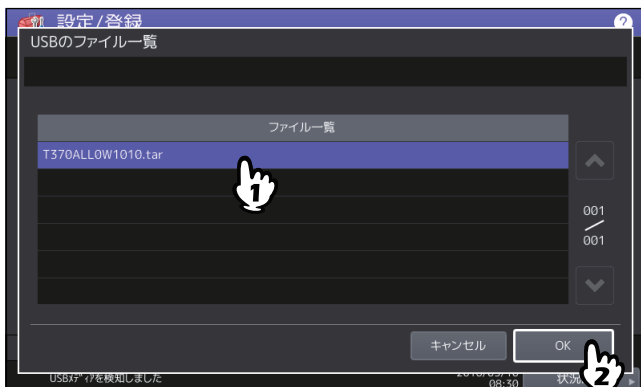
3 アップデート用ファイルを保存したUSBメディアを本機のUSBポートに接続し、[OK] を押します。



補足

USBポートの位置については、[かんたん操作ガイド 第1章「使用前の準備」](#)を参照してください。

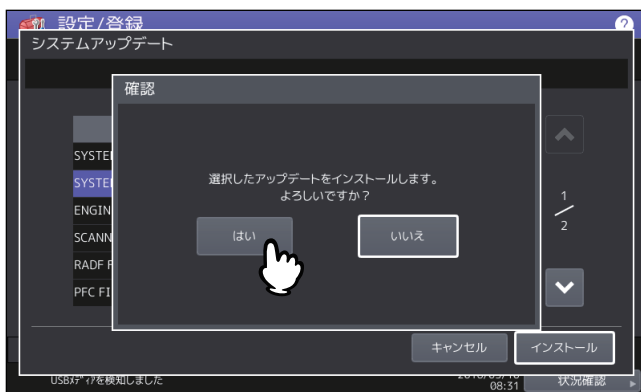
4 ファイルの種類を選択し、[OK] を押します。



5 インストールしたいアップデート用のファイルを選択し、[インストール] を押します。



6 [はい] を押します。

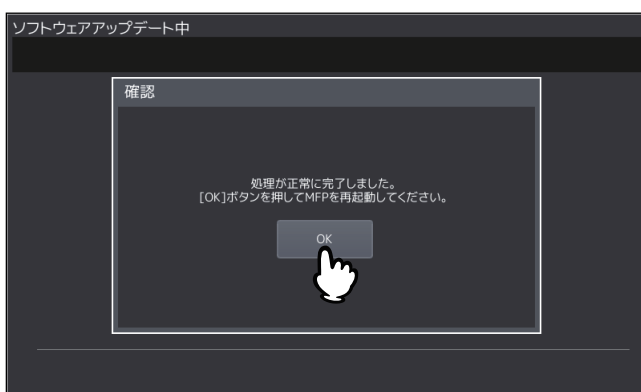


インストールが開始されます。

注意

- データの転送が完了するまで絶対にUSBメディアを取り外さないでください。データの転送中にUSBメディアを取り外すと、USBメディアが破損する恐れがあります。
- 本機でジョブが処理されているときなどに [はい] を押すと、警告画面が表示されます。この場合は [閉じる] を押し、[状況確認] を押して実行中や実行待ちのジョブがないことを確認してから、再度実行してください。

- 7 インストールが終了したら、USBメディアを本機のUSBポートから取り外し、[OK] を押して本機を再起動します。



システムの更新処理が行われます。更新処理が完了すると、自動的に本機が再起動します。

■ 複製データを作成/インストールする

クローニング機能を使って設定データやユーザーデータの複製ファイルを作成します。また、その複製ファイルを他の複合機/複写機にインストールすることができます。複数の複合機/複写機に同じ設定を施したい場合などに、便利な機能です。

📖 P.56 「複製データをインストールする」

📖 P.58 「複製ファイルを作成する」

注意

複製ファイルは他の複合機にインストールすることができます。インストールできる機種については、サービスエンジニアにお問い合わせください。

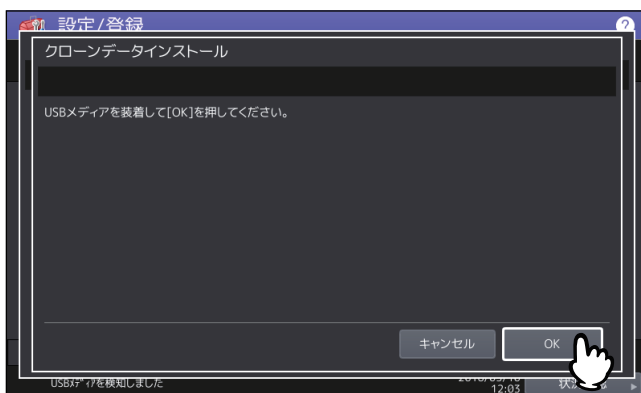
補足

複製データをインストールする場合は、インストールしたい複製ファイルをあらかじめUSBメディアのルートに保存しておいてください。

クローニングの詳細については、サービスエンジニアにお問い合わせください。

□ 複製データをインストールする

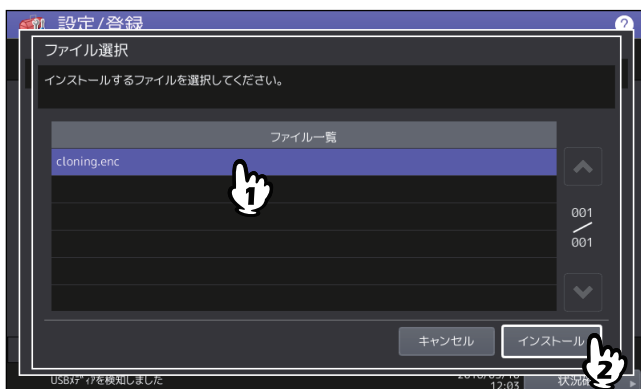
- 1 クローニング画面で、[クローンデータインストール] を押します。
- 2 複製ファイルを保存したUSBメディアを本機のUSBポートに接続し、[OK] を押します。



補足

USBポートの位置については、[かんたん操作ガイド 第1章「使用前の準備」](#)を参照してください。

3 インストールしたい複製ファイルを選択し、[インストール] を押します。

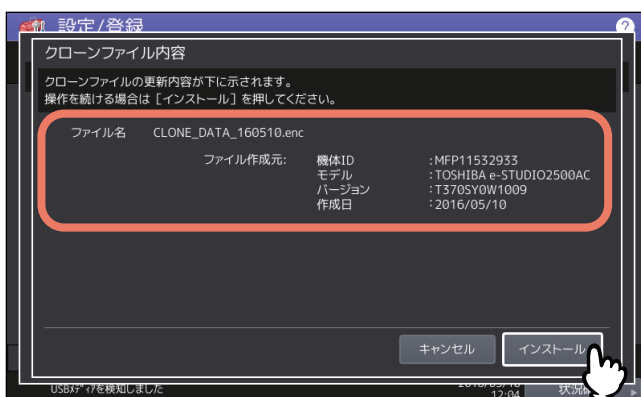


注意

選択できるファイル数は、1操作につき1ファイルです。

4 インストールするデータにアドレス帳を含めるか選択枝が出た場合、アドレス帳を含めないとときは [いいえ] を押します。

5 ファイル名およびファイルの内容を確認し、[インストール] を押します。



6 パスワードを入力し [OK] を押します。

パスワード入力画面に戻ります。

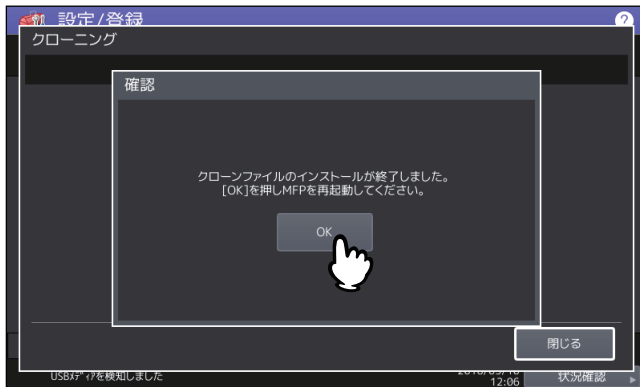
7 [はい] を押します。

インストールが開始されます。

注意

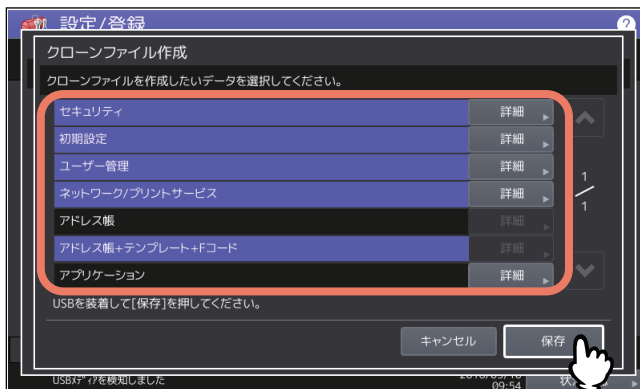
データの転送が完了するまで絶対にメディアを取り外さないでください。データの転送中にUSBメディアを取り外すと、USBメディアが破損する恐れがあります。

- 8 インストールが終了したら、USBメディアを本機のUSBポートから取り外し、[OK] を押して本機を再起動します。



□ 複製ファイルを作成する

- 1 クローニング画面で、[クローンファイル作成] を押します。
- 2 USBメディアを本機のUSBポートに接続し、複製ファイルを作成するデータを選択して [保存] を押します。



保存画面が表示されます。

補 足

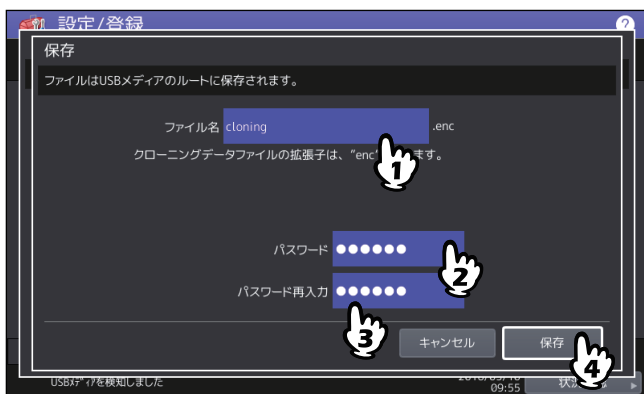
- USBポートの位置については、**かんたん操作ガイド 第1章「使用前の準備」**を参照してください。
- 複製する必要のないデータは、データカテゴリのボタンを押し反転表示を解除してください。
- [詳細] を押すと、どのデータが複製されるかを確認できます。

データカテゴリ	複製されるデータ
セキュリティ	セキュアイレース、認証
初期設定	機器設定、コピー、スキャン、ファクス、インターネットファクス、ファクス/インターネットファクス受信転送、Eメール、共有フォルダに保管、プリンタ、メール通知、ログ設定、EWB設定
ユーザー管理	ユーザ、グループ、ロール、割当、部門コード、アドレス帳、プロジェクトコード、ホーム画面
ネットワーク/プリントサービス	ネットワーク設定、プリントサービス、無線LAN、Bluetooth、LDAPサービス
アドレス帳	アドレス帳
アドレス帳+テンプレート+Fコード	アドレス帳、テンプレート、Fコード

データカテゴリ	複製されるデータ
アプリケーション	アプリケーションプログラム、アプリケーション設定 (ライセンスは除く)

3 ファイル名を入力し、パスワードを設定したら保存します。

1. [ファイル名] にファイル名を入力します。
ファイル名は128文字以内で入力してください。
2. [パスワード] にパスワードを入力します。
3. [パスワード再入力] にパスワードを再度入力します。
4. [保存] を押します。



複製ファイルの作成が開始されます。

注意

データの転送が完了するまで絶対にUSBメディアを取り外さないでください。データの転送中にUSBメディアを取り外すと、USBメディアが破損する恐れがあります。

4 複製ファイルの作成が終了したら、[OK] を押します。



クローニング画面に戻ります。

補足

- 複製ファイルの作成に失敗すると、警告画面に「ファイルの保存に失敗しました。」と表示されます。この場合には、[閉じる] を押して、操作を再度実行してください。
- 複製ファイルの保存中にUSBメディアのメモリの空き容量がなくなると、注意画面に「USBが容量オーバーです。交換してください。」と表示されます。この場合には、新しいUSBメディアに交換し操作を再度実行してください。

5 USBメディアを本機のUSBポートから取り外します。

■ 電源オフ画面の表示/電源オフ時の動作を設定する

電源オフ画面の表示および電源オフ時の動作を設定します。

項目名	機能説明
電源オフ方法選択画面	操作パネルの電源ボタンを押したときに電源オフ方法の選択画面を表示するかを設定します。
既定の電源オフ動作 (電源オフ画面無効時)	電源オフ方法選択画面で「無効」を選択した場合に、操作パネルの電源ボタンを押したときに電源をオフする方法を選択します。

■ ログをエクスポートする

状況確認画面のログ一覧に表示される各操作のログ（印刷／送信／受信／スキャン／アプリケーション）を、USBメディアに書き出します。

📖 P.60 「ログエクスポートを実行する」

□ ログエクスポートを実行する

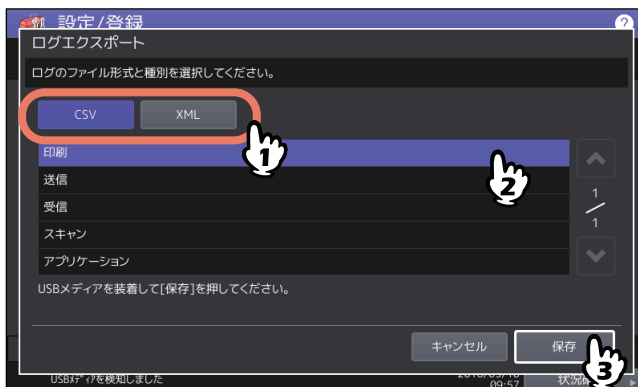
1 USBメディアを本機のUSBポートに接続します。

補足

USBポートの位置については、**かんたん操作ガイド 第1章「使用前の準備」**を参照してください。

2 ログのエクスポートを開始します。

1. ログのファイル形式をCSVとXMLから選びます。
2. エクスポートするログを選択します。
3. [保存] を押すとエクスポートを開始します。



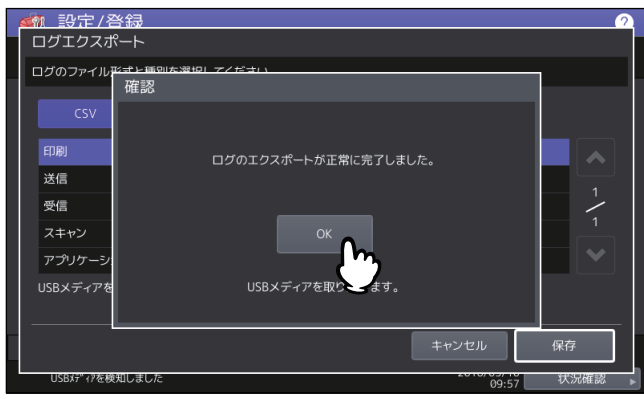
補足

1つの操作につき選択できるログの種類は、1種類です。

注意

データの転送が完了するまで絶対にUSBメディアを取り外さないでください。データの転送中にUSBメディアを取り外すと、USBメディアが破損する恐れがあります。

3 エクスポートが終了したら、[OK] を押します。



4 USBメディアを取り外します。

■ ジョブスキップを設定する

コピーや印刷ができない条件が発生した場合に、原因となったジョブをスキップし、他のジョブを優先して出力することができます。

項目名	機能説明
ジョブスキップ設定	<ul style="list-style-type: none"> • ON：この機能を有効にします。 • OFF：この機能を無効にします。

補足

コピーや印刷が保留された原因を解除する方法については、トラブルシューティングガイド [ソフトウェア編] 第1章「タッチパネルによる状態の確認」を参照してください。

■ キーボード設定を変更する

タッチパネルに表示されるキーボードの設定変更、および外部キーボードとして接続しているキーボードのレイアウトを設定します。

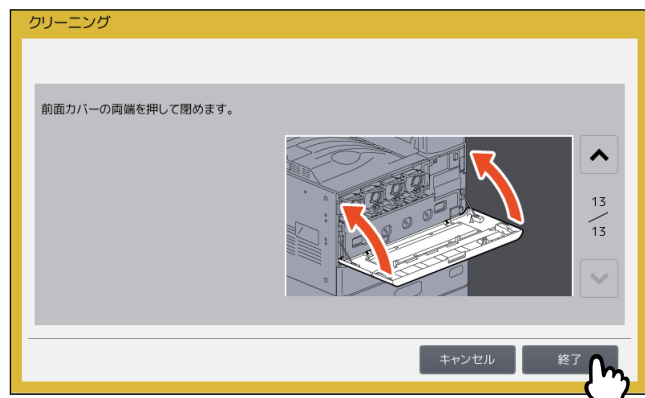
項目名	機能説明
ソフトウェアキーボード	<ul style="list-style-type: none"> • 表示：ソフトウェアキーボードをタッチパネルに表示するかを設定します。 <p>注意 タッチパネルの言語を日本語または中国語に設定している場合は、[OFF] に設定してもソフトウェアキーボードが表示されます。</p> <ul style="list-style-type: none"> • レイアウト：タッチパネルに表示するキーボードのレイアウトを選択します。 <p>注意 タッチパネルの言語を日本語に設定している場合は、英字入力キーボードのレイアウトは固定です。</p>
外部キーボードレイアウト	<p>外部キーボードとして接続しているキーボードのレイアウトを選択します。</p> <p>注意 設定の変更は本機を再起動すると有効になります。</p>

■ 帯電チャージャとLEDプリントヘッドをクリーニングする

帯電チャージャとLEDプリントヘッドのクリーニングを実施します。帯電チャージャやLEDプリントヘッドが汚れると、印刷した画像の横方向にムラが出る、白いスジが入るなどの症状が現れます。画面のガイダンスを見ながらクリーニングを実施してください。手順どおりクリーニングしたら、画面上の[終了]を押してください。

注意

クリーニング時期をお知らせするカウンタをクリアするために、[終了]を押してください。



補足

このボタンは、一部の機種のみ表示されます。

■ ポップアップメッセージを設定する

カセット抜き差し時の、用紙サイズ・用紙種類設定の変更の要否を確認するメッセージ、紙づまり解除後の、印刷継続を確認するメッセージ、およびカセットに入れる用紙の量について注意を促すメッセージの表示/非表示を設定します。

各項目の[有効]または[無効]を押し、[OK]を押します。

項目名	機能説明
カセット引き出し時用紙サイズ・タイプ確認	有効にすると、カセットを抜き差ししたときに、用紙サイズや用紙種類の設定を変更するかを確認するメッセージが表示されます。
紙詰り解除後の印刷	有効にすると、紙づまりが発生したときに実行していた印刷を継続するか中止するかを確認するメッセージが表示されます。
厚紙セット	有効にすると、カセットに入れる用紙の量について注意を促すメッセージが表示されます。このメッセージは、普通紙と厚紙1（106～163 g/m ² ）で入れられる用紙の量が異なるカセットの用紙種類を「厚紙1」に設定したとき、そのカセットを開け閉めしたときに表示されます。

■ 原稿送り装置のスジ低減レベルを設定する

コピーまたはスキャン時に自動原稿送り装置を使用して原稿を読み取る際のスジの低減レベルを設定します。コピーまたはスキャン時に微細なゴミによるスジが目立つ場合に使用します。

項目名	機能説明
コピー	<ul style="list-style-type: none">なし：コピー時に低減機能を使用しません。低・中・高：コピー時に低減機能を使用します。この機能を強く効かせると、スジ以外の細い線なども薄くなることがあります。
スキャン	<ul style="list-style-type: none">なし：スキャン時に低減機能を使用しません。低・中・高：スキャン時に低減機能を使用します。この機能を強く効かせると、スジ以外の細い線なども薄くなることがあります。

■ セルフチェック間隔を設定する

本機が画質維持のために実行するセルフチェックの間隔を設定します。「長め」、「より長め」に設定すると、セルフチェックの回数を減らすことができます。

注意

[長め]、[より長め] に設定すると、色ズレが発生する場合があります。色ズレが気になる場合は、設定を元に戻すか、カラー印刷を行う前に位置合わせを実行してください。

☞ P.46 「位置を補正する」

■ ファンクションボタンの機能を設定する

操作パネルのファンクションボタンに機能を割り当てます。[ボタン1] または [ボタン2] を押して、割り当てたい機能を選択します。

注意

ファンクションボタンには以下の機能を割り当てられます。

割り込み	状況確認	設定/登録	カウンタ	言語切替
コピー	ファイリングボックス	スキャン	プリント	ファクス
かんたんコピー	かんたんスキャン			

■ ブルー印刷濃度を設定する

Loops LP50 Seriesで、ブルートナーを使用した印刷の濃度を設定します。

項目名	機能説明
標準	標準の濃度で印刷する設定にします。
濃い	標準の濃度より濃く印刷する設定にします。

■ データバックアップ/リストアを設定する

MFPの設定データのバックアップをUSBメディアや外部サーバーに保存し、必要に応じてリストアすることができます。

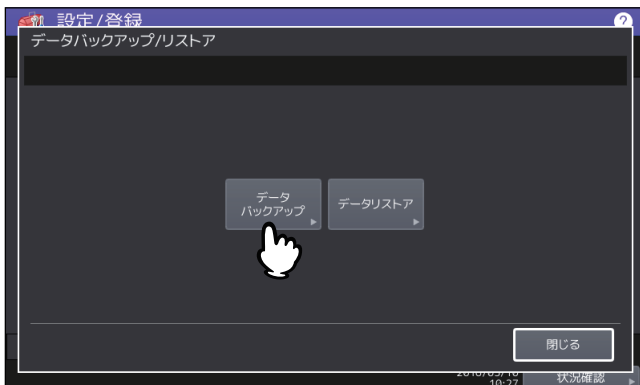
保存先	概要
USBメディア	USBメディアをMFPに接続して、バックアップデータを保存します。 <ul style="list-style-type: none"> • データバックアップ：☞ P.64 「データをUSBメディアにバックアップする」 • データリストア：☞ P.66 「データをUSBメディアからリストアする」
外部サーバー	MFPが接続されているネットワーク上のサーバーにバックアップデータを保存します。 <ul style="list-style-type: none"> • データバックアップ：☞ P.65 「データを外部サーバーにバックアップする」 • データリストア：☞ P.67 「データを外部サーバーからリストアする」

補足

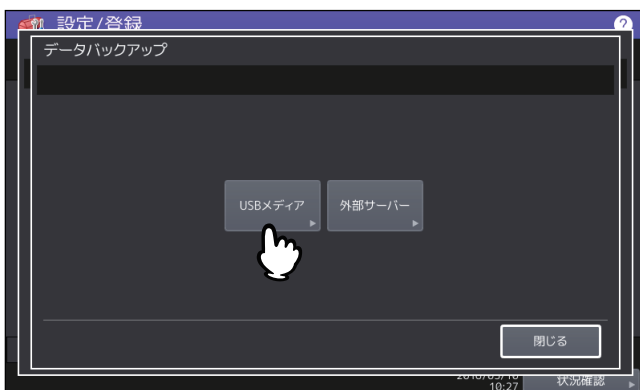
- データバックアップ/リストアは、データバックアップ機能が有効の設定になっている場合、表示されます。
- 外部サーバーは、データバックアップに外部サーバーを使用する設定が有効になっている場合表示されます。
- データバックアップ/リストアの設定は、TopAccessを使って変更することができます。設定方法は**TopAccessガイド**を参照してください。

□ データをUSBメディアにバックアップする

- 1 機器設定メニューで [データバックアップ/リストア] を押します。
- 2 [データバックアップ] を押します。



- 3 [USBメディア] を押します。



- 4 本機のUSBポートにUSBメディアを挿入します。

補足

USBメディアを挿入すると [OK] ボタンが有効になります。

- 5 [OK] を押します。
確認画面が表示されます。

補足

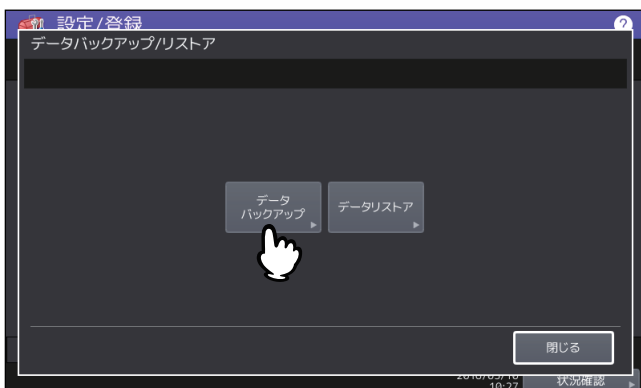
- USBメディアに以前に実行したバックアップファイルが保存されている場合、ファイルパス、F/Wバージョンおよびバックアップ日時が表示されます。
- USBメディアに以前に実行したバックアップファイルが保存されていない場合、“-”と表示されます。

- 6 [バックアップ] を押します。
確認画面が表示されます。
- 7 [OK] を押します。
データバックアップ処理が開始されます。
- 8 バックアップが終了したら、本機のUSBポートからUSBメディアを取り外します。

□ データを外部サーバーにバックアップする

1 機器設定メニューで [データバックアップ/リストア] を押します。

2 [データバックアップ] を押します。



3 [外部サーバー] を押します。



確認画面が表示されます。

補足

- 外部サーバーに以前に実行したバックアップファイルが保存されている場合、ファイルパス、FWバージョンおよびバックアップ日時が表示されます。
- 外部サーバーに以前に実行したバックアップファイルが保存されていない場合、“-”と表示されます。

4 [バックアップ] を押します。

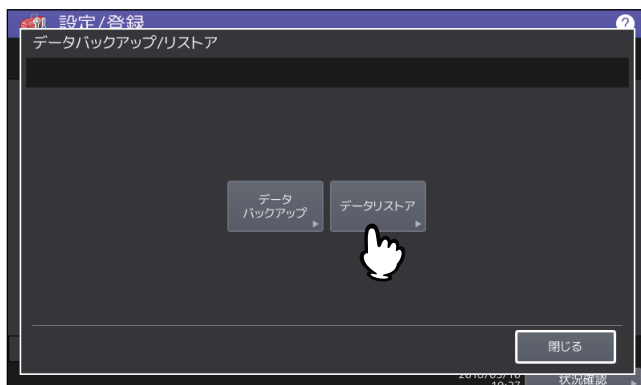
確認画面が表示されます。

5 [OK] を押します。

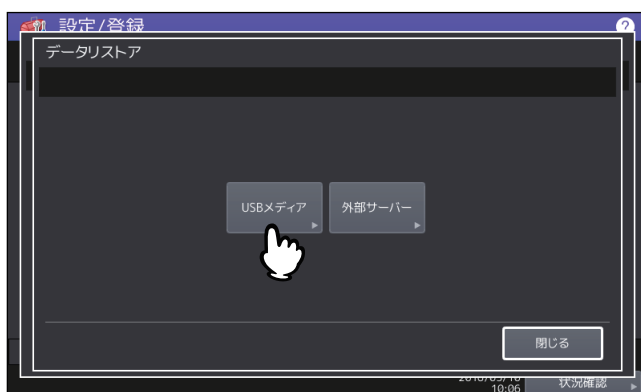
データバックアップ処理が開始されます。

□ データをUSBメディアからリストアする

- 1 機器設定メニューで [データバックアップ/リストア] を押します。
- 2 [データリストア] を押します。



- 3 [USBメディア] を押します。



- 4 本機のUSBポートにUSBメディアを挿入します。

補足

USBメディアを挿入すると [OK] ボタンが有効になります。

- 5 [OK] を押します。
確認画面が表示されます。

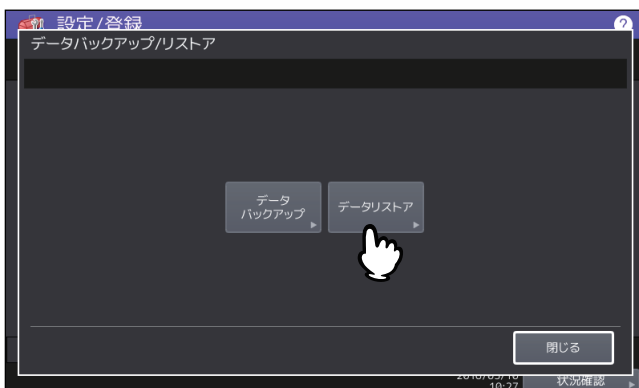
補足

USBメディアにバックアップファイルが保存されていない場合、“—”と表示されます。

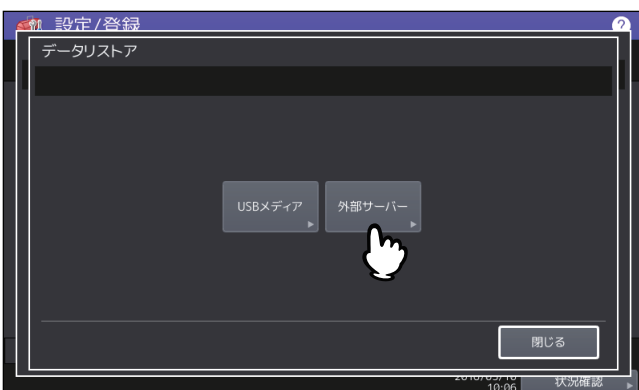
- 6 [リストア] を押します。
確認画面が表示されます。
- 7 [OK] を押します。
データリストア処理が開始されます。
- 8 リストアが完了したら、本機のUSBポートからUSBメディアを取り外します。

□ データを外部サーバーからリストアする

- 1 機器設定メニューで [データバックアップ/リストア] を押します。
- 2 [データリストア] を押します。



- 3 [外部サーバー] を押します。



確認画面が表示されます。

補足

外部サーバーにバックアップファイルが保存されていない場合、“-”と表示されます。

- 4 [リストア] を押します。
確認画面が表示されます。
- 5 [OK] を押します。
データリストア処理が開始されます。

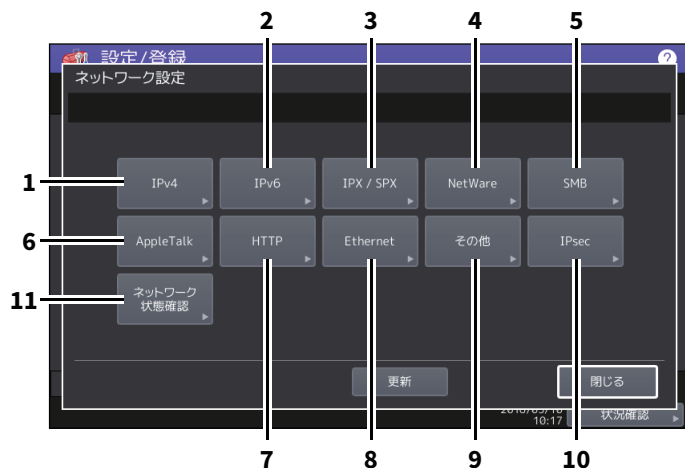
ネットワーク設定

このメニューでは、ネットワークの各種設定を行います。

補足

ネットワーク設定メニューを表示する手順は、以下のページを参照してください。

📖 P.35 「管理者設定メニューに入る」



	項目名	機能説明
1	IPv4	📖 P.69 「TCP/IPプロトコルを設定する (IPv4)」
2	IPv6	📖 P.70 「TCP/IPプロトコルを設定する (IPv6)」
3	IPX/SPX	📖 P.76 「IPX/SPXプロトコルを設定する」
4	NETWARE	📖 P.76 「NetWareを設定する」
5	SMB	📖 P.77 「SMBプロトコルを設定する」
6	APPLETALK	📖 P.78 「AppleTalkプロトコルを設定する」
7	HTTP	📖 P.78 「HTTPネットワークサービスを設定する」
8	ETHERNET	📖 P.79 「Ethernet速度を設定する」
9	その他	📖 P.79 「LDAP、フィルタリング機能、リンクダウン検出を設定する」
10	IPsec	📖 P.80 「IPセキュリティを設定する」
11	ネットワーク状態確認	📖 P.81 「ネットワーク状態を確認する」

注意

- ネットワーク設定では、設定変更後に [更新] を押し、ネットワークカードの初期化を行います。[更新] を押すと、数秒後にタッチパネルに「ネットワーク準備中」と表示されますが、そのメッセージが表示されるまでの時間は設定によって異なります。設定が完了すると、「ネットワーク準備中」の表示が消えます。
- 「ネットワーク準備中」と表示されている間は、[ネットワーク設定]、[セキュリティ設定]、[無線LAN]、[802.1X設定]、[初期化]、[日時] および [クローニング] の各ボタンを押せません。これらのボタン操作は、「ネットワーク準備中」の表示が消えてから行ってください。

■ TCP/IPプロトコルを設定する (IPv4)

TCP/IPプロトコルの設定を行います。WebベースユーティリティのTopAccessやファイリングボックス、またはネットワーク印刷、ネットワークスキャン、インターネットファクスなど、本機のネットワーク機能を利用するにはTCP/IPプロトコルを設定する必要があります。

TCP/IPの設定では、アドレス設定方法の選択、IPアドレス、サブネットマスク、デフォルトゲートウェイの割り付け（手動で割り付ける場合）を設定します。

ご利用のネットワークの環境によって、TCP/IPプロトコルの設定方法は異なります。

項目名	機能説明
アドレス設定方法	<ul style="list-style-type: none"> • 自動 (DHCPまたはAutoIPでTCP/IPを設定する場合) : 本機に割り付けるTCP/IP設定が分からない場合は「自動」を選択します。「自動」を選択すると、ネットワークがDHCPをサポートしている場合は、DHCPサーバーから本機のIPアドレス、サブネットマスク、ゲートウェイ、WINSプライマリ、WINSセカンダリ、POP3サーバーアドレス、およびSMTPサーバーアドレスを取得します。ネットワークがDHCPをサポートしていない場合は、AutoIP機能を使って適当なIPアドレスを本機に割り付けます。ただし、ネットワークの途中にルーターがある場合はAutoIP機能が動作しないことがあります。 • 自動IPなし (DHCPのみを使用してTCP/IPを設定する場合) : DHCPサーバーがあるローカルエリアネットワークに接続し、AutoIP機能を使用せずDHCPのみを使用して本機のTCP/IPを設定したい場合は、「自動IPなし」を選択します。「自動IPなし」を選択すると、DHCPサーバーから本機のIPアドレス、サブネットマスク、ゲートウェイ、WINSプライマリ、WINSセカンダリ、POP3サーバーアドレス、およびSMTPサーバーアドレスを取得し、AutoIPによるIPアドレスの割り付けは無効にします。 • マニュアル (固定IPアドレスを使用するローカルエリアネットワークに接続する場合) : 各デバイスに固定のIPアドレスを使用するローカルエリアネットワークに接続する場合は「マニュアル」を選択し、IPアドレスを指定します。必要に応じてサブネットマスク、デフォルトゲートウェイも設定してください。
IPアドレス サブネットマスク ゲートウェイ	<p>テンキーで本機のIPアドレスを入力します。 必要に応じて、サブネットマスクとデフォルトゲートウェイも入力します。 入力欄の移動は矢印ボタンを使います。</p> <p>注意 この項目は [アドレス設定方法] で [マニュアル] が選択されている場合のみ有効です。</p>

■ TCP/IPプロトコルを設定する (IPv6)

IPv6の設定を行います。

IPv6の設定では、IPv6プロトコルの有効／無効、アドレス設定方法の選択をすることにより、IPv6アドレスなどを設定します。

アドレス設定方法の選択によって、IPv6アドレスの取得方法は異なります。

- **【手動】を選択した場合：**

IPv6アドレス、プレフィックスおよびデフォルトゲートウェイを手動で設定します。登録できるIPv6アドレスは、1個です。

📖 P.71 「手動でIPv6の設定を行う」

- **【ステートレス】を選択した場合：**

DHCPv6サーバーおよびルーターからIPv6アドレスを自動で取得します。最大9個のIPv6アドレスを登録することができます。

📖 P.72 「自動でIPv6の設定を行う（ステートレスのネットワーク環境）」

補足

ルーターからは最大7個のIPv6アドレスを取得できます。DHCPv6サーバーから取得できるIPv6アドレスは、1個です。また、1つのリンクローカルアドレスが、自動的に生成されます。

- **【ステートフル】を選択した場合：**

DHCPv6サーバーからIPv6アドレスを自動で取得します。登録できるIPv6アドレスは、1個です。

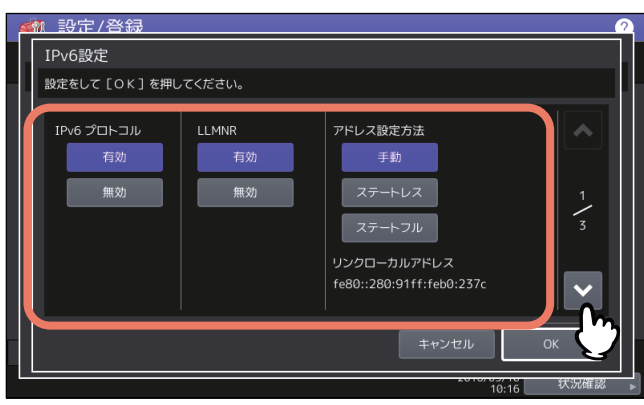
📖 P.74 「自動でIPv6の設定を行う（ステートフルのネットワーク環境）」

補足

重複したIPv6アドレスがDAD（Duplicate Address Detection）機能により検知された場合は、タッチパネルに「IPv6アドレスが重複しています」と表示されます。

□ 手動でIPv6の設定を行う

1 IPv6設定画面で、下記項目を設定し、 を押します。

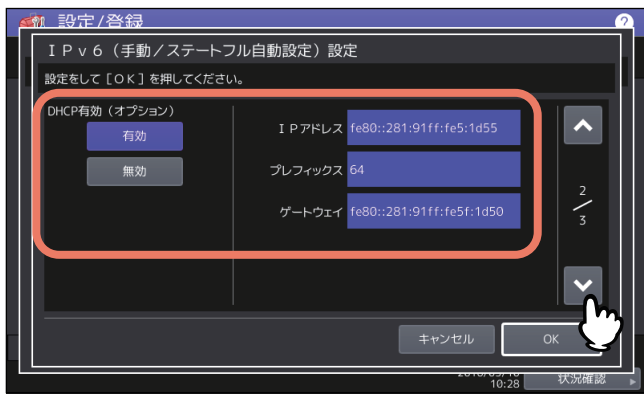


項目名	機能説明
IPv6プロトコル	<ul style="list-style-type: none"> • 有効：IPv6プロトコルを使用します。 • 無効：IPv6プロトコルを使用しません。
LLMNR	<ul style="list-style-type: none"> • 有効：LLMNR (Linklocal Multicast Name Resolution) プロトコルを使用します。 • 無効：LLMNRプロトコルを使用しません。
アドレス設定方法	IPv6アドレスの設定方法に [手動] を選択します。
リンクローカルアドレス	IPv6で使用する固有なIPアドレスが表示されます。

注意

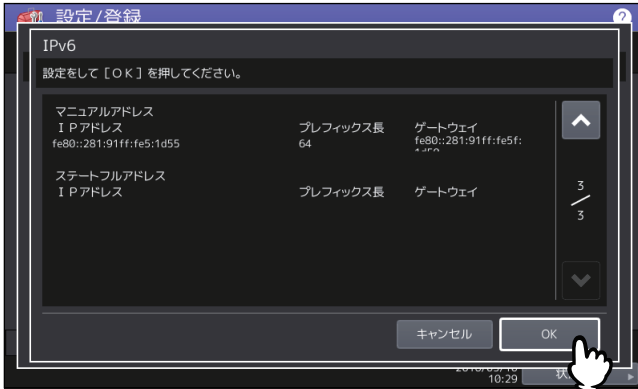
リンクローカルアドレスは、ルーターを越えたネットワークには接続できません。

2 下記項目を設定し、 を押します。



項目名	機能説明
DHCP有効 (オプション)	DHCPv6サーバーから通知されるIPv6アドレス以外のオプション情報 (DNSサーバーなどのIPv6アドレス) を使用するかどうかを選択します。 <ul style="list-style-type: none"> • 有効：使用します。 • 無効：使用しません。
IPアドレス	本機のIPv6アドレスを入力します。
プレフィックス	IPv6アドレスのプレフィックスを入力します。
ゲートウェイ	デフォルトゲートウェイのアドレスを入力します。

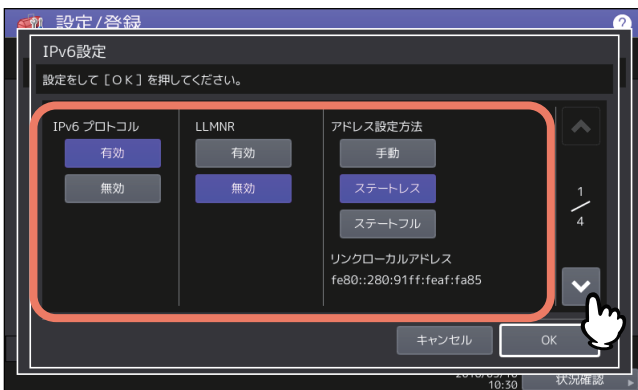
3 設定内容を確認し、[OK] を押します。



ネットワーク設定メニューに戻ります。

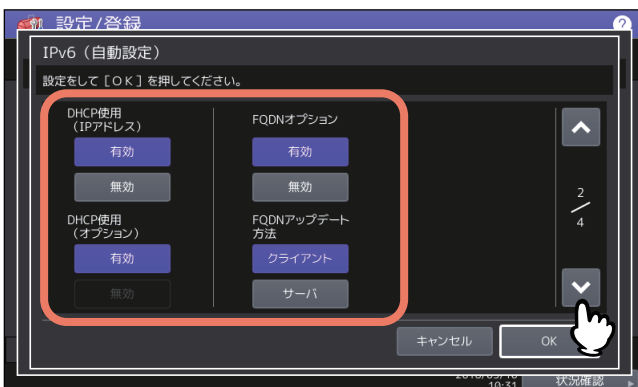
□ 自動でIPv6の設定を行う（ステートレスのネットワーク環境）

1 IPv6設定画面で、下記項目を設定し、[v] を押します。



項目名	機能説明
IPv6プロトコル	<ul style="list-style-type: none"> 有効：IPv6プロトコルを使用します。 無効：IPv6プロトコルを使用しません。
LLMNR	<ul style="list-style-type: none"> 有効：LLMNR（Linklocal Multicast Name Resolution）プロトコルを使用します。 無効：LLMNRプロトコルを使用しません。
アドレス設定方法	IPv6アドレスの設定方法に「ステートレス」を選択します。
リンクローカルアドレス	IPv6で使用する固有なIPアドレスが表示されます。

2 下記項目を設定し、[v] を押します。

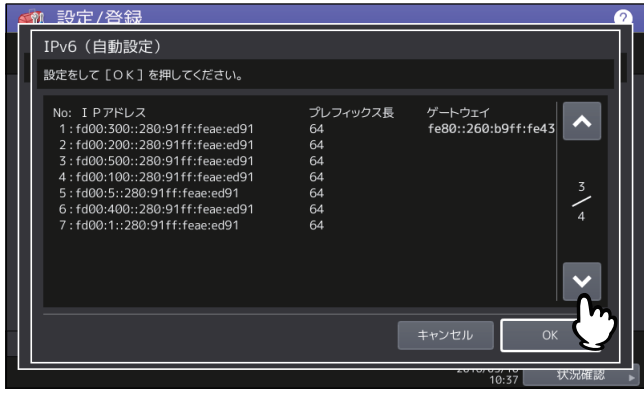


項目名	機能説明
DHCP使用 (IPアドレス)	<ul style="list-style-type: none"> 有効：DHCPv6サーバーから通知されるIPv6アドレスを使用します。 無効：DHCPv6サーバーから通知されるIPv6アドレスを使用しません。
DHCP使用 (オプション)	<ul style="list-style-type: none"> 有効：DHCPv6サーバーから通知されるIPv6アドレス以外のオプション情報（DNSサーバーなどのIPv6アドレス）を使用します。 無効：DHCPv6サーバーから通知されるIPv6アドレス以外のオプション情報を使用しません。
FQDNオプション	<ul style="list-style-type: none"> 有効：DNSを使用してFQDN（Fully Qualified Domain Name：完全修飾ドメイン名）を設定します。 無効：DNSを使用してFQDNを設定しません。
FQDNアップデート 方法	<ul style="list-style-type: none"> クライアント：本機からDNSを更新します。 サーバ：DHCPv6サーバーからDNSを更新します。

補足

DHCP使用（IPアドレス）を有効にすると、DHCP使用（オプション）は自動的に有効に設定されます。

3 設定内容を確認し、 を押します。



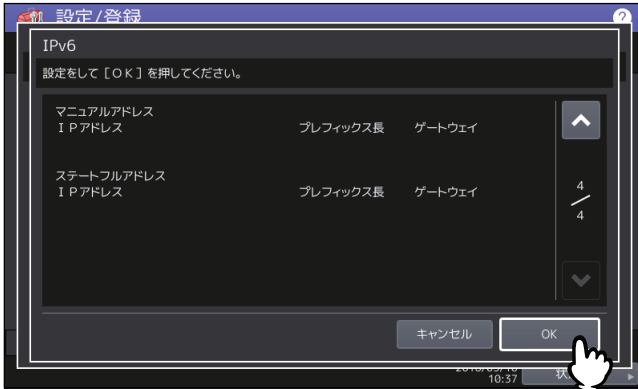
補足

ルーターから取得したIPv6アドレスが表示されます。最大7個のIPv6アドレスを保持することができます。

注意

本機がMフラグに「0」が設定されているRA（Router Advertisement）をルーターから受信した場合は、DHCPv6機能は動作しません。ルーターの設定でRAのMフラグの設定を「1」に変更した場合は、DHCPv6機能を動作させるために操作パネルの「電源」ボタンを使って本機の電源を入れ直してください。

4 設定内容を確認し、[OK] を押します。



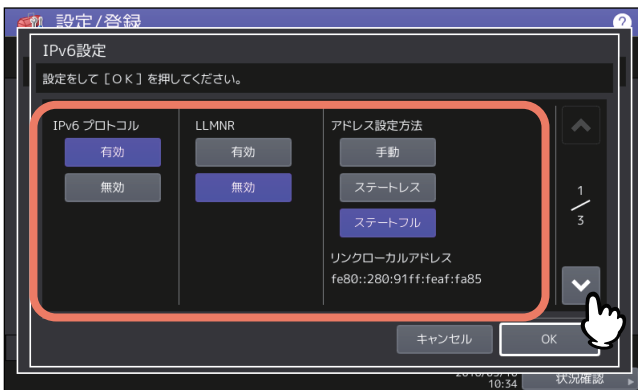
ネットワーク設定メニューに戻ります。

補足

DHCPv6サーバーから取得したIPv6アドレスが表示されます。

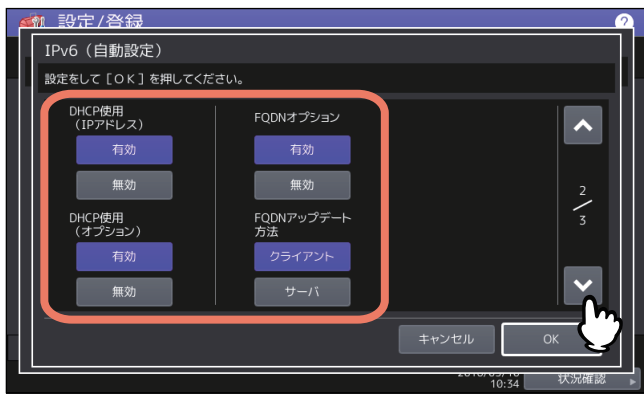
自動でIPv6の設定を行う（ステータフルのネットワーク環境）

1 IPv6設定画面で、下記項目を設定し、 を押します。



項目名	機能説明
IPv6プロトコル	<ul style="list-style-type: none">• 有効：IPv6プロトコルを使用します。• 無効：IPv6プロトコルを使用しません。
LLMNR	<ul style="list-style-type: none">• 有効：LLMNR（Linklocal Multicast Name Resolution）プロトコルを使用します。• 無効：LLMNRプロトコルを使用しません。
アドレス設定方法	IPv6アドレスの設定方法に「ステータフル」を選択します。
リンクローカルアドレス	IPv6で使用する固有なIPアドレスが表示されます。

2 下記項目を設定し、 を押します。

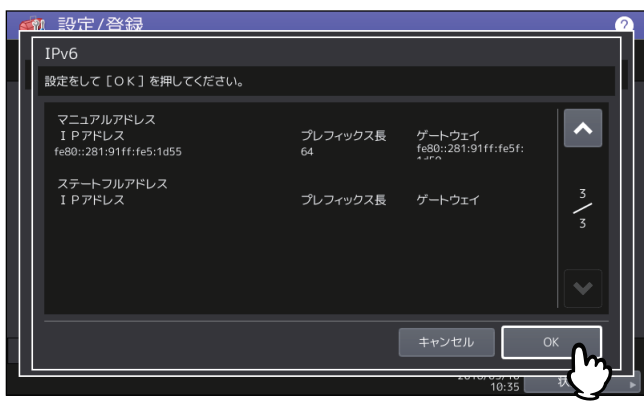


項目名	機能説明
DHCP使用 (IPアドレス)	<ul style="list-style-type: none"> 有効: DHCPv6サーバーから通知されるIPv6アドレスを使用します。 無効: DHCPv6サーバーから通知されるIPv6アドレスを使用しません。
DHCP使用 (オプション)	<ul style="list-style-type: none"> 有効: DHCPv6サーバーから通知されるIPv6アドレス以外のオプション情報 (DNSサーバーなどのIPv6アドレス) を使用します。 無効: DHCPv6サーバーから通知されるIPv6アドレス以外のオプション情報を使用しません。
FQDNオプション	<ul style="list-style-type: none"> 有効: DNSを使用してFQDN (Fully Qualified Domain Name: 完全修飾ドメイン名) を設定します。 無効: DNSを使用してFQDNを設定しません。
FQDNアップデート方法	<ul style="list-style-type: none"> クライアント: 本機からDNSを更新します。 サーバ: DHCPv6サーバーからDNSを更新します。

注意

DHCP使用 (IPアドレス) とDHCP使用 (オプション) の両方を無効にすることはできません。

3 設定内容を確認し、[OK] を押します。



ネットワーク設定メニューに戻ります。

補足

DHCPv6サーバーから取得したIPv6アドレスが表示されます。

■ IPX/SPXプロトコルを設定する

IPX/SPXプロトコルを設定します。IPX/SPXプロトコルは、通常NetWareのファイルサーバーと通信を行う場合に設定します。

項目名	機能説明
IPX/SPX使用	<ul style="list-style-type: none">• 有効：IPX/SPXプロトコルを使用します。• 無効：IPX/SPXプロトコルを使用しません。
フレームタイプ	[自動] を押して、自動的に適切なフレームタイプを検出するか、特定のフレームタイプボタンを押します。使用するフレームタイプが分からない場合は、[自動] を選択します。

■ NetWareを設定する

接続するNetWare構成を設定します。

注意

Novell印刷用のNetWareファイルサーバーを使用する場合は、必ず設定してください。

項目名	機能説明
Netware使用	<ul style="list-style-type: none">• 有効：NetWareプロトコルを使用します。• 無効：NetWareプロトコルを使用しません。
バインダリサーバー	<ul style="list-style-type: none">• 有効：NetWareファイルサーバーとバインダリモードの通信を可能にします。• 無効：NetWareファイルサーバーとバインダリモードの通信を使用しません。
NDS使用	<ul style="list-style-type: none">• 有効：NetWareファイルサーバーとNDSモードの通信を可能にします。• 無効：NetWareファイルサーバーとNDSモードの通信を使用しません。
サービスコンテキスト	NetWareプリントサーバーがあるNDSコンテキストを入力します。NDSモードでNetWareファイルサーバーに接続する場合は、必ず設定してください。
サービスツリー	NDSツリーを入力します。NDSモードでNetWareファイルサーバーに接続する場合は、必ず設定してください。
優先サーバ	NetWareファイルサーバー名を入力します。バインダリモードでNetWareファイルサーバーに接続する場合は、設定することをお勧めします。

補足

バインダリモードとNDSモードは同時に有効にすることができます。

■ SMBプロトコルを設定する

SMBネットワークの各プロパティを設定し、Microsoft Windowsネットワークによる本機へのアクセスや、SMB印刷を有効にします。SMBを有効にすると、SMB印刷が利用可能になるほか、本機の共有フォルダを参照できるようになります。また、異なるサブネット間のファイル共有やプリンタ共有をWINSサーバーを使って解決している場合は、WINSサーバーアドレスを指定します。

項目名	機能説明
SMBプロトコル	<ul style="list-style-type: none"> • 有効：SMBを使用します。 • 無効：SMBを使用しません。 [有効] を選択した場合は、[制限] で制限する機能を選択してください。
制限	プリンタ/ファイル共有を制限するかを設定します。下記項目のいずれか1つを選択できます。 <ul style="list-style-type: none"> • 無効：プリンタ/ファイル共有を制限しません。SMB印刷と本機の共有フォルダの参照が有効になります。 • プリント共有：SMB印刷を無効にします。 • ファイル共有：本機の共有フォルダの参照を無効にします。
NetBIOS名	Windowsネットワーク上で表示される本機の名称を入力します。工場出荷時には、「MFP<NICシリアル番号>」がNetBIOS名として設定されています。
ログオン	本機が参加しているWindowsネットワーク環境を表示します。本機がワークグループネットワークに参加している場合は、「workgroup」を表示し、Windowsドメインネットワーク（NTドメイン、またはActive Directoryドメイン）に参加している場合は、「domain」を表示します。「workgroup」または「domain」の設定はTopAccessからのみ変更できます。変更方法の詳細は、 TopAccessガイド 第8章「[管理者] タブ」 を参照してください。
WINSプライマリ	このボタンを押して、テンキーからプライマリWINSサーバーのIPアドレスを入力します。WINSサーバーを使用して本機のNetBIOS名およびワークグループ名を解決する必要がある場合に、プライマリWINSサーバーのIPアドレスを指定してください。異なるサブネットからNetBIOS経由でアクセスしたい場合に設定します。 入力欄の移動は矢印ボタンを使います。
WINSセカンダリ	このボタンを押して、テンキーからセカンダリWINSサーバーのIPアドレスを入力します。WINSサーバーを使用して本機のNetBIOS名およびワークグループ名を解決する必要がある場合に、必要に応じてセカンダリWINSサーバーのIPアドレスを指定してください。プライマリWINSサーバーが使用できない場合に、セカンダリWINSサーバーが使用されます。 入力欄の移動は矢印ボタンを使います。

注意

- 「SMBプロトコル」で「無効」、または「制限」で「ファイル共有」を選択した場合は、本機共有フォルダへの保管機能は無効になります。
- TopAccess（管理者モード）のSMBの設定で、「domain」を選択し、本機のSMBの設定の「ログオン」が「workgroup」の場合は、Windowsドメインネットワークへの参加が失敗しています。この場合は、Windows Serverの設定、およびTopAccessのSMBの設定が間違っていないかを確認してください。
- TopAccess（管理者モード）のSMBの設定で、「domain」を選択し、本機の電源投入後、または本機のネットワーク設定を変更し、「更新」を押した場合に、Windowsドメインネットワークへの参加を行います。
- 「NetBIOS名」には、半角英数字および「-」（ハイフン）以外の文字は使用しないでください。
- 「WINSプライマリ」および「WINSセカンダリ」には、0で始まるIPアドレス（例：0.10.10.10）、127で始まるIPアドレス（例：127.10.10.10）および224で始まるIPアドレス（例：224.10.10.10）は入力しないでください。入力した場合、WINSサーバーを参照することはできなくなります。
- 「WINSプライマリ」「WINSセカンダリ」に「0.0.0.0」を入力した場合は、WINSサーバーを使用しません。
- TCP/IPの「アドレス設定方法」で「自動」または「自動IPなし」が設定されている場合、「WINSプライマリ」および「WINSセカンダリ」の設定をDHCPサーバーから取得することができます。

■ AppleTalkプロトコルを設定する

MacコンピュータからAppleTalk印刷を利用する場合には、AppleTalkプロトコルを有効にして、適切な設定を行ってください。

項目名	機能説明
APPLETALK使用	<ul style="list-style-type: none">• 有効：AppleTalkを使用します。• 無効：AppleTalkを使用しません。
デバイス名	本機のデバイス名を入力します。
ゾーン名	AppleTalkゾーン名を入力します。ゾーン名がないネットワークに設定する場合は、デフォルトゾーン「*」を入力します。

■ HTTPネットワークサービスを設定する

TopAccessやファイリングボックスなどWebベースのユーティリティを利用する場合には、HTTPネットワークサーバーサービスを有効にします。

項目名	機能説明
HTTPサーバー使用	<ul style="list-style-type: none">• 有効：HTTPネットワークサーバーサービスを使用します。• 無効：HTTPネットワークサーバーサービスを使用しません。 WebユーティリティのTopAccess、ファイリングボックスを使用する場合は、有効にしてください。
SSL使用	SSL（Secure Sockets Layer）を使用するかを選択します。 <ul style="list-style-type: none">• 有効：TopAccessやファイリングボックス Webユーティリティの操作により通信されるデータは暗号化されます。• 無効：暗号化されません。
プライマリポート番号	HTTPアクセスするとき使用するポート番号を入力します。通常「80」を使用します。
セカンダリポート番号	WebユーティリティのTopAccessとファイリングボックスにアクセスするときのポート番号を入力します。通常「8080」を使用します。

■ Ethernet速度を設定する

Ethernetの速度を設定します。

項目名	機能説明
ETHERNET 通信速度／通信方式設定	通信速度および通信方式の組み合わせを選択します。

注意

- 選択肢はお使いの機種によって異なります。
- 現在本機に適用されている通信速度は、ボタン上部に表示されています。リンクが検知できなかった場合には、「リンクを検出できませんでした」と表示されます。
- 設定を行ってもネットワークの接続が不安定な場合は、一度電源をオフ／オンしてください。

■ LDAP、フィルタリング機能、リンクダウン検出を設定する

LDAPディレクトリサービスを有効にすると、Eメール送信やインターネットファクス送信、ファクス送信時にLDAPサーバーから相手先を検索することができます。また、TopAccessでテンプレートを作成する際や、アドレス帳登録を行う際に、LDAPサーバーから相手先を検索することもできます。

また、このメニューでは、IPフィルタリング機能、MACアドレスフィルタリング機能およびLANケーブルのリンクダウン検出機能を使用するかを選択することができます。

項目名	機能説明
LDAP使用	<ul style="list-style-type: none">• 有効：LDAPネットワークサーバーサービスを使用します。• 無効：LDAPネットワークサーバーサービスを使用しません。
IPフィルタリング	<ul style="list-style-type: none">• 有効：IPフィルタリング機能を使用します。• 無効：IPフィルタリング機能を使用しません。
MACアドレスフィルタリング	<ul style="list-style-type: none">• 有効：MACアドレスフィルタリング機能を使用します。• 無効：MACアドレスフィルタリング機能を使用しません。
LANケーブルのリンクダウン検出	<ul style="list-style-type: none">• 有効：LANケーブルのリンクダウン検出機能を使用します。• 無効：LANケーブルのリンクダウン検出機能を使用しません。

補足

LDAPディレクトリサービスの追加は、TopAccessを使用して操作します。ディレクトリサービスの登録の詳細については、**TopAccessガイド 第8章**「**[管理者] タブ**」を参照してください。

注意

- LDAPディレクトリサービスが無効になっていると、Eメール送信時のユーザ認証時に送信者アドレスをLDAPサーバーから取得できなくなります。
- 本機をネットワークに接続しないで使用する場合は、LANケーブルのリンクダウン検出機能を無効にしてください。

■ IPセキュリティを設定する

IPsecオプションが導入されている場合、IPsec（IP Security Protocol）による暗号化通信が可能となります。IPセキュリティの設定では、以下の操作を行えます。

- 現在適用されているポリシー名の確認
- IPsec通信の有効／無効の切り替え
- IPsecセッションのフラッシュ（リセット）

項目名	機能説明
ポリシー名	現在適用されているポリシー名が表示されます。
有効	IPsec通信を使用します。
無効	IPsec通信を使用しません。
セッション消去	IPsec通信に使用するキーの漏えいや、セキュリティの侵害が発生した場合に、このボタンを使用して、現在のセッションを手動で消去し、新しいセッションを開始させることができます。
初期設定	IPsecの設定を工場出荷時の状態に戻します。このボタンを押すと、操作の実行を確認するメッセージが表示されます。

補 足

IPsecに必要なポリシーの登録などは、TopAccessから行います。詳細は、**TopAccessガイド 第8章「[管理者] タブ」**を参照してください。

注 意

[IPsec] は、IPsecオプションが導入されている場合のみ使用できます。

■ ネットワーク状態を確認する

ネットワーク状態確認では、Ping機能とTraceroute機能を使用できます。

項目名	機能説明
サーバー	目的のサーバーを選択します。
PING	このボタンを押すと、本機からネットワーク上の各種サーバーへの接続状態を確認することができます。
TRACEROUTE	このボタンを押すと、目的のサーバーまでのネットワーク経路を表示できます。

補足

目的のサーバーを選択する方法は、2つあります。

設定されている各種サーバーを表示一覧から選択する場合：

表示できるサーバーおよび対応プロトコルは、以下のとおりです。

- プライマリDNSサーバー (IPv4/IPv6)
- セカンダリDNSサーバー (IPv4/IPv6)
- プライマリWINSサーバー (IPv4)
- セカンダリWINSサーバー (IPv4)
- SMTPサーバー (IPv4/IPv6)
- POP3サーバー (IPv4/IPv6)
- プライマリSNTPサーバー (IPv4/IPv6)
- セカンダリSNTPサーバー (IPv4/IPv6)
- LDAPサーバー 1
- LDAPサーバー 2
- LDAPサーバー 3
- LDAPサーバー 4
- LDAPサーバー 5
- リモートサーバー 1
- リモートサーバー 2

手動で目的のサーバーを指定する場合：

サーバー名または、IPv4アドレス、IPv6アドレスを手入力します。

注意

- TopAccessの「共有フォルダに保管」でリモートサーバー 1／リモートサーバー 2のネットワークパスにWINS名を入力した場合は、表示一覧からそれらのサーバーを選択してネットワーク状態確認操作を実行することはできません。この場合には、リモートサーバー 1／リモートサーバー 2のIPアドレスを手動で入力し、実行してください。
- サーバーに到達可能なときは、実行結果のサーバーはIPアドレスで表示されますが、何らかの理由でサーバーに到達できない場合は、実行結果はホスト名で表示されます。

コピー設定

最大コピー部数、自動両面モード、優先ソートモードなどのコピー操作に関する初期設定を変更します。

補足

コピー設定画面を表示する手順は、以下のページを参照してください。

📖 P.35 「管理者設定メニューに入る」

コピー設定画面 (1/4)

項目名	機能説明
最大コピー部数	許可する最大コピー部数 [9999] *、[999]、[99]、[9] のボタンを押します。
自動両面	自動原稿送り装置に原稿をセットしたときに初期値として適用される両面コピー設定を選択します。(この設定は、自動両面ユニットが装着されている場合のみ使用できます。) <ul style="list-style-type: none">• 不可：両面コピー設定を [片面→片面] に設定します。• 片面→両面：両面コピー設定を [片面→両面] に設定します。• 両面→両面：両面コピー設定を [両面→両面] に設定します。• ユーザ：自動原稿送り装置に原稿をセットしたときに、両面コピー設定の選択画面が自動的に表示されます。
ソートモード	初期設定のソートモードを設定します。ホチキスを選択時は左上へのホチキス留めが初期値になります。ホチキスにはフィニッシャが必要です。

*お使いの機種によっては選択できません。

コピー設定画面 (2/4)

項目名	機能説明
オートカセットチェンジ	コピー操作を行う際に給紙元のカセットを手動で指定した場合にも、オートカセットチェンジ機能を有効にするか設定します。 [ON] を選択すると、コピー中に用紙がなくなった場合に、別のカセットからサイズが同一の用紙を給紙します。 注意 「特定用途」を「無し」以外に設定したカセットの用紙は、オートカセットチェンジの対象になりません。 カセットの「特定用途」を確認または設定するときは、以下のページを参照してください。 📖 P.21 「カセット」
異方向用紙の許可*	[ON] を選択すると、コピー中に用紙がなくなった場合に、別のカセットから向きの異なる同一サイズの用紙を給紙します。 注意 封筒または非定形サイズの用紙の場合、本機能は使用できません。
ホチキス針無し時の印刷中断	サドルステッチ以外のホチキス処理を行っている際にホチキス針切れを起こした場合、印刷を中断するかを選択します。 <ul style="list-style-type: none">• ON：印刷を中断します。• OFF：ホチキス留めせずに印刷を続行します。 注意 サドルステッチの場合、ホチキス針切れを起こすと印刷は中断されます。
自動カラー選択の初期値	カラー機の設定項目です。自動カラー選択コピー時の初期値モードを設定します。

*コピー中に用紙がなくなった場合の給紙動作は、以下のオートカセットチェンジの給紙動作を参照してください。

コピー設定画面 (3/4)

項目名	機能説明
排紙トレイ自動切替 (カスケード印刷)	<ul style="list-style-type: none"> • ON : 排紙トレイがいっぱいになった場合に排紙トレイを自動的に切り替えて印刷を継続します。 • OFF : 排紙トレイがいっぱいになった場合に印刷を中断します。
ジョブ強制続行 (パンチ屑フル)	<ul style="list-style-type: none"> • ON : ホールパンチユニットのパンチ屑がフルになった場合でもホールパンチ処理を行わずに印刷を継続します。 • OFF : ホールパンチユニットのパンチ屑がフルになった場合、印刷を中断します。
原稿外消去	<ul style="list-style-type: none"> • ON : 原稿外消去機能を使用します。 • OFF : 原稿外消去機能を使用しません。

コピー設定画面 (4/4)

項目名	機能説明
センタリングコピー	センタリングコピー機能の初期設定を選択します。

オートカセットチェンジの給紙動作

以下はA4サイズの内紙にコピー中にオートカセットチェンジする場合の給紙動作です。

設定項目		給紙動作	
オートカセットチェンジ	異方向用紙の許可	[自動用紙選択] 指定時	給紙元カセット指定時
ON	ON	A4およびA4-Rの内紙を給紙	A4およびA4-Rの内紙を給紙
ON	OFF	A4の内紙を給紙	A4の内紙を給紙
OFF	ON	—	—
OFF	OFF	—	—

ファクス設定

FAXユニットや回線増設ユニットが装着されていない場合は、[記録モード]の「切り捨て印刷」および「縮小印刷」の設定のみ行えます。

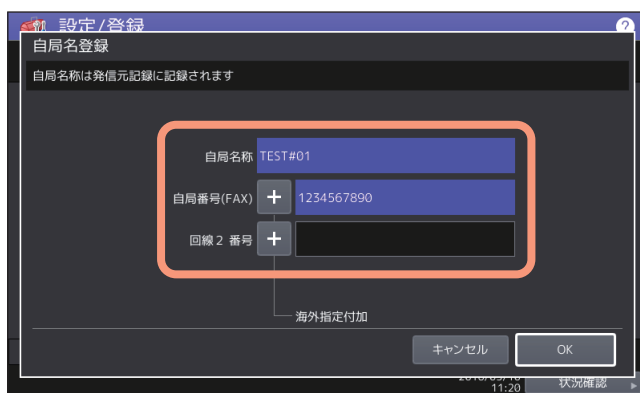
📖 P.84 「自局名を登録する」

補足

- FAXユニットが装着されていない場合には、このメニューで設定する項目は、インターネットファクスによる原稿受信に適用されます。
- お使いの機種によっては、[ファクス設定]はスキャナキットまたはプリンタ/スキャナキットが装着されている場合にのみ有効です。
- ファクス設定画面を表示する手順は、以下のページを参照してください。
📖 P.35 「管理者設定メニューに入る」

■ 自局名を登録する

本機の自局名を登録します。自局名を登録しておくことで、送信原稿には発信元情報を付加して送信し、受信原稿には受信元情報を付加して印刷することができます。

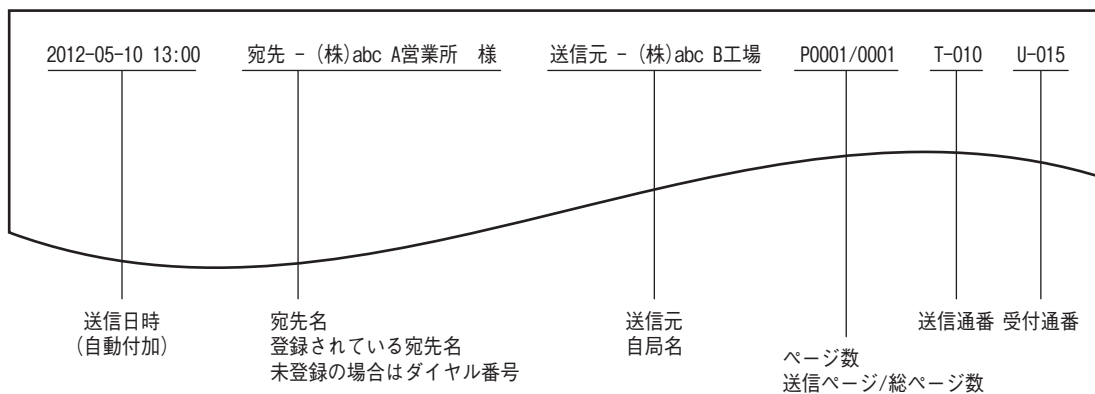


補足

- [自局名称]は、全角/半角ともに20文字まで入力することができます。登録した自局名称の表示または印刷には、以下の文字数制限があります。
 - 発信元情報の送信元自局名の部分に印刷される文字数は、全角10文字/半角20文字です。上記以外は、登録した自局名称のとおり表示または印刷されます。
- 海外指定を設定する場合は、[+]を押してください。また、番号入力時にポーズ“ー”を用いる場合は、[ポーズ]を押してください。
- [回線2番号]は、回線増設ユニット装着時にのみ表示されます。
- [自局番号 (TEL)]は、日本電信電話株式会社 (NTT) とモデムダイヤルインサービス契約をしているときにのみ表示されます。
📖 P.85 「初期設定をする」

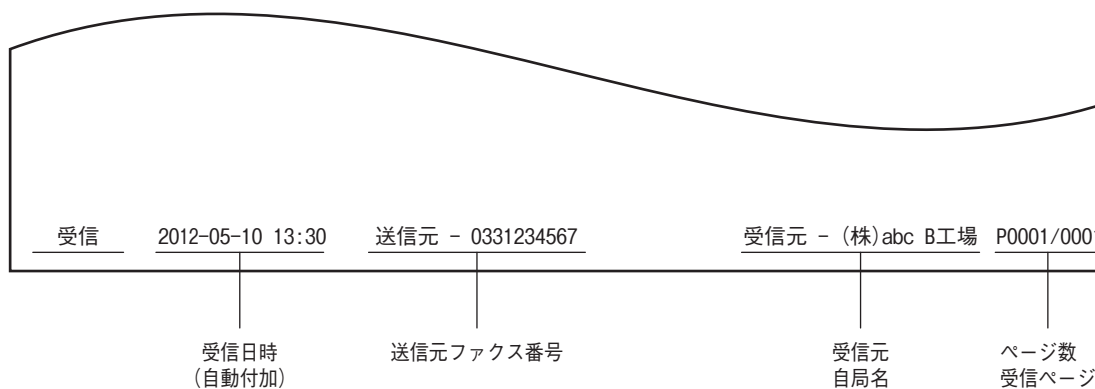
発信元情報の記録例

発信元情報は、原稿の上端から5 mmの位置に上書き印刷されるように送信します。



受信元情報の記録例

受信元情報は、原稿の下端から5 mmの位置に上書き印刷します。



■ 初期設定をする

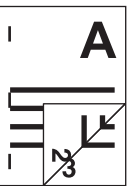

ファクス機能の初期設定を行います。

項目名	機能説明
受信方法	<p>ファクスの受信方法です。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 自動：着信すると自動的にファクス受信します。 ・ 手動：着信したときに手動でファクス受信します。 ・ TEL/FAX：着信すると通話なのかファクスなのかを自動的に判別して切り替えます。 <p>補 足</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 「手動」または「TEL/FAX」により受信する場合は、ハンドセットまたは外付け電話機を装着することが必要です。 ・ 回線増設ユニットを装着している場合、回線2の受信方法は自動受信限定です。
リモート受信	<p>リモート受信（外付け電話機を使用した受信）の方式です。この機能は、受信方法に「手動」または「TEL/FAX」が選択されている場合に設定することができます。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ OFF：リモート受信を無効にします。 ・ ダイヤル：受信時にダイヤル操作が必要な方式です。 ・ 簡易：受信時にダイヤル操作が不要な方式です。

項目名	機能説明
リンガ音量 モニタ音量 終了音量	リンガ音（呼び出し音）、モニタ音（オンフック時の回線音）、終了音（受信完了の告知音）の音量です。各音ともに、0～7段階（0：無音）で設定することができます。
受信終了音	ファクス受信終了時にアラームを鳴らして通知する機能の設定です。 <ul style="list-style-type: none"> • 印刷終了時：印刷終了時にアラームを鳴らします。 • 受信終了時：受信終了時にアラームを鳴らします。 • OFF：受信終了音を無効にします。
送信終了音	ファクス送信終了時にアラームを鳴らして通知する機能の設定です。 <ul style="list-style-type: none"> • 正常時：正常終了時にアラームを鳴らします。 • エラー時：送信エラー時にアラームを鳴らします。 • 常時：正常終了時、送信エラー時の両方でアラームを鳴らします。 • OFF：送信終了音を無効にします。
回線モニタ	送信時に相手機と接続されたかどうかをアラームを鳴らして通知する機能の設定です。 <ul style="list-style-type: none"> • ON：相手機と接続されたときにアラームを鳴らします。 • OFF：回線モニタを無効にします。
ダイヤルタイプ ダイヤルタイプ（回線2）	回線の種別です。本機設置時や回線変更時に、使用する回線に応じて設定してください。 <ul style="list-style-type: none"> • 10pps：ダイヤルスピードが10ppsのパルス回線です。 • 20pps：ダイヤルスピードが20ppsのパルス回線です。 • PB：トーン回線です。 <p>補 足</p> <ul style="list-style-type: none"> • 回線種別はダイヤル時に判別することができます。ダイヤルしたときに、「ピッポッパツ」と鳴るのがトーン回線（プッシュ回線）、「カタカタカタ」と鳴るのがパルス回線（ダイヤル回線）です。ただし、正確な情報に関しては、回線業者との契約内容を確認してください。 • パルス回線の20ppsは、10ppsよりもダイヤルスピードが速くて便利ですが、使用できない地域があります。20ppsが使用できない場合は、10ppsへ切り替えてください。 • 「ダイヤルタイプ（回線2）」は、回線増設ユニットを装着している場合に設定してください。
ダイヤルイン	ダイヤルイン機能のオン/オフを切り替えます。この機能を使用するためには、日本電信電話株式会社（NTT）とモデムダイヤルインサービスの契約をすることが必要です。なお、PBダイヤルインサービスには対応していません。 <p>注 意</p> <p>ダイヤルイン機能をオンにすると、節電モード機能でスリープモードを有効に設定していても、実際に移行するのはスリープモードになります。</p>
ナンバーディスプレイ回線	日本電信電話株式会社（NTT）とナンバーディスプレイサービスの契約をしている回線に接続する場合、ONに設定してください。ナンバーディスプレイサービスの契約をしていない回線を使用する場合は、OFFに設定してください。 <p>注 意</p> <p>ナンバーディスプレイ回線機能をオンにすると、節電モード機能でスリープモードを有効に設定していても、実際に移行するのはスリープモードになります。</p>

■ 記録モードを設定する

受信したファクスの印刷に関する設定を行います。

項目名	機能説明
切り捨て印刷	切り捨て印刷のオン/オフを切り替えます。オンに設定すると、原稿の長さが記録紙の印字範囲より長い(10 mm以内)場合に、その部分を切り捨てて印刷します。
両面印刷	<p>両面印刷のオン/オフを切り替えます。オンに設定すると、受信した原稿を両面で印刷します。</p> <p>補足</p> <ul style="list-style-type: none"> 両面印刷が可能なのは、受信原稿のサイズおよび解像度が各ページで同一の場合に限ります。 両面印刷中に記録紙切れが発生した場合は、他サイズの用紙に両面印刷されません。 受信原稿の長さが記録紙の印字範囲を超えて分割印刷となる場合は、両面印刷することはできません。 列信化により送信されてきた原稿は、ひとくくりに連続して両面印刷されません。総原稿枚数が奇数枚の場合は、原稿の区切りに注意してください。 両面印刷をオンにしても、受信転送機能により印刷される原稿は、片面印刷が適用されます。 受信原稿のサイズにより、両面印刷の方向が下図のように異なります。 A3、A4、B4サイズの受信原稿は、長手方向をとじしろにして印刷します。(下図1) A5、B5サイズの受信原稿は、短手方向をとじしろにして印刷します。(下図2) <div style="display: flex; justify-content: space-around; align-items: center;"> <div style="text-align: center;"> <p>1</p>  </div> <div style="text-align: center;"> <p>2</p>  </div> </div>
縮小印刷	縮小印刷のオン/オフを切り替えます。オンに設定すると、原稿の長さが記録紙の印字範囲より長い(10 mm超)場合に、原稿を90%縮小して印刷します。
縦横交互排紙	<p>縦横交互排紙のオン/オフを切り替えます。オンに設定すると、受信した原稿をジョブごとに縦横交互で排紙します。</p> <p>補足</p> <ul style="list-style-type: none"> 縦横交互排紙が可能なのは、受信原稿のサイズがA4の場合に限ります。このため、A4/A4-Rサイズの記録紙をカセットへセットしておくことが必要です。 縦横交互排紙中に記録紙切れが発生した場合は、A4/A4-Rサイズのいずれかで残っている記録紙に印刷します。また、いずれの記録紙も残っていないときには、A4/A4-Rよりも大きなサイズの記録紙に印刷します。 縦横交互排紙をオンにすると、特定用途を「FAX」に設定することはできません。

補足

記録モードの設定状況は、システム設定リストにて確認することができます。リスト印刷操作の詳細は、以下のページを参照してください。

📄 P.106 「リストを印刷する」

■ 復活送信を設定する

復活送信機能のオン/オフと原稿データのメモリ保持時間を設定します。

[▲24時間] または [▼1時間] を押して原稿データのメモリ保持時間を設定した後、[OK] を押します。

注意

メニュー画面に戻った後、[復活送信] にオレンジ色の線が表示されていることを確認してください。この状態は、復活送信機能がオンであることを示しており、それを再度押すと、オレンジ色の線が消えて復活送信機能がオフになります。

■ 回線増設ユニットを設定する

回線増設ユニットを装着して2回線同時使用するための設定を行います。

なお、ここで説明している設定以外にも、以下の設定を行うことが必要です。

- 自局名の登録
☞ P.84 「自局名を登録する」
- ダイヤルタイプの設定
☞ P.85 「初期設定をする」

項目名	機能説明
送/受信	回線2を送受信兼用にします。
受信専用	回線2を受信専用にします。
時刻指定	指定した時刻の間、受信専用として使用します。これを選択した場合は、時刻(24時間表記)を入力してください。

補足

回線2の受信方法は自動受信限定です。

■ 機密受信を設定する

機密受信とは、受信したファクスを出力せずに、機体内に保管する機能です。

機密受信を使うことで、夜間や休日などの人がいない時間帯や、不特定多数の人が立ち入る時間帯などに、受信したファクスから情報が漏れいするのを防止できます。

機密受信は、手動で有効または無効にできるほか、曜日ごとに自動で有効/無効の時刻を設定することができます。

項目名	機能説明
機密受信	<ul style="list-style-type: none">• 有効：機密受信を有効にします。• 無効：機密受信を無効にします。• 週間予定：機密受信を自動的に有効または無効にする時刻を、曜日ごとに設定できます。<ul style="list-style-type: none">- 時刻は24時間表示です。- 終日有効にする場合は、[無効]を00:00、[有効]を00:00と設定します。- 終日無効にする場合は、[無効]を00:00、[有効]を24:00と設定します。
印刷用パスワード	回線ごとにパスワードを設定できます。 ☞ P.89 「印刷用パスワードを設定する」

注意

- 本機がハイセキュリティモードで運用されている場合、機密受信機能は使用できません。
- スーパースリープモード移行時は、データランプは点灯しません。

補足

[ユーザー] タブの [ファクス設定] では、週間予定で設定されている時刻よりも前に、機密受信を有効または無効にすることができます。

□ 印刷用パスワードを設定する

機密受信したファクスを印刷するためのパスワードを設定します。

1 [回線1] または [回線2] を選択します。

- 印刷用パスワードは、回線ごとに設定できます。

2 [新しいパスワード] と [新しいパスワードの確認] にパスワードを入力して、[OK] を押します。

- パスワードは、20文字まで入力できます。
入力できる文字は英数字および以下のシンボル文字です。
! # \$ () * + , - . / : ; = ? @ \ ^ _ ` { | } ~

3 [OK] を押します。

ファイル設定

本機の共有フォルダに保存されたファイルを何日保持するかを設定します。本機の内蔵ストレージの空き容量を確保するため、定期的に保存ファイルを削除したい場合に設定します。

補足

メンテナンス画面を表示する手順は、以下のページを参照してください。

📖 P.35 「管理者設定メニューに入る」

項目名	機能説明
ON	自動削除を有効にします。
OFF	自動削除を無効にします。
保存日数	保存したファイルを自動的に削除するまでの日数をテンキーから入力します。 1から99日まで入力することができます。

補足

[OFF] を選択した場合は、そのまま [OK] を押し、ファイル設定を終了してください。

Eメール設定

このメニューでは、以下の項目を設定します。

補足

お使いの機種によっては、[Eメール設定] はスキャナキットまたはプリンタ/スキャナキットが装着されている場合にのみ有効です。

• Eメールメッセージのプロパティ

Eメール送信操作によって送信されるEメールメッセージの詳細を設定します。
以下の設定を行うことができます。

- 送信者アドレス
- 送信者名
- 件名
- 本文

• Eメールの分割送信サイズ


指定した分割サイズでEメール送信ジョブを分割して送信できます。ネットワークの通信量による通信エラーを少なくすることができます。










• Eメールの本文送信

Eメールを送信する際に、メッセージ本文を送信するかどうかを設定します。

補足

Eメール設定画面を表示する手順は、以下のページを参照してください。

 P.35 「管理者設定メニューに入る」

項目名	機能説明
送信者アドレス	本機のEメールアドレスを入力します。
送信者名	本機の名称を入力します。
件名	Eメール送信時に初期値として適用する件名を設定します。このボタンを押すと、件名画面が表示されます。  P.92 「Eメールの件名を設定する」
 / 	 : Eメールの件名に日付や時刻を付加します。  : Eメールの件名に日付や時刻を付加しません。
 / 	 : Eメールの件名を編集可能にします。  : Eメールの件名を編集できなくします。
本文	Eメール送信時に初期値として適用する本文メッセージを入力します。
分割送信サイズ	プルダウンメニューを押して、目的の分割送信サイズを選択します。分割しない場合は、[分割無] を選択してください。
本文送信	<ul style="list-style-type: none">• 有効 : 本文を送信します。• 無効 : 本文を送信しません。

注意

Eメール送信を有効にするには「送信者アドレス」を必ず設定してください。

■ Eメールの件名を設定する

件名画面での操作

Eメールの件名を工場出荷時の設定にするか任意の件名を設定するか選択し、[OK] を押します。
[OK] を押すと、Eメール設定画面に戻ります。

項目名	機能説明
既定の件名	Eメールの件名を工場出荷時の設定にします。
件名のカスタマイズ	任意の件名を設定します。このボタンを押すと、文字入力画面が表示されます。件名を入力したら、[OK] を押して入力を確定してください。入力可能文字数は、半角/全角とも128文字です。数字の入力は、テンキーからも行えます。

インターネットファクス設定

このメニューでは、以下の項目を設定します。

補足

お使いの機種によっては、[インターネットファクス設定] はスキャナキットまたはプリンタ/スキャナキットが装着されている場合にのみ有効です。

• インターネットファクスのプロパティ

インターネットファクスによって送信されるメッセージの詳細を設定します。
以下の設定を行うことができます。

- 送信者アドレス
- 送信者名
- 本文

• インターネットファクスの分割ページサイズ

指定した分割ページサイズでインターネットファクスを分割して送信できます。ネットワークの通信量による通信エラーを少なくすることができます。

• インターネットファクスの本文送信

インターネットファクスを送信する際に、メッセージ本文を送信するかどうかを設定します。

補足

インターネットファクス設定画面を表示する手順は、以下のページを参照してください。

📖 P.35 「管理者設定メニューに入る」




項目名	機能説明
送信者アドレス	本機のEメールアドレスを入力します。
送信者名	本機の名称を入力します。
本文	本文メッセージを入力します。 注意 日本向け東芝複合機を使用する場合、インターネットファクスの送信および受信時に本文は印刷されません。
分割ページサイズ	プルダウンメニューを押して、目的の分割ページサイズを選択します。分割しない場合は、[分割無] を選択してください。
本文送信	<ul style="list-style-type: none">• 有効：本文を送信します。• 無効：本文を送信しません。

注意

インターネットファクス送信を有効にするには「送信者アドレス」を必ず設定してください。


セキュリティ設定

このメニューでは、以下の操作を行います。

-  P.94 「証明書を管理する」
-  P.98 「セキュアPDFの初期設定をする」
-  P.100 「インテグリティチェックを実行する」


補足


セキュリティ画面を表示する手順は、以下のページを参照してください。

 P.35 「管理者設定メニューに入る」

■ 証明書を管理する

デバイス証明書やCA証明書のインポートや、デバイス証明書のエクスポートを行います。

 P.94 「証明書をインポートする」

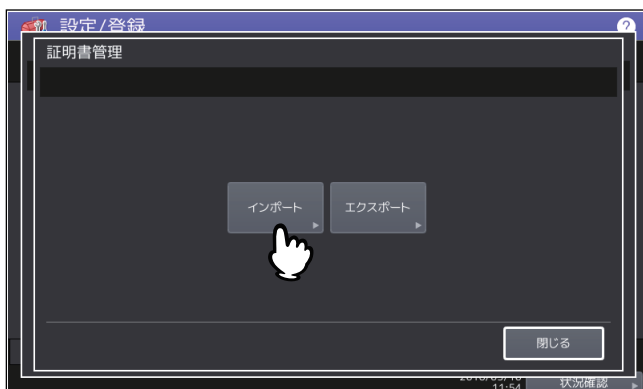
 P.97 「デバイス証明書をエクスポートする」

補足

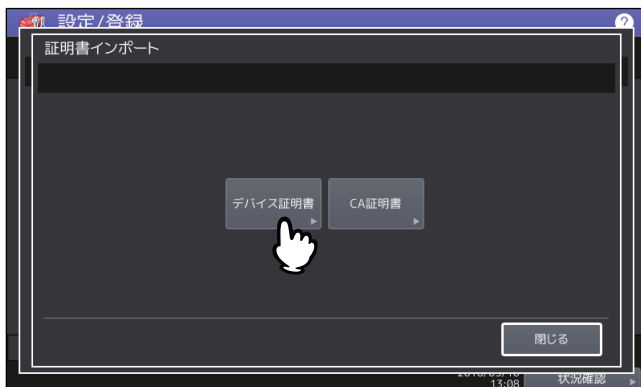
本機に証明書をインポートする場合は、インポートしたい証明書をあらかじめUSBメディアのルートに保存しておいてください。

□ 証明書をインポートする

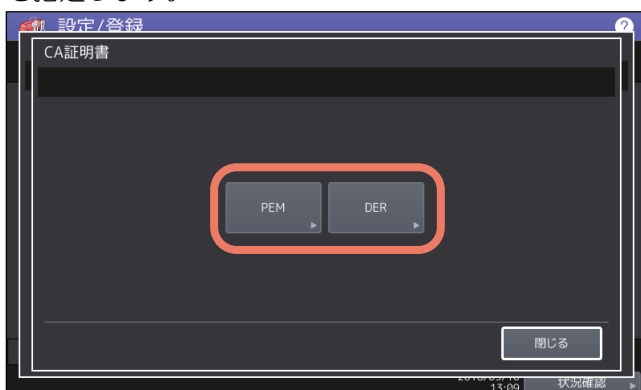
- 1 セキュリティ画面で、[証明書管理] を押します。
- 2 [インポート] を押します。



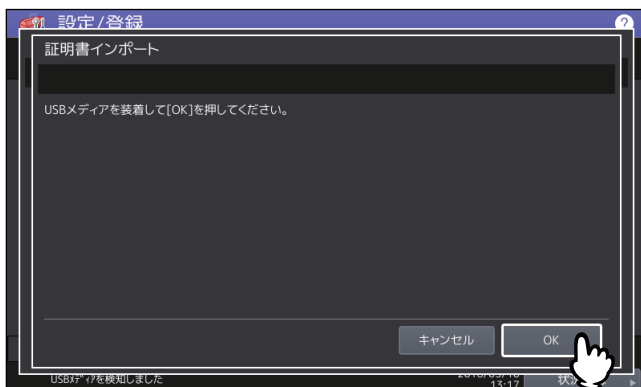
3 [デバイス証明書] または [CA証明書] を押します。



[CA証明書] を選択すると、CA証明画面が表示されます。[PEM] または [DER] からエンコード方式を指定します。



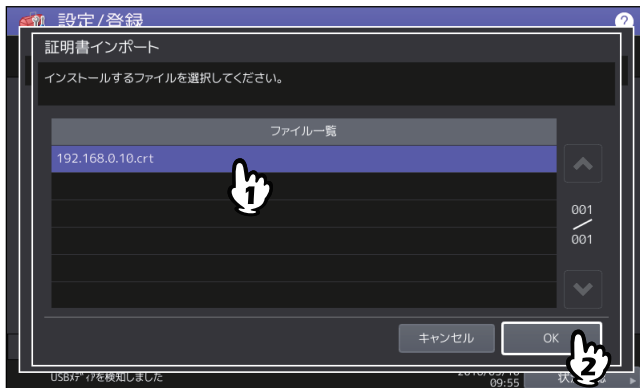
4 証明書を保存したUSBメディアを本機のUSBポートに接続し、[OK] を押します。



補足

USBポートの位置については、[かんたん操作ガイド 第1章「使用前の準備」](#)を参照してください。

5 インポートしたい証明書を選択し、[OK] を押します。



- 証明書が「.pfx」または「.p12」ファイルの場合は、パスワード入力画面が表示されます。次の手順に進んでください。
- 証明書が上記以外のファイルの場合は、インポートが開始されます。手順7に進んでください。

注意

データの転送が完了するまで絶対にUSBメディアを取り外さないでください。データの転送中にUSBメディアを取り外すと、USBメディアが破損する恐れがあります。

6 パスワードを入力し [OK] を押します。

7 インポートが終了したら、[OK] を押します。



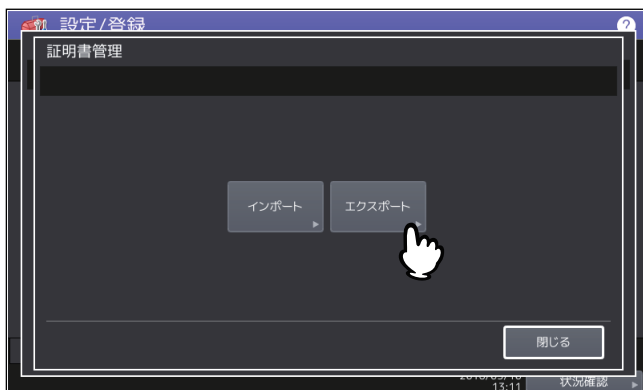
8 USBメディアを取り外します。

□ デバイス証明書をエクスポートする

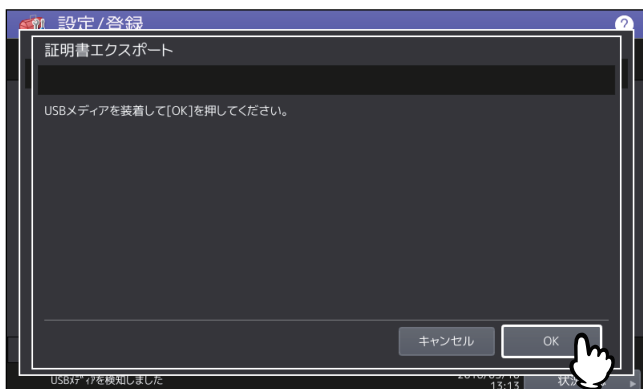
補足

エクスポートされるファイル形式は、PEM (「.certファイル」) です。

- 1 セキュリティ画面で、[証明書管理] を押します。
- 2 [エクスポート] を押します。



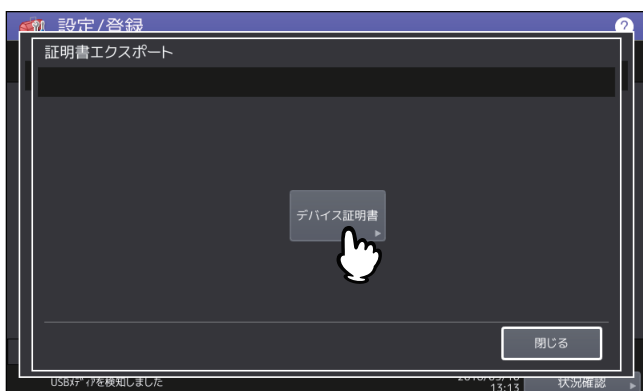
- 3 USBメディアを本機のUSBポートに接続し、[OK] を押します。



補足

USBポートの位置については、[かんたん操作ガイド 第1章「使用前の準備」](#)を参照してください。

- 4 [デバイス証明書] を押します。



注意

データの転送が完了するまで絶対にUSBメディアを取り外さないでください。データの転送中にUSBメディアを取り外すと、USBメディアが破損する恐れがあります。

5 エクスポートが終了したら、[OK] を押します。





6 USBメディアを取り外します。

■ セキュアPDFの初期設定をする

本機でスキャンしたデータを暗号化PDFとして生成する際に適用する、暗号化設定の初期値を設定します。また、暗号化PDF強制モードの有効/無効を切り替えます。

項目名	機能説明
ユーザパスワード	暗号化PDFを開くために必要なパスワードを入力します。工場出荷時の状態では、ユーザパスワードは設定されていません。
ユーザパスワードに認証コードを使用	<ul style="list-style-type: none">• 有効：ユーザ認証のユーザ名をユーザパスワードに使用します。• 無効：ユーザ認証のユーザ名を使用せず、ここで設定するユーザパスワードを使用します。
マスタパスワード	PDFの暗号化設定を変更するために必要なパスワードを入力します。工場出荷時の状態では、マスタパスワードは設定されていません。
暗号化レベル	生成するPDFの暗号化レベルを選択します。 <ul style="list-style-type: none">• 128bit AES：Acrobat 7.0、PDF V1.6に互換性のある暗号化レベルを設定します。• 128bit RC4：Acrobat 5.0、PDF V1.4に互換性のある暗号化レベルを設定します。• 40bit RC4：Acrobat 3.0、PDF V1.1に互換性のある暗号化レベルを設定します。
強制暗号化	<ul style="list-style-type: none">• 有効：本機でスキャンしたデータを出力する際に、強制的に暗号化PDFのみを許可します。• 無効：他のファイル形式（JPEGやTIFFなど）を許可します。
権限	暗号化PDFに対する権限を選択します。 <ul style="list-style-type: none">• 印刷：印刷を許可します。• 文書の変更：文書の変更を許可します。• 内容の抽出：内容のコピーと抽出を許可します。• アクセシビリティ：アクセシビリティを有効にします。

注意

- ユーザパスワードとマスタパスワードに同じパスワードを設定することはできません。
- ユーザパスワード、マスタパスワードともに1文字以上32文字以下で設定してください。入力したパスワードは伏せ字で表示されます。
- ユーザパスワードの表示欄横の鍵アイコンが反転表示され有効な場合 () は、ユーザはパスワードを変更することはできません。
- マスタパスワードの表示欄横の鍵アイコンが反転表示され有効な場合 () は、ユーザは暗号化レベルおよび権限を変更することはできません。
- 本機は、暗号化PDFのパスワードとしてASCII文字のみサポートしています。そのため、ユーザ名にASCII文字以外の文字を使用している場合、「ユーザパスワードに認証コードを使用」を有効に設定すると、不正なパスワードとなり、PDFを開けなくなります。
- [40bitRC4] を選択した状態で、[内容の抽出] または [アクセシビリティ] の一方を選択しても、両方の設定が有効になり、また一方を取り消しても両方が無効になります。
- 強制暗号化モードを有効に設定すると、暗号化PDF以外のファイル形式 (JPEGやTIFFなど) を本機から出力することは禁止されます。また、暗号化PDFを生成できない以下の共有フォルダに保管機能は、使用できなくなります。
 - コピー & ファイル
 - ファクス & ファイル
 - インターネットファクス & ファイル
 - ネットワークファクス & ファイル

補足

本セキュリティ設定は、共有フォルダ/USBに保管操作およびEメール送信操作に適用されます。

■ インテグリティチェックを実行する

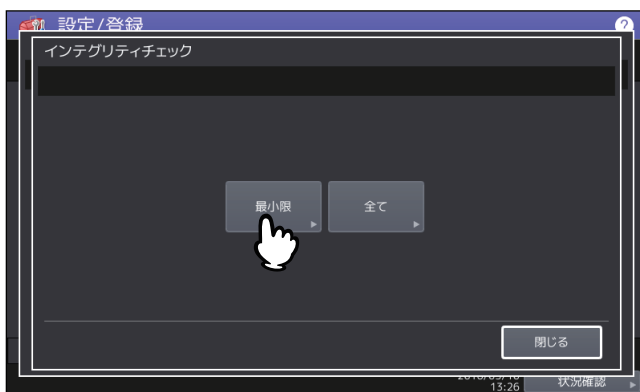
このメニューでは、以下のインテグリティチェックを行います。

- [最小限]
セキュリティ機能を実行する実行コード、およびセキュリティ実行コードが参照するデータをチェックします。
- [全て]
すべての実行コード、およびセキュリティ実行コードが参照するデータをチェックします。

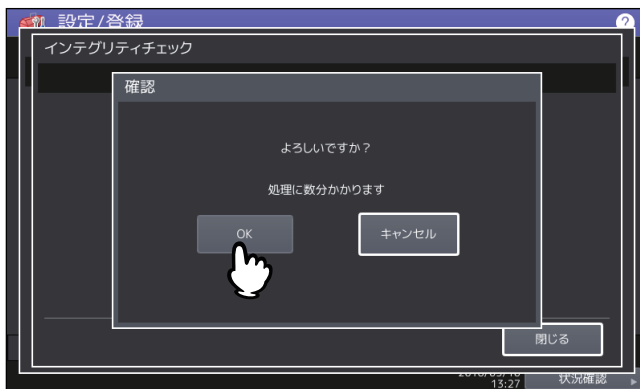
📖 P.100 「インテグリティチェックの実行」

□ インテグリティチェックの実行

- 1 セキュリティ画面で、[インテグリティチェック] を押します。
- 2 [最小限] または [全て] を押します。



- 3 [OK] を押します。



注意

- インテグリティチェックが完了するまでに時間がかかることがあります。
- 本機でジョブが処理されているときなどに [OK] を押すと、警告画面が表示されます。この場合は [閉じる] を押し、ジョブの処理が終了してから、再度実行してください。
- 定期的にインテグリティチェックを実施してください。データに改ざんなどのエラーが検出されると、サービスコール画面が表示されます。この場合は、弊社サービスエンジニアにご連絡ください。

4 [OK] を押して、本機を再起動します。



リスト印刷／レポート設定

このメニューでは、以下の操作を行います。

- P.102 「レポート出力を設定する」
- P.106 「リストを印刷する」

補足

リスト印刷／レポート設定メニューを表示する手順は、以下のページを参照してください。

P.35 「管理者設定メニューに入る」

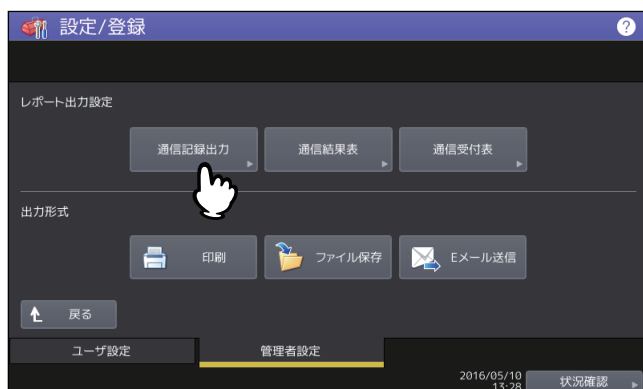
■ レポート出力を設定する

このメニューでは、以下のレポートの出力設定を行います。

項目名	機能説明
通信記録出力	本機では、2種類の通信管理記録が出力できます。通信管理記録は自動的に印刷するか手動で印刷するか選択できます。「自動的に印刷する」を選択した場合、送信管理記録、受信管理記録を何回通信後に印刷するかを設定することができます。 P.102 「通信記録出力を設定する」 補足 管理記録は設定した通信数を超えると古いものから削除されます。TopAccess（管理者モード）からCSVファイルとしてエクスポートし、ファイルにすると新しいものから5000件の管理記録を保存することができます。
通信結果表	すべての通信終了後に、通信結果表を印刷することができます。通信タイプごとに、通信結果表を印刷する状態を選択することができます。 P.103 「通信結果表を設定する」
通信受付表	通信受付表の設定では、本機のメールボックスに原稿を受信したときに通信受付表を印刷するかどうかを設定します。この設定は、以下のメールボックス通信ごとに通信受付表を印刷するかどうかを設定できます。 <ul style="list-style-type: none">• 中継子局：中継局として親局から中継送信を受信したとき• ローカル：本機のメールボックスに原稿を予約したとき• リモート：他のファクス機から本機のメールボックスに原稿を予約したとき P.105 「通信受付表を設定する」
出力形式	レポートの出力形式を選択します。[ファイル保存]、[Eメール送信]を選択した場合は、TopAccessでファイル保存先またはEメール送信先を設定してください。詳細は、TopAccessガイド 第8章「[管理者] タブ」を参照してください。

□ 通信記録出力を設定する

- 1 リスト印刷／レポート設定メニューで、[レポート出力設定] を押します。
- 2 レポート出力設定画面で、[通信記録出力] を押します。



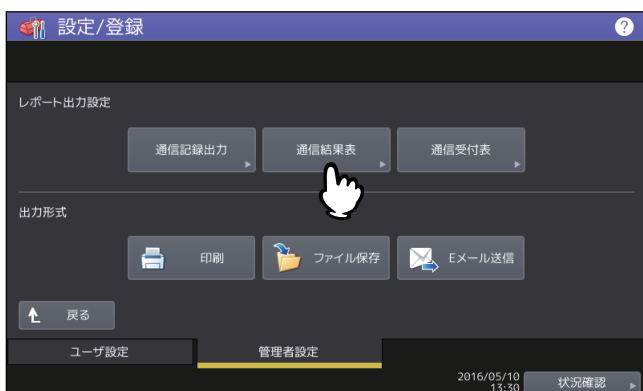
3 必要に応じて下記項目を設定し、[OK] を押します。



項目名	機能説明
自動印刷	送信管理記録と受信管理記録を自動的に印刷したい場合に [ON] を押します。[ON] を押すと指定回数の通信が終了すると自動的に送信管理記録、受信管理記録を印刷します。
送信管理記録	送信管理記録に印刷する送信回数を指定する回数ボタンを押します。
受信管理記録	受信管理記録に印刷する受信回数を指定する回数ボタンを押します。

□ 通信結果表を設定する

- 1 リスト印刷／レポート設定メニューで、[レポート出力設定] を押します。
- 2 レポート出力設定画面で、[通信結果表] を押します。



3 通信ごとに結果表を印刷する状態を設定し、[OK] を押します。

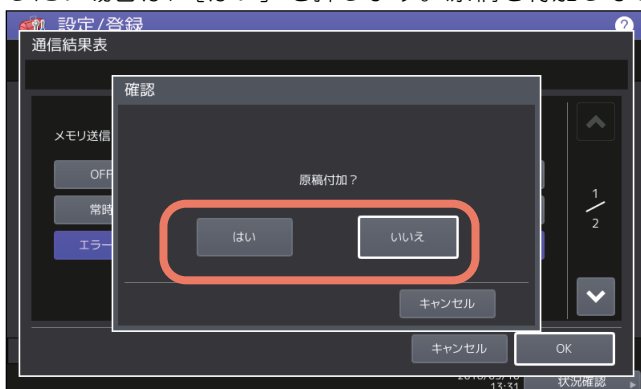


項目名	機能説明
メモリ送信 ダイレクト送信 同報送信 ポーリング 中継親局結果表 中継子局 中継孫局	<ul style="list-style-type: none"> • OFF：通信結果表を印刷しません。 • 常時：通信結果表を常に印刷します。 • エラー時：通信エラーが発生したときに印刷します。

注意

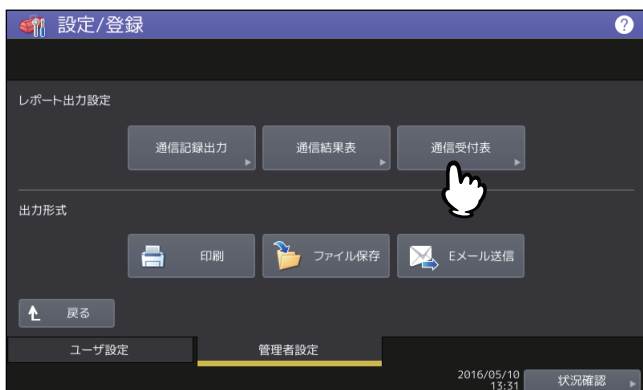
「メモリ送信」と「同報送信」以外は、FAXユニットが装着されている場合のみ設定できます。

「ダイレクト送信」「ポーリング」以外の項目で「常時」または「エラー時」を選択した場合には、タッチパネルに「原稿付加？」と表示されます。送信した原稿の最初のページを付加して通信結果表を印刷したい場合は、「はい」を押します。原稿を付加しない場合は、「いいえ」を押します。

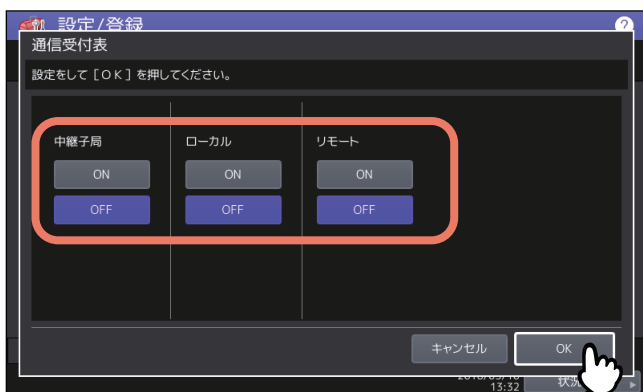


□ 通信受付表を設定する

- 1 リスト印刷／レポート設定メニューで、[レポート出力設定] を押します。
- 2 レポート出力設定画面で、[通信受付表] を押します。



- 3 通信ごとに受付表を印刷するかを設定し、[OK] を押します。



項目名	機能説明
中継子局	親局から中継送信を受信したときに通信受付表を印刷する場合は、[ON] を選択します。
ローカル	本機のメールボックスにローカルからの文書を受信したときに通信受付表を印刷する場合は、[ON] を選択します。
リモート	本機のメールボックスに他の機からリモートで文書を受信したときに通信受付表を印刷する場合は、[ON] を選択します。

■ リストを印刷する

ネットワーク設定ページ、システム設定リスト、PS3とPCLフォントのリストを印刷します。

注意

表示されるボタンはお使いの機種によって異なります。

補足

「ネットワーク設定ページ」および「システム設定リスト」で印字される各項目については、以下のページを参照してください。

📖 P.146 「リスト印字」

プリンタ／ファイリングボックス

印刷ジョブまたはファイリングボックス文書の印刷に適用するプリンタ設定を設定します。

補足

プリンタ／ファイリングボックス画面を表示する手順は、以下のページを参照してください。
P.35 「管理者設定メニューに入る」

プリンタ／ファイリングボックス設定画面 (1/2)

項目名	機能説明
オートカセットチェンジ	印刷を行う際に用紙の給紙元に特定のカセットを指定した場合にも、オートカセットチェンジ機能を有効にするか設定します。 [ON] を選択すると、印刷中に用紙がなくなった場合に、別のカセットからサイズが同一の用紙を給紙します。 注意 以下の機種で600×1200 dpi (PS3) で印刷するときには、オートカセットチェンジは無効です。 • e-STUDIO2000AC
異方向用紙の許可*	[ON] を選択すると、印刷中に用紙がなくなった場合に、別のカセットから向きの異なる同一サイズの用紙を給紙します。 注意 • 封筒または非定形サイズの用紙の場合、本機能は使用できません。 • 600 x 1200 dpiで印刷する場合、本機能は使用できません。
ホチキス針無し時の印刷中断	サドルステッチ以外のホチキス処理を行っている際にホチキス針切れを起こした場合、印刷を中断するかを選択します。 • ON ：印刷を中断します。 • OFF ：ホチキスせずに印刷を続行します。 注意 サドルステッチの場合、ホチキス針切れを起こすと印刷は中断されます。
ジョブ強制続行 (排紙先設定違い)	排紙先に出力できないサイズやタイプの用紙が印刷ジョブの2ページ目以降に含まれている場合、排紙先を自動的に切り替えて印刷を継続するかを選択します。 • ON ：排紙先を自動的に切り替えて印刷を継続します。 • OFF ：印刷を中断します。

*印刷中に用紙がなくなった場合の給紙動作は、以下のオートカセットチェンジの給紙動作を参照してください。

プリンタ／ファイリングボックス設定画面 (2/2)

項目名	機能説明
排紙トレイ自動切替 (カスケード印刷)	<ul style="list-style-type: none"> • ON：排紙トレイがいっぱいになった場合に排紙トレイを自動的に切り替えて印刷を継続します。 • OFF：排紙トレイがいっぱいになった場合に印刷を中断します。
ジョブ強制続行 (パンチ屑フル)	<ul style="list-style-type: none"> • ON：ホールパンチユニットのパンチ屑がフルになった場合でもホールパンチ処理を行わずに印刷を継続します。 • OFF：ホールパンチユニットのパンチ屑がフルになった場合、印刷を中断します。
プライベート印刷 / ホールド印刷 の自 動リリース	<p>本機へのログイン時に、プライベート印刷ジョブやホールド印刷ジョブを自動的に印刷するかを設定します。</p> <ul style="list-style-type: none"> • ON：本機にログインしたユーザのプライベート印刷ジョブやホールド印刷ジョブがログイン時に自動的に印刷されます。 • OFF：タッチパネルでの操作が必要です。 <p>プライベート印刷やホールド印刷については、印刷ガイドを参照してください。</p> <p>補 足 この項目は、ユーザ認証が有効な場合に使用することができます。</p>

オートカセットチェンジの給紙動作

A4サイズの用紙に印刷中にオートカセットチェンジする場合の給紙動作です。

設定項目		給紙動作	
オートカセットチェンジ	異方向用紙の許可	[自動カセット選択] 指 定時	給紙元カセット指定時
ON	ON	A4およびA4-Rの用紙を 給紙	A4およびA4-Rの用紙を 給紙
ON	OFF	A4の用紙を給紙	A4の用紙を給紙
OFF	ON	—	—
OFF	OFF	—	—

無線LAN/Bluetooth モジュールが装着されている場合は、無線LANの設定をします。無線LAN/Bluetooth モジュールは無線LAN標準規格のIEEE 802.11b/g/nに準拠しています。無線LANを有効にすると、無線LANで以下の印刷を利用できます。

- WindowsコンピュータからのRaw TCP印刷
- WindowsコンピュータからのLPR印刷
- MacコンピュータからのLPR印刷
- UNIX/LinuxワークステーションからのLPR印刷

📖 P.109 「セキュリティモードを設定する」

📖 P.110 「設定内容」

補足

- 無線LANの仕様については、仕様ガイド 第3章「オプションの仕様」を参照してください。
- 無線LAN画面を表示する手順は、以下のページを参照してください。

📖 P.35 「管理者設定メニューに入る」

■ セキュリティモードを設定する


項目名	機能説明
WPS	<p>WPSは無線LANの設定を簡単に行うための規格です。本機ではプッシュボタン方式とPINコード方式をサポートしています。</p> <p>プッシュボタン方式は、アクセスポイントのボタンを押すことで、無線LAN機器にESSIDと暗号キーが送信され、設定が完了します。PINコード方式は無線LAN機器で生成したPINコードをアクセスポイントに登録すると、アクセスポイントからESSIDと暗号キーが無線LAN機器に送信され、設定を完了します。</p>
WPA/WPA2、WPA2、802.1X	<p>WPA/WPA2、WPA2、802.1Xでは、RADIUSサーバーを使って無線LANへのアクセスを制御することができます。EAP-TLSまたはPEAP、2つの認証プロトコルがあります。</p> <p>EAP-TLS認証を利用する場合は、ユーザ証明書およびCA証明書（DERバイナリ-エンコード方式、BASE64エンコード方式、またはPKCS#7方式）を本機にインストールする必要があります。本機はユーザ証明書（PKCS#12方式で秘密鍵がエクスポートされているもの）を使用して無線LANへのアクセス認証を行い、RADIUSサーバーはユーザID/パスワードを使って本機の認証を行います。</p> <p>PEAP認証を利用する場合は、CA証明書（DERバイナリ-エンコード方式、BASE64エンコード方式、またはPKCS#7方式）を本機にインストールする必要があります。本機はユーザ名およびパスワードを使用して無線LANへのアクセス認証を行い、RADIUSサーバーはCA証明書を使って本機の認証を行います。</p> <p>補足</p> <p>本製品は以下のRADIUSサーバーをサポートしています。</p> <ul style="list-style-type: none"> • EAP-TLS: Windows Server 2008以降、hostapd v2.0 • PEAP: Windows Server 2008以降
WPA/WPA2PSK、WPA2PSK	<p>WPA/WPA2PSK、WPA2PSKでは、PSK（Pre-Shared Key）を使ってアクセスポイントと無線LAN機器の認証を行います。WPA/WPA2PSK、WPA2PSK認証を利用して無線LANにアクセスするには、同じPSKパスフレーズをアクセスポイントと無線LAN機器に設定する必要があります。</p> <p>注意</p> <p>セキュリティの確保のために、推測されにくいパスフレーズを選択してください。</p>

項目名	機能説明
WEP	<p>WEPではWEP暗号化キーを使用してアクセスポイントと無線LAN機器の認証を行います。WPA/WPA2、WPA2、802.1XやWPA/WPA2PSK、WPA2PSK認証と比べると、WEP認証はセキュリティの信頼性が低くなります。</p> <p>WPA/WPA2、WPA2、802.1XやWPA/WPA2PSK、WPA2PSK認証をサポートしたアクセスポイントを使ってインフラストラクチャモードで無線LANを構築している場合は、WEP認証ではなくWPA/WPA2、WPA2、802.1XまたはWPA/WPA2PSK、WPA2PSK認証を利用することをお勧めします。</p>

■ 設定内容

機能			説明	
ON	Infrastructure	WPS	PBC	タッチパネルでPBCを選択して、2分以内にアクセスポイントのWPSボタンを押してください。
			PIN	本機で生成されたPINコードを2分以内にアクセスポイントに登録してください。
		SSID/セキュリティ	WPA/WPA2 WPA2 802.1X (EAP-TLS)	EAPユーザ名を入力し、ユーザ証明書のCommon Nameをユーザ名に使うを無効にします。通信の暗号化方式として、TKIPまたはAES (CCMP) を選択します。セキュリティ設定で802.1Xを選択した場合は、Dynamic WEPを選択することもできます。
			WPA/WPA2 WPA2 802.1X (PEAP)	EAPユーザ名、EAPパスワード、EAPパスワードの確認を入力します。通信の暗号化方式として、TKIPまたはAES (CCMP) を選択します。セキュリティ設定で802.1Xを選択した場合は、Dynamic WEPを選択することもできます。
			WPA/WPA2PSK WPA2PSK	アクセスポイントとの通信の暗号化方式として、TKIPまたはAES (CCMP) を選択して、PSKパスフレーズを入力します。PSKパスフレーズは、8文字以上63文字以下で入力できます。
			WEP	WEP暗号化とキー形式を選択して、WEPキーを入力します。
	Wi-Fi Direct	グループオーナー	グループオーナーのON/OFFを切り替えます。ONにすると、本機はアクセスポイントとして機能します。	
IPアドレス		グループオーナーがONの場合に使用する本機のIPアドレスを設定します。		
OFF			無線LANを無効にします。	

注意

- EAP-TLSプロトコルを使用したWPA/WPA2、WPA2、802.1Xを利用する場合は、TopAccessからCA証明書およびユーザ証明書を事前にインストールする必要があります。インストール方法については、**TopAccessガイド第8章「[管理者] タブ」**を参照してください。
- PEAPプロトコルを使用したWPA/WPA2、WPA2を利用する場合は、TopAccessからCA証明書を事前にインストールする必要があります。インストール方法については、**TopAccessガイド第8章「[管理者] タブ」**を参照してください。
- Wi-Fi Direct設定でグループオーナーの設定をONにした場合、Wi-Fi Directで本機に接続するクライアントに割り当てられるIPアドレスはxxx.xxx.xxx.100～xxx.xxx.xxx.107になります。本機のIPアドレスがxxx.xxx.xxx.100～xxx.xxx.xxx.107のいずれかに設定されている場合、クライアントに割り当てられるIPアドレスはxxx.xxx.xxx.110～xxx.xxx.xxx.117までになります。たとえば、本機のIPアドレスが192.168.0.50の場合、192.168.0.100～192.168.0.107までのIPアドレスがクライアントに割り当てられます。有線LANとWi-Fi Directを同時に使用する場合、または無線LANのInfrastructureとWi-Fi Directを同時に使用する場合は、それぞれ異なるネットワークになるようにIPアドレスを設定してください。
- 本機とWi-Fi Directに対応した機器の接続方法は、以下のページを参照してください。
 P.32 「Wi-Fi Direct設定」

Bluetooth

無線LAN/Bluetooth モジュールが装着されている場合は、Bluetoothの設定をします。

項目名	機能説明
Bluetooth	Bluetoothを有効にするか無効にするかを選択します。
Bluetooth名	このボタンを押して、本機のBluetooth名を入力します。工場出荷時の設定では、「MFPXXXXXXXX」が設定されています。変更する必要がある場合は、Bluetooth名を変更してください。最大32文字まで入力できます。
デバイスアドレス	Bluetoothアドレスを表示します。変更することはできません。
デバイスの検索	このボタンを押して、Bluetooth機器を追加することができます。
検索の許可	すべてのBluetooth機器から本機を発見できるかどうかを選択します。この機能を有効にすると、すべてのBluetooth機器は本機を発見することができます。この機能を無効にすると、はじめて接続しようとするBluetooth機器から本機を発見することはできません。はじめて本機に接続するBluetooth機器がある場合は、この機能を有効にしてください。
セキュリティ	Bluetoothによる通信をPINコードを使って保護するかどうかを選択します。有効にした場合は、[PIN] 欄に、本機に設定する16桁以下のPINコードを英数字で入力します。この機能を有効にすると、すべてのBluetooth機器は本機に接続するときにPINコードを指定する必要があります。この機能を無効にすると、すべてのBluetooth機器はPINコードを指定せずに接続することができます。
データの暗号化	Bluetooth通信の暗号化を有効にするか無効にするかを選択します。

注意

- Bluetoothの設定は、本機を再起動後に有効になります。
- PINコードは1～16桁の英数字が入力できます。Bluetooth対応機器によってはPINコードの入力桁数が固定桁のものもあります。Bluetooth対応機器の操作方法についてはBluetooth対応機器の取扱説明書などをご参照ください。

補足


Bluetoothの仕様については、仕様ガイド 第3章「オプションの仕様」を参照してください。

システムの初期化

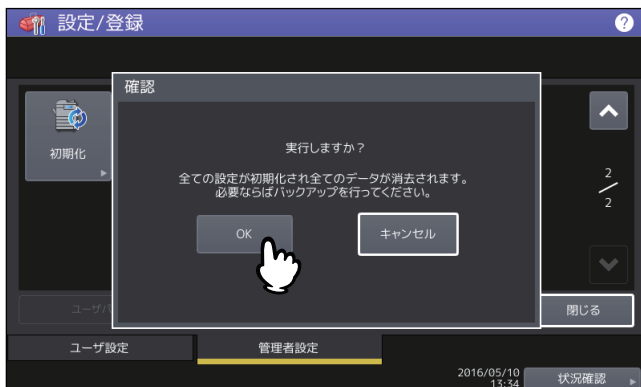
本機の設定を工場出荷時の状態に戻し、各種ユーザデータをクリアします。
この操作により工場出荷時の状態に戻るデータの詳細は、以下のとおりです。

設定データ		補足
セットアップ	一般	工場出荷時の状態に戻ります。
	ネットワーク	
	コピー	
	ファクス	
	共有フォルダに保管	
	Eメール	
	インターネットファクス	
	プリンタ/ファイリングボックス	
	プリンタ	
	プリントサービス	
	セキュリティ	
ユーザデータ		補足
ユーザ管理	ユーザアカウント	ユーザ管理データがクリアされると、LDAPマップ情報も同様にクリアされます。
	グループ管理	
	ロール管理	
	部門管理	
	割当管理	
カウンタ	ユーザカウンタ	クリアされます。
	部門カウンタ	
テンプレート		
アドレス帳		
Fコード/ファクス受信転送（振り分け）		
プリントデータコンバータ		
ICCプロファイル		
XMLフォーマットファイル		デフォルトのXMLにリセットされます。

補足

初期化実行の確認画面を表示する手順は、以下のページを参照してください。
 P.35 「管理者設定メニューに入る」

1 初期化実行の確認画面で、[OK] を押します。



初期化を開始します。

注意

- 初期化を実行する前に設定データやユーザデータをバックアップしたい場合は、クローニング機能を使ってファイルの複製を作成することができます。詳細は、以下のセクションを参照してください。
📖 P.56 「複製データを作成/インストールする」
- 本機の初期化に失敗すると、警告画面に「実行に失敗しました。」と表示されます。この場合には、[閉じる] を押して操作を再度実行してください。

2 [OK] を押して、本機を再起動します。

USBケーブル印刷

USB接続による印刷で使用するモードを選択します。

項目名	機能説明
IPP over USB	通常はこのモードを使用します。 補足 AirPrint機能を使用して印刷する場合は、このモードを選択してください。
USB（互換性優先）	東芝複合機をすでにお使いの場合で、導入済みの複合機との互換性を優先する場合に使用します。

カセット

カセットの用紙サイズの指定方法、カセット種別を設定します。

項目名	機能説明
用紙サイズ設定	ユーザがカセットの用紙サイズを指定することを許可するかどうかを設定します。
封筒カセット	カセット種別を指定します。通常は自動で判別されます。

ユーザパスワード変更

本機で内部認証機能を使用している際に、ユーザが設定されている認証パスワードを忘れてしまった場合などに、管理者メニューからそのユーザのパスワードを変更できます。

項目名	機能説明
ユーザ名	認証パスワードを変更するユーザ名を入力します。
新しいパスワード	新しいパスワードを入力します。
新しいパスワードの確認	新しいパスワードを再度入力します。

注意

[ユーザパスワード変更] は、内部認証機能が有効な場合のみ使用できます。内部認証機能を有効に設定するには、TopAccessの管理者モードから操作します。詳細は、**TopAccessガイド 第8章**「[[管理者] タブ」を参照してください。

補足

ユーザパスワード変更画面を表示する手順は、以下のページを参照してください。

📖 P.35 「管理者設定メニューに入る」

IEEE 802.1X認証設定

有線LAN環境における802.1X認証を設定します。

本機が対応する認証方式は、以下のとおりです。

- EAP-MSCHAP v2
- EAP-MD5
- EAP-TLS
- PEAP *1
内部認証方式には、以下のプロトコルが選択できます。
 - EAP-MSCHAP v2
- EAP-TTLS
内部認証方式には、以下のプロトコルが選択できます。
 - PAP
 - CHAP
 - EAP-MSCHAP v2
 - EAP-MD5

*1 Windows Server 2008では、PEAPは使用できません。

802.1X認証機能を使用するには、必要に応じてTopAccessで証明書を本機にインストールします。インストールが必要な証明書は以下のとおりです。

認証方式	内部認証方式	CA証明書	ユーザ証明書
EAP-MSCHAP v2	—	—	—
EAP-MD5	—	—	—
EAP-TLS	—	要 *1	要 *2
PEAP	EAP-MSCHAP v2	要 *1	—
EAP-TTLS	PAP	要 *1	—
	CHAP	要 *1	—
	EAP-MD5	要 *1	—
	EAP-MSCHAP v2	要 *1	—

*1 認証機能を設定する前に、CA証明書を本機にインストールしてください。

*2 認証機能を設定する前に、ユーザ証明書を本機にインストールしてください。

補足

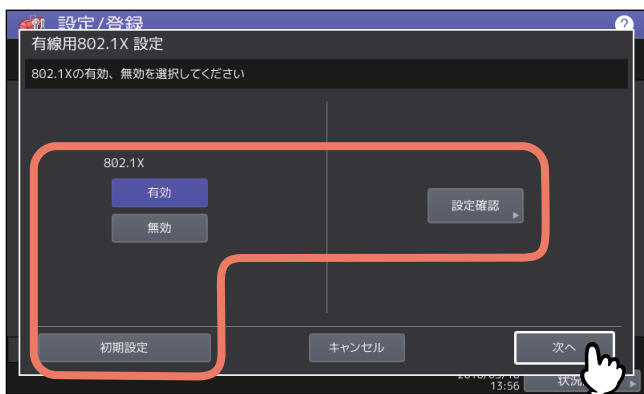
- 証明書のインストール方法については、**TopAccessガイド 第8章「[管理者] タブ」**を参照してください。
- 有線用802.1X設定画面を表示する手順は、以下のページを参照してください。
📖 P.35 「管理者設定メニューに入る」

注意

802.1X認証に関して、以下のエラーメッセージがタッチパネルに表示される場合があります。

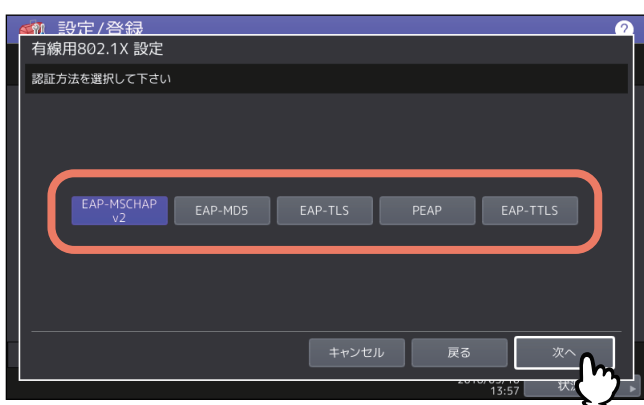
エラーメッセージ	原因
[802.1X] 認証サーバがスイッチに接続できませんでした。	<ul style="list-style-type: none">• RADIUSサーバーが停止している• RADIUSサーバーが正しく設定されていない• 認証スイッチなどのオーセンティケータの不具合
[802.1X] 認証に失敗しました。	<ul style="list-style-type: none">• 間違ったユーザ名やパスワードを入力した• アップロードされた証明書が間違っている
証明書の検証エラー	<ul style="list-style-type: none">• 本機にCA証明書がインストールされていない• インストールされたCA証明書が正しくない• サーバ証明書が不正である

1 有線用802.1X設定画面で、下記項目を設定し、[次へ] を押します。



項目名	機能説明
802.1X	<ul style="list-style-type: none"> • 有効：802.1X認証を使用します。 • 無効：802.1X認証を使用しません。 <p>補足 802.1X認証を「有効」から「無効」に切り替えた場合は、[次へ] を押し、設定内容の確認画面で [更新] を押して、設定を終了してください。</p>
設定確認	<p>現在の設定と認証状態を確認します。</p> <p>注意 [設定確認] は、802.1X認証を [有効] にすると使用できます。</p>
初期設定	802.1Xの設定を工場出荷時の状態に戻します。

2 設定したい802.1X認証に応じて、操作を続けます。



[EAP-MSCHAPv2]、[EAP-MD5]、[EAP-TLS] を選択した場合は、手順4に進んでください。

3 内部認証方式を選択し、[次へ] を押します。

手順2で [PEAP] または [EAP-TTLS] を選択した場合のみ、内部認証方式の選択が必要になります。

- [PEAP] を選択した場合

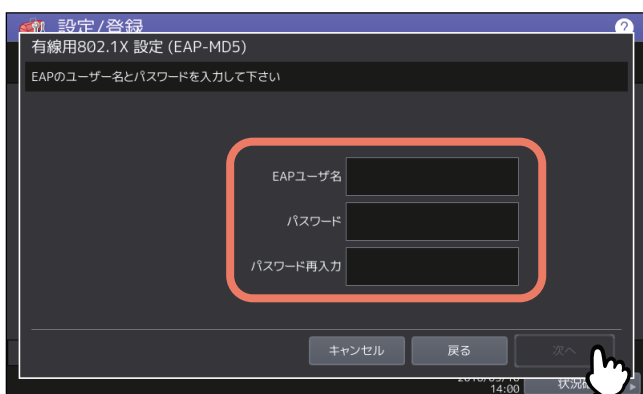


- [EAP-TTLS] を選択した場合

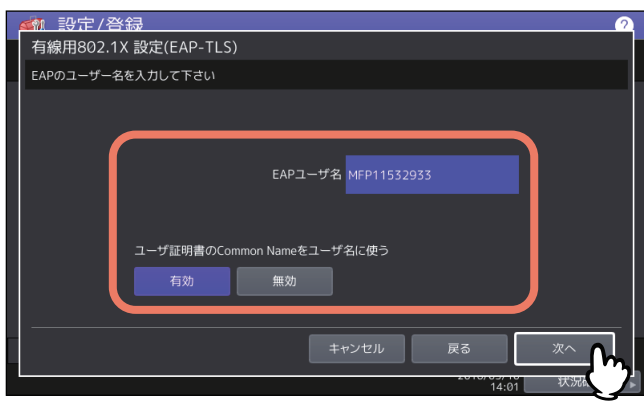


4 下記項目を設定し、[次へ] を押します。

- [EAP-TLS] 以外を選択した場合

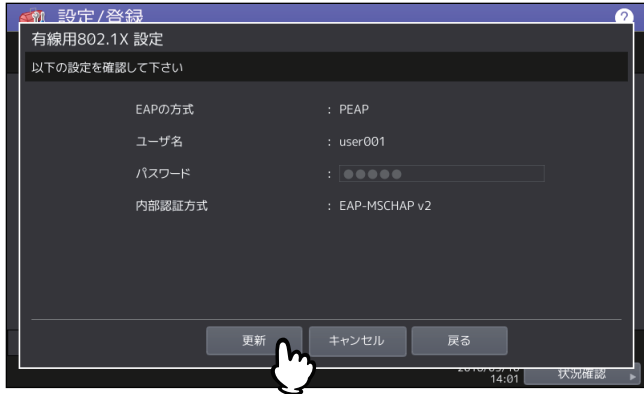


- [EAP-TLS] を選択した場合



項目名	機能説明
EAPユーザ名	EAPユーザ名を入力します。
パスワード	認証パスワードを入力します。
パスワード再入力	認証パスワードを再入力します。
ユーザ証明書のCommon Nameをユーザ名に使う	本機にインストールされているユーザ証明書のCommon Name (コモンネーム) をEAPユーザ名に設定する場合は、[有効] を押します。 注意 この項目を [有効] に設定すると、[EAPユーザ名] を入力することはできません。

5 設定内容を確認し、[更新] を押します。



画面左下に「ネットワーク準備中」と表示されます。設定が完了すると、「ネットワーク準備中」の表示が消えます。

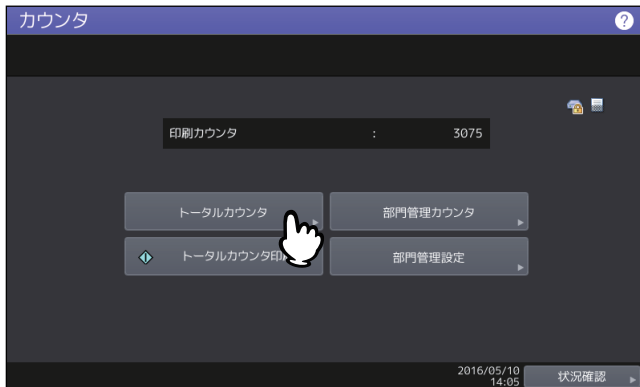
カウンタの管理

カウンタ管理メニューに入る	124
トータルカウンタ	125
プリントカウンタを表示する	126
スキャンカウンタを表示する	126
OCRカウンタを表示する	126
トータルカウンタ印刷	127
部門管理カウンタ	128
部門プリントカウンタを表示する	129
部門スキャンカウンタを表示する	129
部門ファクス通信カウンタを表示する	129
部門OCRカウンタを表示する	129
部門管理	130
部門コードリストを印刷する	131
部門管理の有効/無効を設定する	131
部門コードを登録/変更/削除する	131
全部門一括制限の有効/無効を設定する	137
白黒無制限の有効/無効を設定する	137
コピー/プリント割当を初期化する	137
全部門のカウンタをリセットする	138
全部門を削除する	138
ユーザ別カウンタ	139

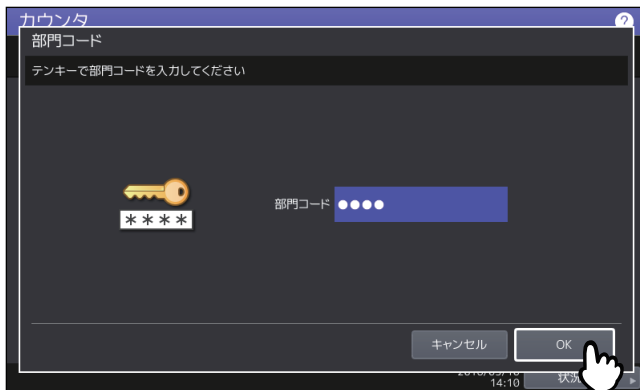
カウンタ管理メニューに入る

以下の手順で、カウンタ管理メニューを表示します。

1 ホーム画面の【カウンタ】を押して、カウンタ管理メニューに入ります。



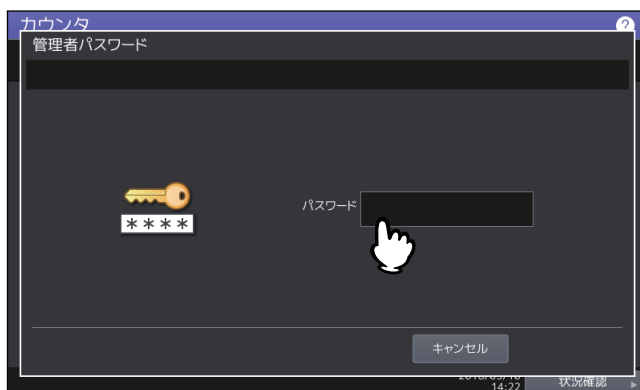
2 【部門管理カウンタ】に入る場合は、部門コードを入力し【OK】を押します。



3 【部門管理】に入る場合は、管理者パスワードを入力します。

補足

管理者パスワードを変更したことがない場合は、工場出荷時のパスワード「123456」を入力します。



カウンタ画面には、以下のボタンがあります。詳細は各参照先をご覧ください。

- P.125 「トータルカウンタ」
- P.127 「トータルカウンタ印刷」
- P.128 「部門管理カウンタ」
- P.130 「部門管理」

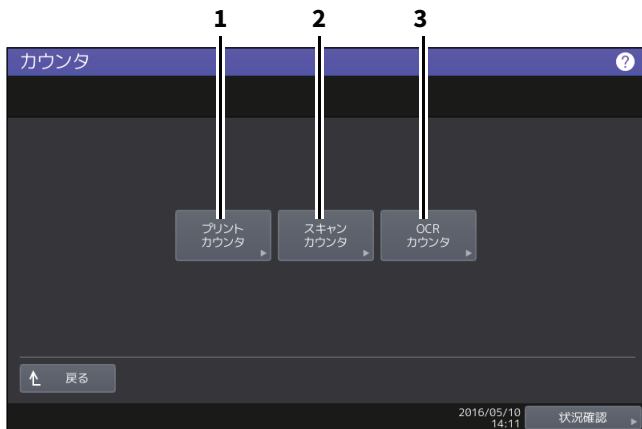
トータルカウンタ

この機能では、以下のトータルカウント値を表示します。

補足

カウンタ管理メニューを表示する手順は、以下のページを参照してください。

📖 P.124 「カウンタ管理メニューに入る」



	項目名	機能説明
1	プリントカウンタ	📖 P.126 「プリントカウンタを表示する」
2	スキャンカウンタ	📖 P.126 「スキャンカウンタを表示する」
3	OCRカウンタ	📖 P.126 「OCRカウンタを表示する」

注意

- トータルカウンタをクリアすることはできません。
- OCRカウンタは、OCRオプションがインストールされている場合のみ表示されます。

■ プリントカウンタを表示する

本機の出カトータルカウンタ値を表示します。プリントカウンタには、以下のカウンタがあります。

項目名	機能説明
コピー	コピー操作で印刷された枚数を表示します。
ファクス	ファクス受信で印刷した枚数を表示します。
プリンタ	印刷操作およびEメール受信（インターネットファクス受信）で印刷された枚数を表示します。
リスト	システムページ印刷で印刷された枚数を表示します。

注意

- カラー印刷に対応した機種とそれ以外の機種では、表示される項目が異なります。
- Loops LP50 Seriesの場合、黒トナーの印刷とブルートナーの印刷は別々にカウントされます。

■ スキャンカウンタを表示する

本機でスキャンした原稿のトータルカウンタ値を表示します。スキャンカウンタには、以下のカウンタがあります。

項目名	機能説明
コピー	コピー操作でスキャンした原稿枚数を表示します。
ファクス	ファクス送信やインターネットファクス送信でスキャンした原稿枚数を表示します。
ネットワーク	スキャン操作でスキャンした原稿枚数を表示します。

注意

カラー印刷に対応した機種とそれ以外の機種では、表示される項目が異なります。

■ OCRカウンタを表示する

本機でOCR処理した原稿のトータルカウンタ値を表示します。

OCRカウンタは、以下の作業を行うとカウントされます。

- OCR機能を有効にした状態で、スキャンまたはファクス受信した画像の保存やEメール送信時の出力ファイルとして以下のフォーマットを選択した。

PDF	DOCX
高圧縮PDF	XLSX
PDF/A	PPTX

- バーコード読取機能を有効にしてバーコードの内容を出力した。

トータルカウンタ印刷

トータルカウンタリストを印刷します。

- 本機が部門管理されていない場合は、トータルカウンタリストが印刷されます。
- 本機が部門管理されている場合は、部門コードの入力画面が表示されます。この場合は、部門コードを入力し [OK] を押すとトータルカウンタリストが印刷されます。

補足

カウンタ管理メニューを表示する手順は、以下のページを参照してください。

📖 P.124 「カウンタ管理メニューに入る」

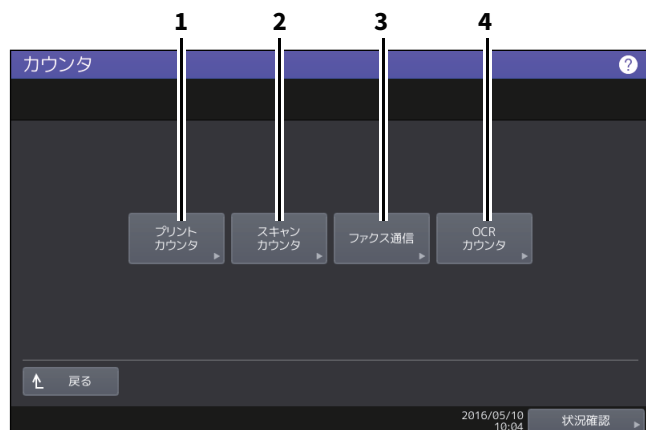
部門管理カウンタ

この機能では、以下の部門管理カウンタ値を表示します。

注意

部門管理カウンタは、部門管理機能を有効にしている場合に利用できます。

📖 P.131 「部門管理の有効/無効を設定する」



	項目名	機能説明
1	プリントカウンタ	📖 P.129 「部門プリントカウンタを表示する」
2	スキャンカウンタ	📖 P.129 「部門スキャンカウンタを表示する」
3	ファクス通信カウンタ	📖 P.129 「部門ファクス通信カウンタを表示する」
4	OCRカウンタ	📖 P.129 「部門OCRカウンタを表示する」

補足

- カウンタ管理メニューを表示する手順は、以下のページを参照してください。
📖 P.124 「カウンタ管理メニューに入る」
- 管理者パスワードが必要です。
- コピー／ファクス／プリンタ／スキャン／リスト印刷の部門管理機能を個別に無効に選択できます。詳細は、**TopAccessガイド 第8章「[管理者] タブ」**を参照してください。

■ 部門プリントカウンタを表示する

出力紙のカウント値を部門コードごとに表示します。プリントカウンタには、以下のカウンタがあります。

項目名	機能説明
コピー	コピー操作で印刷された枚数を表示します。
ファクス	ファクスポーリング受信で印刷した枚数を表示します。
プリンタ	印刷操作およびEメール受信（インターネットファクス受信）で印刷された枚数を表示します。
リスト	システムページ印刷で印刷された枚数を表示します。

注意

- カラー印刷に対応した機種とそれ以外の機種では、表示される項目が異なります。
- Loops LP50 Seriesの場合、黒トナーの印刷とブルートナーの印刷は別々にカウントされます。

■ 部門スキャンカウンタを表示する

本機でスキャンした原稿の枚数を部門コードごとに表示します。スキャンカウンタには、以下のカウンタがあります。

項目名	機能説明
コピー	コピー操作でスキャンした原稿枚数を表示します。
ファクス	ファクス送信やインターネットファクス送信でスキャンした原稿枚数を表示します。
ネットワーク	スキャン操作でスキャンした原稿枚数を表示します。

■ 部門ファクス通信カウンタを表示する

ファクス/インターネットファクス送信および受信の通信枚数を部門コードごとに表示します。ファクス通信カウンタには、以下のカウンタがあります。

項目名	機能説明
送信	ファクス送信の通信枚数を表示します。
受信	ファクスポーリング受信の通信枚数を表示します。

■ 部門OCRカウンタを表示する

本機でOCR処理した原稿のトータルカウント値を部門コードごとに表示します。OCRカウンタは、以下の作業を行うとカウントされます。

- OCR機能を有効にした状態で、スキャンまたはファクス受信した画像の保存やEメール送信時の出力ファイルとして以下のフォーマットを選択した。

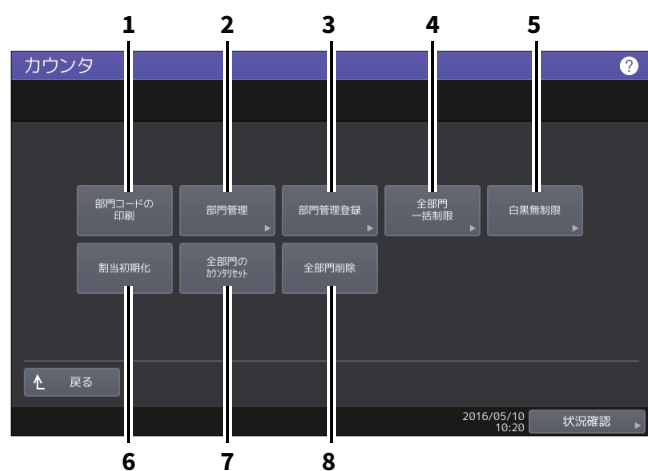
PDF	DOCX
高圧縮PDF	XLSX
PDF/A	PPTX

- バーコード読取機能を有効にしてバーコードの内容を出力した。

部門管理

利用目的に応じた分類で部門コードを設定し、それぞれの部門のカウンタ値を管理することができます。1000部門まで登録することができます。

部門コードを管理するには本機の管理者パスワードを知っている必要がありますので、設置場所の管理責任者が部門コードの管理を行うことをお勧めします。



	項目名	機能説明
1	部門コードの印刷	📖 P.131 「部門コードリストを印刷する」
2	部門管理	📖 P.131 「部門管理の有効/無効を設定する」
3	部門管理登録	📖 P.131 「部門コードを登録/変更/削除する」
4	全部門一括制限	📖 P.137 「全部門一括制限の有効/無効を設定する」
5	白黒無制限	📖 P.137 「白黒無制限の有効/無効を設定する」
6	割当初期化	📖 P.137 「コピー/プリント割当を初期化する」
7	全部門のカウンタリセット	📖 P.138 「全部門のカウンタをリセットする」
8	全部門削除	📖 P.138 「全部門を削除する」

注意

- ユーザ管理設定が有効になっている場合、アカウントマネージャ権限を持ったユーザ名でログインすると管理者パスワード画面は表示されず、そのまま部門管理設定メニューが表示されます。
- 「部門管理」および「部門管理登録」を除いたメニューは、1つ以上の部門コードを登録し、部門管理を有効に設定した後に使用できます。
- [白黒無制限] は、カラー機をお使いの場合にのみ表示されます。

補足

- カウンタ管理メニューを表示する手順は、以下のページを参照してください。
📖 P.124 「カウンタ管理メニューに入る」
- 管理者パスワードが必要です。

■ 部門コードリストを印刷する

登録されている部門コードと各部門のカウンタ値を印刷します。
部門管理設定メニューで、[部門コードの印刷] を押します。

補足

部門管理設定メニューを表示する手順は、以下のページを参照してください。

📖 P.130 「部門管理」

■ 部門管理の有効/無効を設定する

工場出荷時の状態では、部門管理機能は無効に設定されています。部門ごとにカウンタを管理したい場合は、部門管理機能を有効に設定してください。この機能を有効にすると、タッチパネルからコピーやスキャン、ファクス送信、ファイリングボックスの操作などを行うときに部門コードの入力画面が表示され、本機の操作を部門ごとに管理することができます。また、コンピュータからの印刷操作も部門ごとに管理されます。部門ごとに管理できるカウンタの詳細は、以下のページを参照してください。

📖 P.128 「部門管理カウンタ」

注意

- [部門管理] は、1つ以上の部門コードを登録後に有効になります。部門管理機能を有効にする前に、必要な部門コードの登録を行ってください。
📖 P.132 「新しい部門コードの登録」
- コンピュータからの印刷を部門管理する場合、印刷時に部門コードの入力を必須にするか、または部門コードが入力されていなくても印刷を許可するかをTopAccessを使って設定することができます。TopAccessから印刷操作の部門管理強制を設定する方法については、**TopAccessガイド 第8章「[管理者] タブ」**を参照してください。
- 部門管理機能は、Web Serviceスキャンをサポートしていません。部門管理機能が有効なときに実行されたWeb Serviceスキャンジョブは、常に「部門カウンタの番号-1001、部門名称-未定義」にカウントされます。

補足

部門管理設定メニューを表示する手順は、以下のページを参照してください。

📖 P.130 「部門管理」

■ 部門コードを登録/変更/削除する

- 新しい部門コードを登録します。必要に応じて部門コードに出力の割当を設定します。
📖 P.132 「新しい部門コードの登録」
- 登録済みの部門コードを編集または削除します。
📖 P.134 「部門コードの変更」
📖 P.135 「部門コードの削除」
- 特定の部門コードのカウンタだけをリセットします。
📖 P.136 「部門カウンタのクリア」

□ 新しい部門コードの登録

注意

1つ以上の部門コードを登録してから部門管理設定を有効にしてください。

📖 P.131 「部門管理の有効/無効を設定する」

1 部門管理設定メニューで、[部門管理登録] を押します。

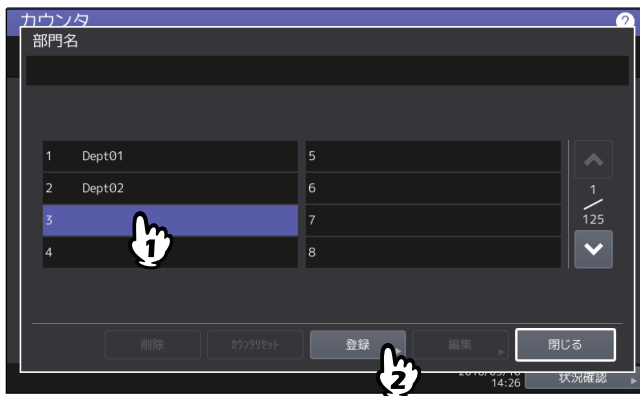
部門名画面が表示されます。

補足

部門管理設定メニューを表示する手順は、以下のページを参照してください。

📖 P.130 「部門管理」

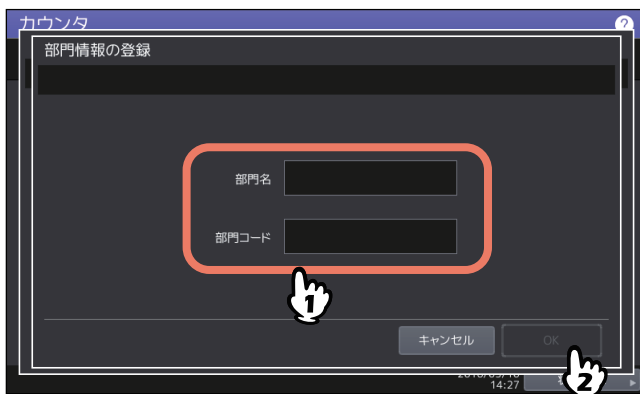
2 部門を登録する空きボタンを押して、[登録] を押します。



補足

タッチパネルに部門を登録できる空きボタンがない場合は、 を押して次の画面を表示します。

3 部門名と部門コードを入力し、[OK] を押します。



補足

部門コードは、63文字以内で入力することができます。入力可能な文字は、以下のとおりです。

- 英数字および - (ハイフン) _ (アンダースコア) . (ピリオド)

4 必要に応じて部門コードに出力の割当を設定し、[OK] を押します。



項目名	機能説明
割当管理	<p>[ON] / [OFF] を押して割当の有効/無効を切り替えます。割当を有効にするときは、[ON] を押してから、割当と割当初期値を設定してください。(カラー印刷に対応した機種では、カラー出力とモノクロ出力の割当を別々に設定してください。)</p> <ul style="list-style-type: none"> • 割当：この部門コードで現在出力できる残数が表示されます。[割当初期値] ボックスに入力した値が、出力するごとに減算され、「0」になると出力が制限されます。 新しい部門コードの登録時は、[割当初期値] ボックスに入力した値がこのボックスに表示されます。 このボックスに表示されている割当は、手動で任意の値に変更することができます。 • 割当初期値：この部門に設定する割当の初期値を入力します。99,999,999まで入力できます。

注意

印刷中に残数が「0」になった場合は、ジョブを即座に中止することができないため、割当設定を数枚超えて印刷される場合があります。

□ 部門コードの変更

- 1 部門管理設定メニューから、[部門管理登録] を押します。
部門名画面が表示されます。

補 足

部門管理設定メニューを表示する手順は、以下のページを参照してください。
📖 P.130 「部門管理」

- 2 編集したい部門ボタンを押して、[編集] を押します。



- 3 [はい] を押します。



- 4 部門名および新しい部門コードを入力して、[OK] を押します。



補 足

部門コードは、63文字以内で入力することができます。入力可能な文字は、以下のとおりです。

- 英数字および - (ハイフン) _ (アンダースコア) . (ピリオド)

5 必要に応じて部門コードに出力の割当を設定し、[OK] を押します。



各項目の説明については、以下の操作の手順7を参照してください。
 P.132 「新しい部門コードの登録」

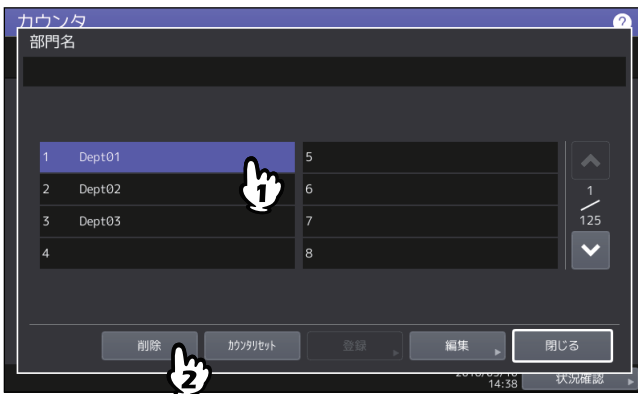
□ 部門コードの削除

- 1 部門管理設定メニューで、[部門管理登録] を押します。
 部門名画面が表示されます。

補足

部門管理設定メニューを表示する手順は、以下のページを参照してください。
 P.130 「部門管理」

- 2 削除したい部門ボタンを押して [削除] を押します。



- 3 [はい] を押します。



□ 部門カウンタのクリア

1 部門管理設定メニューで、[部門管理登録] を押します。

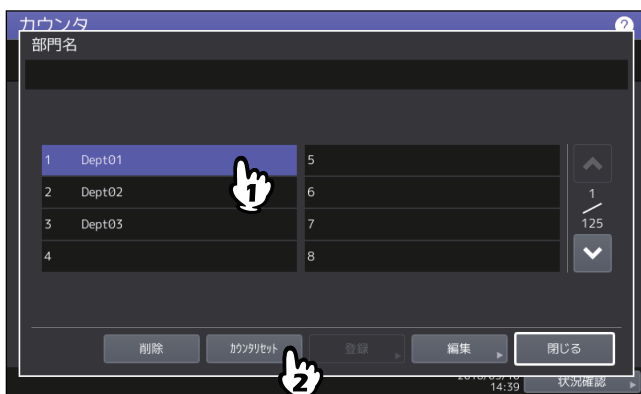
部門名画面が表示されます。

補足

部門管理設定メニューを表示する手順は、以下のページを参照してください。

📖 P.130 「部門管理」

2 カウンタをクリアしたい部門ボタンを押して、[カウンタリセット] を押します。



3 [はい] を押します。



■ 全部門一括制限の有効/無効を設定する

全部門の出力制限を一括して設定します。出力制限を [ON] にした場合は、全部門から出力ができなくなります。出力制限を [OFF] にした場合は、全部門からの出力を無制限にします。

項目名	機能説明
カラー	<ul style="list-style-type: none"> • ON：カラー出力を有効にします。 • OFF：カラー出力を無効にします。
白黒	<ul style="list-style-type: none"> • ON：モノクロ出力を有効にします。 • OFF：モノクロ出力を無効にします。

注意

- カラー印刷に対応した機種で白黒無制限 (P.137) が有効になっている場合は、一括制限を設定することはできません。
- 登録されている部門コードの数によって、設定が適用されるまで時間がかかることがあります。

補足

- 部門管理設定メニューを表示する手順は、以下のページを参照してください。
P.130 「部門管理」
- カラー印刷に対応した機種では、カラー出力とモノクロ出力の制限を別々に設定してください。
- [OK] を押すと、全部門の制限設定が保存されます。設定が適用されるまでの間、タッチパネルには「おまちください」と表示されます。
- 全部門一括制限で [ON] を選択した場合、全部門コードの出力の割当は「0」に設定されます。部門ごとに割当設定を変更したい場合は、割当設定を部門ごとに行ってください。
P.134 「部門コードの変更」

■ 白黒無制限の有効/無効を設定する

白黒無制限は、部門管理機能が有効な場合に部門コードを入力することなくモノクロコピーやモノクロプリントを許可する機能です。この機能を有効にすると、カラーコピーやカラープリントを行う場合にのみ部門コードの入力が必要となります。モノクロコピーやモノクロプリントは制限されないため、モノクロ出力のカウンタは部門コードごとにカウントされなくなります。このメニューは、カラー印刷に対応した機種をお使いの場合にのみ表示されます。

補足

- 部門管理設定メニューを表示する手順は、以下のページを参照してください。
P.130 「部門管理」
- ユーザ管理設定が有効な場合には、白黒無制限を有効にすることはできません。

■ コピー/プリント割当を初期化する

すべての部門のコピー割当と印刷ジョブ割当を一括して初期値に戻します。

補足

部門管理設定メニューを表示する手順は、以下のページを参照してください。
P.130 「部門管理」

■ 全部門のカウンタをリセットする

すべての部門のカウンタ値をクリアします。

注意

部門カウンタはクリアされますが、トータルカウンタはクリアされません。

補足

部門管理設定メニューを表示する手順は、以下のページを参照してください。

📖 P.130 「部門管理」

■ 全部門を削除する

登録したすべての部門コードを削除します。

補足

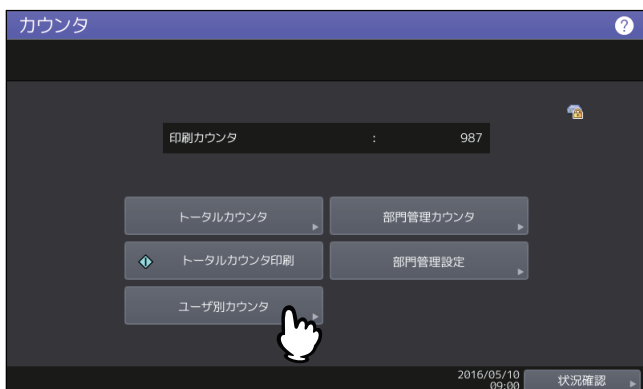
部門管理設定メニューを表示する手順は、以下のページを参照してください。

📖 P.130 「部門管理」

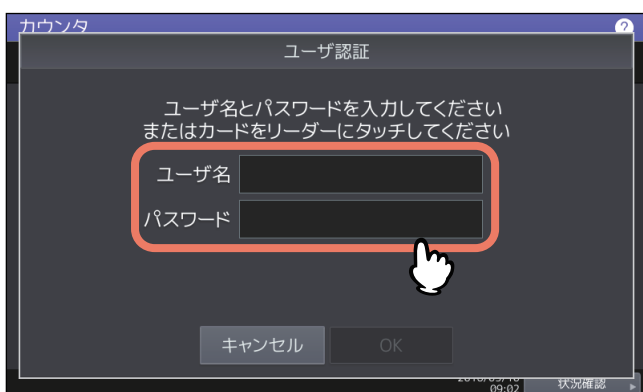
ユーザ別カウンタ

本機のユーザ認証機能が有効な場合、ユーザ別のカウンタを表示することができます。

- 1 ホーム画面の【カウンタ】を押して、カウンタ管理メニューに入ります。
- 2 【ユーザ別カウンタ】を押します。




- 3 ユーザ名とパスワードを入力します。



付録

ホーム画面設定	142
文字入力のしかた	144
文字入力画面	144
外部接続キーボードの使用.....	145
番号入力画面	145
リスト印字	146
ネットワーク設定ページ	146
システム設定リスト (管理者)	148
区点コード表.....	168

ホーム画面設定

ホーム画面で画面右上のホーム画面設定ボタン  を押すと、設定画面が表示されます。

ホーム画面に使いたい機能などのボタンを追加したり、背景にお気に入りの画像を表示するなど、ホーム画面をカスタマイズすることができます。

ユーザ管理機能を使用していない場合、全ユーザ共通のホーム画面の設定を変更できます（管理者権限が必要です）。ユーザ管理機能を使用している場合、初期設定ではログイン中のユーザのホーム画面の設定を変更できます。

項目名	機能説明
ボタン編集	ボタンの追加/削除/編集、並べ替えをします。 ボタンに追加する機能は、以下から選択できます。 <ul style="list-style-type: none">• ジョブ履歴から登録• URLリストから登録• おすすめから登録• 機能リストから登録• ホーム画面から登録• アプリケーションから登録 機能のほかにジョブ設定もボタンとして登録できます。詳細は テンプレートガイド第1章「ジョブ設定をホーム画面に登録する」 を参照してください。
テーマ	テーマを選択します。 テーマとは、背景画像、タイトルバー、ボタンの透明度、ボタンサイズの設定をセットにしたものです。
背景画像	背景画像を変更します。
ボタンサイズ	ボタンサイズを変更します。
透過性	ホーム画面のタイトルバーとボタンの透明度を設定します。
背景画像の編集	オリジナルの背景画像を USBメディア からインポート、 USBメディア へエクスポート、または削除します。サポートする画像ファイルは以下のとおりです。 <ul style="list-style-type: none">• 画像サイズ: 800ピクセル（横）x480ピクセル（縦）• ファイル形式: PNG（24ビット）• ファイルサイズ: 1.5 MB以下
アイコン画像の編集	オリジナルのアイコン画像を USBメディア からインポート、 USBメディア へエクスポート、または削除します。サポートする画像ファイルは以下のとおりです。 <ul style="list-style-type: none">• 画像サイズ: 154ピクセル（横）x102ピクセル（縦）• ファイル形式: PNG（24ビット）• ファイルサイズ: 50 KB以下
ホーム画面の初期画面設定	ホーム画面の初期状態を設定します。
ホーム画面の初期化	ホーム画面を初期化します。 初期化したときの状態は「ホーム画面の初期画面設定」の内容になります。

ホーム画面のカスタマイズ例



上記の設定以外でホーム画面の設定を変えたい場合は、サービスエンジニアまたは弊社販売店にお問い合わせください。

注意

このホーム画面のカスタマイズ機能をご利用になる場合には、次の点を順守いただく必要がございますのでご注意ください。

このホーム画面のカスタマイズ機能のご利用を通じて、いかなるコンテンツ・著作物・情報等もこれらを組み入れたり、表記・発信したりすることは、すべてご利用者の責任にて行っていただきます。

このホーム画面のカスタマイズ機能のご利用にあたり、第三者の著作権・商標権・特許権・営業秘密・人格権・パブリシティ・その他の知的財産に関するすべての権利侵害、さらにこれら以外のいかなる財産権及び人格権の侵害が生じた場合も、東芝テック（株）および東芝テックグループ関係会社は免責されます。

文字入力のかた

文字やダイヤル番号の入力が必要な場合、入力用の画面が表示されます。

補足

本機は欧州言語の特殊文字に対応しています。

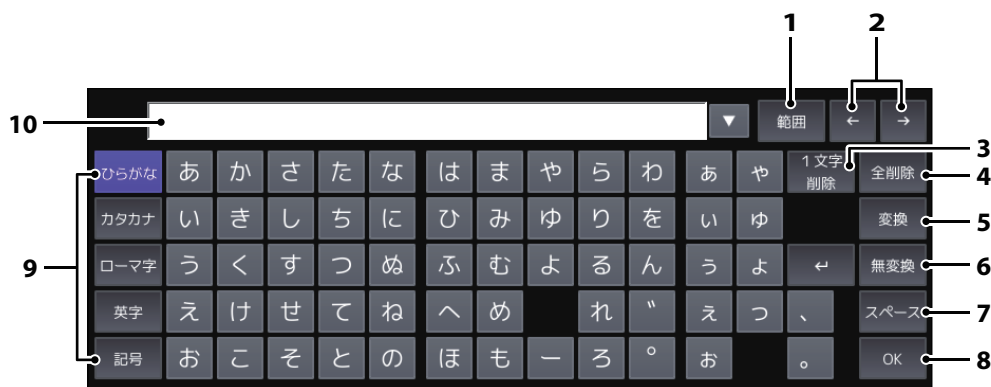
■ 文字入力画面

入力した文字を変換する際、画面や機能により、以下の違いがあります。

- ホーム画面、認証画面（ユーザ名）、かんたんスキャン、EWB：カーソルは入力した文字の前、分節の区切りは入力した文字の下線の切れ目
- 上記以外：カーソルは入力した文字の後、分節の区切りは選択している分節の色が変わる

補足

- 以下は、ひらがな入力モードの画面です。入力モードによって画面構成は異なります。
- 入力できる文字種が英字と記号のみの場面では、入力モードは英字モードと記号モードだけに制限されず。



項目名	機能説明
1 [範囲] キー	変換候補が表示されているときに [範囲] キーを押し、矢印キーを押して、文節の区切りを変更します。
2 矢印キー	カーソルを左右に移動します。
3 [1文字削除] キー	カーソルの前の文字を1文字ずつ削除します。
4 [全削除] キー	入力した文字をすべて削除します。
5 [変換] キー	ひらがな入力モードまたはローマ字入力モードで変換候補を表示します。
6 [無変換] キー	ひらがな入力モードまたはローマ字入力モードで漢字に変換しないで入力した文字を確定します。
7 [スペース] キー	1文字分空けます。
8 [OK] キー	入力画面を閉じます。
9 入力モード切り替えキー	入力モードを以下の5つから選択し、切り替えます。 <ul style="list-style-type: none"> ひらがな入力モード カタカナ入力モード ローマ字入力モード 英字入力モード 記号入力モード
10 変換候補表示エリア	ひらがな入力モードまたはローマ字入力モードで文字を入力し、[変換] ボタンを押すと、変換候補が表示されます。

その他のキーについて

- カタカナ入力モードでは、[半角] キーが表示されます。このキーを押すと、全角入力と半角入力を切り替えることができます。
- ローマ字入力モードでは、[区点入力] キーが表示されます。このキーを押すと、文字入力モードに切り替えることができます。文字入力モードで使える文字と、区点コードの入力方法については、以下の参照先をご参照ください。

📖 P.168 「区点コード表」

■ 外部接続キーボードの使用

本機のUSBポートに市販のUSBキーボードを接続すると、USBキーボードから文字を入力できます。また、Bluetoothキーボードを接続して使用することもできます。本機の管理者設定メニューのキーボード設定で、接続するキーボードのレイアウトを選択してからお使いください。

📖 P.61 「キーボード設定を変更する」

Bluetoothの設定については、以下をご参照ください。

📖 P.112 「Bluetooth」

注意

すべてのキーボードの動作を保証するものではありません。

■ 番号入力画面

ダイヤル番号の入力が必要な場合、以下の画面が表示されます。

ダイヤル番号は、通常「-」を含めずに入力してください。「-」を入力する場合は、[ポーズ] を押ししてください。（「-」を入れるとポーズが入り3秒間ダイヤルの間隔が空きます。）



リスト印字

■ ネットワーク設定ページ

管理者設定メニューからネットワーク設定ページを印刷することができます。印刷される各項目と説明については以下を参照してください。

インターフェイス	ネットワークインターフェイス
シリアル番号	本機のシリアル番号
バージョン	本機のシステムバージョン
ネットワークアドレス	本機のMACアドレス
LAN規格	ネットワークタイプ
コネクタ	接続タイプ
アドレス設定方法	アドレスの設定方法
ノベルネットワーク情報	
プリントサーバ名	本機のNovellプリンタ名
パスワードあり	パスワード設定の有無
サーチルート	本機のサーチルート設定
ディレクトリーサービスツリー	本機のNDSツリー設定
ディレクトリーサービスコンテキスト	本機のNDSコンテキスト設定
スキャンレート	本機のスキャンレート設定
フレームタイプ	本機のフレームタイプ設定
TCP/IP IPv4ネットワーク情報	
アドレスモード	本機のTCP/IPアドレスモード設定
IPアドレス	本機のIPアドレス
サブネットマスク	本機のサブネットマスク
デフォルトゲートウェイ	本機のゲートウェイアドレス
プライマリDNSサーバー	本機の優先DNSサーバーアドレス設定
DNS名	本機のDNS名
ホスト名	本機のホスト名
プライマリWINSサーバーアドレス	本機の優先WINSサーバーアドレス設定
NetBIOS名	本機のNetBIOS名
IPP印刷情報	
IPP印刷 SSLなし	本機のIPP印刷用URL
IPP印刷 SSLあり	本機のSSL対応IPP印刷用URL
AppleTalkネットワーク情報	
AppleTalkプリンタ名	本機のAppleTalkプリンタ名
AppleTalkゾーン	本機のAppleTalkゾーン設定
AppleTalkタイプ	本機のAppleTalkプリンタタイプ
ノベル接続情報	
ファイルシステムサーバー名	接続しているNetWareファイルサーバー名
キュー名	接続しているNetWareキュー名
AppleTalk接続情報	
AppleTalkプリンタ名	本機のAppleTalkプリンタ名
Rawソケット接続情報	
ポート番号	Raw印刷用のポート番号
無線LAN情報 *1	

SSID	本機のSSID
Wi-Fiダイレクト情報 *1	
MACアドレス	本機のMACアドレス
IPアドレス	本機のIPアドレス
サブネットマスク	本機のサブネットマスク
SSID	本機のSSID
グループオーナー	グループオーナーの有効/無効
TCP/IP IPv6ネットワーク情報	
LLMNR	LLMNR (Linklocal Multicast Name Resolution) プロトコル設定
リンクローカルアドレス	本機のリンクローカルアドレス
アドレスモード	本機のIPv6アドレスモード設定
IPアドレス	本機のIPv6アドレス
プレフィックス長	IPv6アドレスのプレフィックス
デフォルトゲートウェイ	本機のゲートウェイアドレス
プライマリDNSサーバーアドレス (IPv6)	プライマリDNSサーバーのIPv6アドレス
セカンダリDNSサーバーアドレス (IPv6)	セカンダリDNSサーバーのIPv6アドレス

*1 無線LAN/Bluetooth モジュールが装着されている場合のみ印字されます。

■ システム設定リスト（管理者）

管理者設定メニューから出力したシステム設定リストには、すべての機能の設定一覧が印刷されます。次の表では、管理者のシステム設定リストに印刷される項目と説明、およびユーザのシステム設定リストにも印刷される項目を確認できます。

一般

リスト項目	説明	ユーザ
トータルカウンタ	トータルカウンタ値	○
カセット-1段目カセット	1段目カセットに設定された用紙サイズ	○
カセット-2段目カセット	2段目カセットに設定された用紙サイズ	○
カセット-3段目カセット *1	3段目カセットに設定された用紙サイズ	○
カセット-4段目カセット *2	4段目カセットに設定された用紙サイズ	○
カセット-大容量給紙装置 *3	大容量給紙装置に設定された用紙サイズ	○
カセット-大容量給紙装置（外付け）*4	大容量給紙装置（外付け）に設定された用紙サイズ	○
用紙サイズ設定-1段目カセット	1段目カセットの用紙サイズ変更許可の有効／無効	×
用紙サイズ設定-2段目カセット	2段目カセットの用紙サイズ変更許可の有効／無効	×
用紙サイズ設定-3段目カセット *1	3段目カセットの用紙サイズ変更許可の有効／無効	×
用紙サイズ設定-4段目カセット *2	4段目カセットの用紙サイズ変更許可の有効／無効	×
封筒カセット-2段目カセット	2段目カセットのカセット種別の設定	×
封筒カセット-3段目カセット *1	3段目カセットのカセット種別の設定	×
封筒カセット-4段目カセット *2	4段目カセットのカセット種別の設定	×
オートクリア	一定時間操作されていない場合に、タッチパネルで行った操作をクリアし初期画面に戻す時間（秒）	○
節電モード設定-ウィークリータイマー	日曜日から土曜日までの各日の節電モードに入る時間、および節電モードから復帰する時間	×
節電モード設定-ウィークリータイマー使用	ウィークリータイマー機能の有効／無効	×
節電モード設定-自動節電時間	自動節電モードに入る時間（分）	×
節電モード設定-自動オフ時間	自動オフモードに入る時間（分）	×
節電モード設定-スリープスリープ	スリープスリープモードの有効／無効	×
節電モード設定-スリープ移行時間経過後のモード	スリープ移行時間経過後に移行するモード	×
サマータイム設定-サマータイム使用	サマータイム使用の有無	×
サマータイム設定-標準時間との差	現地標準時間との時間差	×
サマータイム設定-開始／終了	サマータイムの適用期間	×
データクローニング機能	データクローニング機能の有効／無効	×
USBダイレクト印刷	USBダイレクト印刷の有効／無効	×
機能設定-ローカルHDDへ保存	ローカルHDDへの保存の有効／無効	×
機能設定-ファイリングボックス	ファイリングボックス機能の有効／無効	×
機能設定-Eメール送信	Eメール送信の有効／無効	×
機能設定-FTP保存	FTP保存の有効／無効	×
機能設定-FTPS保存	FTPS保存の有効／無効	×
機能設定-USBメディアに保存	USBメディアに保存の有効／無効	×

リスト項目	説明	ユーザ
機能設定-SMB保存	SMB保存の有効/無効	×
機能設定-NETWARE保存	NetWare保存の有効/無効	×
機能設定-インターネットファクス送信	インターネットファクス送信の有効/無効	×
機能設定-ファクス送信	ファクス送信の有効/無効	×
機能設定-WEB SERVICESスキャン	Webスキャンサービスの有効/無効	×
機能設定-TWAINスキャン	TWAINスキャンの有効/無効	×
機能設定-外部コントローラへのスキャン	外部コントローラへのスキャンの有効/無効	×
機能設定-ネットワークファクス	ネットワークファクスの有効/無効	×
機能設定-ネットワークインターネットファクス	ネットワークインターネットファクスの有効/無効	×
ロングファイル名設定-ロングファイル名表示設定	ロングファイル名の表示設定	×
ジョブスキップ設定-ジョブスキップ使用	ジョブスキップ機能の有効/無効	×
管理者によるアドレス帳操作制限	管理者によるアドレス帳操作の制限の有無	×
地紋印刷設定-コピー禁止	コピー禁止の有無	×
地紋印刷設定-スキャン禁止	スキャン禁止の有無	×
地紋印刷設定-ファクス禁止	ファクス禁止の有無	×
機密化設定-機密化の対象	機密化の対象ジョブ	×
機密化設定-文書名	文書名の機密化の有効/無効	×
機密化設定-ユーザ名	ユーザ名の機密化の有効/無効	×
機密化設定-宛先	宛先の機密化の有効/無効	×
機密化設定-送信者	送信者の機密化の有効/無効	×
機密化設定-エージェント	エージェントの機密化の有効/無効	×
セルフチェック間隔	セルフチェックを実行する間隔	×
ポップアップ-カセット	カセットポップアップの有効/無効	×
ポップアップ-紙詰り解除後の印刷	紙づまり解除後の印刷ポップアップの有効/無効	×
ポップアップ-厚紙セット	厚紙1設定時の注意喚起ポップアップの有効/無効	×
ホーム設定 - ホーム画面初期表示設定	ホーム画面の初期表示設定	×
ブルー印刷濃度設定 *6	ブルートナー使用時の印刷濃度設定	×
OCR設定-第1言語 *5	OCR機能で使用する第1言語	×
OCR設定-第2言語 *5	OCR機能で使用する第2言語	×
OCR設定-自動回転補正 *5	OCR機能での自動回転の有効/無効	×
OCR設定-XLSXシート作成方法 *5	OCR機能でのXLSXシート作成方法	×
キーボード設定 - 外部キーボード設定	外部キーボードの設定	×
ファンクションボタン - ファンクションボタン1	ファンクションボタン1に割り当てられている機能	○
ファンクションボタン - ファンクションボタン2	ファンクションボタン2に割り当てられている機能	○

リスト項目	説明	ユーザ
パネル設定 - 初期画面	起動後に表示される初期画面の設定	×
トナーモード初期設定 - コピー*6	コピー時のトナー設定	×
トナーモード初期設定 - プリント*6	プリント時のトナー設定	×
トナーモード初期設定 - リスト*6	リスト印刷時のトナー設定	×
トナーモード初期設定 - レポート*6	レポート印刷時のトナー設定	×
トナーモード初期設定 - カウンタリスト*6	カウンタリスト印刷時のトナー設定	×
トナーモード初期設定 - ファイリングボックス*6	ファイリングボックス印刷時のトナー設定	×
トナーモード初期設定 - ファクス/インターネットファクス/Eメール*6	ファクス/インターネットファクス/Eメール印刷時のトナー設定	×
トナーモード初期設定 - モバイル*6	モバイル印刷時のトナー設定	×

*1 「3段目カセット」は3段目カセットが装着されている場合のみ印字されます。

*2 「4段目カセット」は4段目カセットが装着されている場合のみ印字されます。

*3 「大容量給紙装置」は大容量給紙装置が装着されている場合のみ印字されます。

*4 「大容量給紙装置 (外付け)」は大容量給紙装置 (外付け) が装着されている場合のみ印字されます。

*5 OCRオプションがインストールされている場合のみ印字されます。

*6 Loops LP50 Seriesをお使いの場合のみ表示されます。

コピー設定

リスト項目	説明	ユーザ
濃度調整 (カラー)*1	カラーコピー時に初期設定として適用される濃度調整	○
濃度調整 (ブルー)*3	ブルートナーを使ったコピー時に初期設定として適用される濃度調整	○
濃度調整 (白黒)*1	白黒コピー時に初期設定として適用される濃度調整	○
濃度調整*2	コピー時に初期値として適用される濃度調整	○
トナーモード*3	コピー時に初期設定として適用されるトナーの種類	○
カラーモード*1	コピー時に初期設定として適用されるカラーモード	○
手差し用紙	コピー時に初期設定として適用される手差しトレイの用紙種類	○
カラー原稿モード*1	カラーコピー時に初期設定として適用される原稿モード	○
白黒原稿モード	白黒コピー時に初期設定として適用される原稿モード	○
自動カラー選択時の原稿モード*1	自動カラー選択コピー時に初期設定として適用される原稿モード	○
ブルー原稿モード*3	ブルートナーを使ったコピー時に初期設定として適用される原稿モード	○
白紙ページ除去判定レベル	白紙除去判定レベルの設定値	○
自動カラー選択判定レベル*1	自動カラー選択判定レベルの設定値	○
ページ集約	ページ集約コピー時に初期設定として適用されるページ集約コピーの設定	○
製本	製本コピー時初期設定として適用される製本コピーの設定	○
ブック両面	ブック両面コピー時に初期設定として適用されるブック両面の設定	○
最大コピー部数	指定できる最大コピー部数	×
自動両面	コピー時に初期設定として適用される両面コピーの設定	×
ソートモード	コピー時に初期設定として適用されるソートモード	×
自動カラー選択の初期値*1	自動カラー選択の初期値モード	×

リスト項目	説明	ユーザ
オートカセットチェンジ	オートカセットチェンジ機能の有効/無効	×
異方向用紙の許可	異方向用紙の許可機能の有効/無効	×
排紙トレイ自動切替（カスケード印刷）	排紙トレイ自動切替の有効/無効	×
ホチキス針無し時の印刷中断	ホチキス切れ時の印刷中断機能の有効/無効	×
パンチ屑フル時の印刷継続	パンチ屑フル時の印刷継続機能の有効/無効	×
原稿外消去	原稿外消去機能の有効/無効	×
原稿送り装置スジ低減	原稿送り装置スジ低減機能の設定	×
センタリングコピー	センタリングコピー機能の有効/無効	×

- *1 カラー機をお使いの場合にのみ印字されます。
- *2 モノクロ機をお使いの場合にのみ印字されます。
- *3 Loops LP50 Seriesをお使いの場合にのみ印字されます。

スキャン設定

リスト項目	説明	ユーザ
カラーモード	スキャン時に初期設定として適用されるカラーモード	○
圧縮率	圧縮率の設定	○
自動カラー選択時モノクロページ濃度調整	スキャン時に初期設定として適用される閾値	○
画像回転	スキャン時に初期設定として適用される回転設定	○
両面	スキャン時に初期設定として適用される両面スキャン設定	○
自動カラー選択時のモノクロページ画質	自動カラー選択スキャン時に白黒スキャンに適用される画質モード	○
プレビュー表示設定	プレビュー機能の有効/無効	○
白紙ページ除去判定レベル	白紙除去判定レベルの設定値	○
自動カラー選択判定レベル	自動カラー選択判定レベルの設定値	○
カラー - 解像度	カラースキャン時に初期設定として適用される解像度	○
カラー - 原稿モード	カラースキャン時に初期設定として適用される原稿モード	○
カラー - 濃度調整	カラースキャン時に初期設定として適用される濃度調整	○
カラー - 下地調整	カラースキャン時に初期設定として適用される下地調整	○
グレースケール - 解像度	グレースケールスキャン時に初期設定として適用される解像度	○
グレースケール - 濃度調整	グレースケールスキャン時に初期設定として適用される濃度調整	○
グレースケール - 下地調整	グレースケールスキャン時に初期設定として適用される下地調整	○
白黒 - 解像度	白黒スキャン時に初期設定として適用される解像度	○
白黒 - 原稿モード	白黒スキャン時に初期設定として適用される原稿モード	○
白黒 - 濃度調整	白黒スキャン時に初期設定として適用される濃度調整	○
白黒 - 下地調整	白黒スキャン時に初期設定として適用される下地調整	○
原稿送り装置スジ低減	原稿送り装置スジ低減の有効/無効	×

ファクス設定

リスト項目	説明	ユーザ
ファクスROMバージョン	ファクスROMのバージョン	○
解像度	ファクス/インターネットファクス送信時に初期設定として適用される解像度	○
原稿モード [†]	ファクス/インターネットファクス送信時に初期設定として適用される原稿モード	○
濃度調整	ファクス/インターネットファクス送信時に初期設定として適用される濃度調整	○
トナーモード ^{*3}	ファクス/インターネットファクス印刷時に初期設定として適用されるトナーモード	×
送信方法 ^{*1}	ファクス送信時に初期設定として適用される送信方法	○
発信元記録	発信元記録の有効/無効	○
受信元記録	受信元記録の有効/無効	○
ECM ^{*1}	ECMの有効/無効	○
プレビュー表示設定	プレビュー機能の有効/無効	×
初期設定-リング音量 ^{*1}	電話着信時のリング音量レベル	×
初期設定-モニタ音量 ^{*1}	ファクス通信時のモニタ音量レベル	×
初期設定-終了音量 ^{*1}	ファクス通信完了時の終了音量レベル	×
初期設定-受信方法 ^{*1}	ファクスの受信方法	×
初期設定-呼出し回数 ^{*1}	ファクス受信時の呼び出し回数	×
初期設定-リモート受信 ^{*1}	リモート受信の有効/無効	×
初期設定-受信終了音	ファクス受信終了アラーム音の有効/無効	×
初期設定-送信終了音	ファクス送信終了アラーム音の有効/無効	×
初期設定-回線モニタ	ファクス送信時の通信状態モニタ音の有効/無効	×
初期設定-ダイヤルタイプ ^{*1}	回線1のダイヤルタイプ	×
初期設定-ダイヤルタイプ (回線2) ^{*2}	回線2のダイヤルタイプ	×
初期設定-ダイヤルイン ^{*1}	ダイヤルインの有効/無効	×
初期設定-ファクス設定 ^{*1}	ダイヤルイン使用時の本機のファクス番号	×
初期設定-TEL ^{*1}	ダイヤルイン用電話番号	×
初期設定-ナンバーディスプレイ (回線1)	回線1のナンバーディスプレイの使用状況	×
初期設定-ナンバーディスプレイ (回線2) ^{*2}	回線2のナンバーディスプレイの使用状況	×
回線2設定 ^{*2}	回線2設定	×
回線2設定-開始時刻 ^{*2}	回線2の時刻指定使用時の開始時刻	×
回線2設定-終了時刻 ^{*2}	回線2の時刻指定使用時の終了時刻	×
記録モード-切り捨て印刷	切り捨て印刷の有効/無効	×
記録モード-縮小印刷	縮小印刷の有効/無効	×
記録モード-両面印刷 ^{*1}	両面印刷の有効/無効	×
記録モード-縦横交互排紙 ^{*1}	縦横交互排紙の有効/無効	×
復活送信待ち ^{*1}	復活送信の有効/無効	×
復活送信-保持時刻 ^{*1}	復活送信有効時の保持時刻 (時間)	×

リスト項目	説明	ユーザ
ファクス受信転送-エージェント1*1	ファクス受信転送のエージェント	×
ファクス受信転送-エージェント2*1	ファクス受信転送のエージェント	×
ファクス受信転送（回線2）-エージェント1*1	ファクス受信転送（回線2）のエージェント	×
ファクス受信転送（回線2）-エージェント2*1	ファクス受信転送（回線2）のエージェント	×
機密受信-タイマ設定*1	日曜日から土曜日までの各日の、ファクス機密受信モードに入る時刻と同モードを解除する時刻	×
機密受信-機密受信使用*1	ファクス機密受信機能の有効/無効	×
複数宛先送信前確認	複数宛先指定時の送信前確認の有効/無効	○
送信品質改善	送信品質改善の有効/無効	○
受信速度制限（回線1）	回線1の受信速度制限の有効/無効	○
受信速度制限（回線2）	回線2の受信速度制限の有効/無効	○

- *1 FAXユニットが装着されている場合のみ印字されます。
- *2 FAXユニットおよび回線増設ユニットが装着されている場合のみ印字されます。
- *3 Loops LP50 Seriesをお使いの場合にのみ印字されます。

ファイリングボックス

リスト項目	説明	ユーザ
印刷画像モード*1	ファイリングボックス印刷に適用される印刷画質モード	○
トナーモード*2	ファイリングボックス印刷に適用されるトナーモード	×

- *1 カラー機をお使いの場合にのみ印字されます。
- *2 Loops LP50 Seriesをお使いの場合にのみ印字されます。

プリント

リスト項目	説明	ユーザ
USB印刷のカラーモード*1	USB印刷時に初期設定として適用されるカラーモード	○

- *1 カラー機をお使いの場合にのみ印字されます。

ファイル

リスト項目	説明	ユーザ
メンテナンス	メンテナンスの有効/無効	×
保存日数	メンテナンス有効時に適用される保存日数	×

Eメール設定

リスト項目	説明	ユーザ
分割送信サイズ	Eメール送信に適用される分割送信サイズ	×
送信者アドレス	Eメール送信に適用される送信者アドレス	×
送信者名	Eメール送信に適用される送信者名	×
宛先へ付加するドメイン名	宛先入力時にドメイン名を自動的に付加する機能の有効/無効	×
リトライ回数	Eメール送信に適用されるリトライ回数	×
リトライ間隔	Eメール送信に適用されるリトライ間隔	×
Bcc送信アドレス表示	Bccアドレス表示の有効/無効	×
件名変更	Eメール送信に適用される件名変更の有効/無効	×

リスト項目	説明	ユーザ
件名日付設定	Eメール送信に適用される件名への日付時刻付加の有効／無効	×
件名（初期値）	Eメール送信に初期設定として適用される件名	×
URL送信設定-URL送信	URL送信の有効／無効	×
URL送信設定-添付ファイルからURLへの切り替えサイズ	URL送信有効時のファイル添付からURL送信に切り替えるファイルサイズ	×
URL送信設定-ダウンロードファイル保存期間	URL送信有効時のファイル保存期間	×
URL送信設定-期限切れダウンロードファイルの検索間隔	URL送信有効時のファイル保存期間切れを確認する間隔	×
URL送信設定-URLで送信するホスト名のフォーマット	URL送信有効時の送信するホスト名のフォーマット	×

インターネットファクス設定

リスト項目	説明	ユーザ
分割ページサイズ	インターネットファクス送信に適用される分割ページサイズ	×
本文送信	インターネットファクス送信時の本文送信の有効／無効	×
To/Bcc宛先	インターネットファクス送信時の宛先	×
発信元記録	発信元記録の有効／無効	○
受信元記録	受信元記録の有効／無効	○
送信者アドレス	インターネットファクス送信に適用される送信者アドレス	×
送信者名	インターネットファクス送信に適用される送信者名	×
宛先へ付加するドメイン名	宛先入力時にドメイン名を自動的に付加する機能の有効／無効	×
リトライ回数	インターネットファクス送信に適用されるリトライ回数	×
リトライ間隔	インターネットファクス送信に適用されるリトライ間隔	×
インターネットファクス受信転送-エージェント1	インターネットファクス受信転送のエージェント	×
インターネットファクス受信転送-エージェント2	インターネットファクス受信転送のエージェント	×

通信レポート設定

リスト項目	説明	ユーザ
通信管理記録設定-自動印刷	通信管理記録の自動出力の有効／無効	×
通信管理記録設定-送信管理記録	通信管理記録に印字される送信管理記録件数	×
通信管理記録設定-受信管理記録	通信管理記録に印字される受信管理記録件数	×
通信結果表-メモリ送信	メモリ送信通信結果表の印字設定	×
通信結果表-ダイレクト送信	ダイレクト送信通信結果表の印字設定	×
通信結果表-同報送信	同報送信通信結果表の印字設定	×
通信結果表-ポーリング	ポーリング通信結果表の印字設定	×
通信結果表-中継親局結果表	中継親局通信結果表の印字設定	×
通信結果表-中継子局	中継子局通信結果表の印字設定	×
通信結果表-中継孫局	中継孫局通信結果表の印字設定	×

リスト項目	説明	ユーザ
通信受付表-ローカル	本機のメールボックスに文書を保管した際の通信受付表印刷の有無	×
通信受付表-リモート	他のデバイスから本機のメールボックスに文書を保管した際の通信受付表印刷の有無	×
通信受付表-中継子局	他のデバイスから本機のメールボックスに送られてきた文書の中継転送した際の通信受付表印刷の有無	×
出力設定-印刷	通信レポートの出力形式	×
出力設定-ファイル	通信レポートの出力形式	×
出力設定-Eメール	通信レポートの出力形式	×
トナーモード - リスト*1	リスト印刷に適用されるトナーモード	×
トナーモード - レポート*1	レポート印刷に適用されるトナーモード	×
トナーモード - カウンタリスト*1	カウンタリスト印刷に適用されるトナーモード	×

*1 Loops LP50 Seriesをお使いの場合にのみ印字されます。

プリンタ／ファイリングボックス設定

リスト項目	説明	ユーザ
オートカセットチェンジ	オートカセットチェンジの有効／無効	×
異方向用紙の許可	異方向用紙の許可の有効／無効	×
ジョブ強制続行（紙サイズ、紙タイプ違い）	ジョブ強制続行の有効／無効	×
排紙トレイ自動切替（カスケード印刷）	排紙トレイ自動切替の有効／無効	×
ホチキス針無し時の印刷中断	ホチキス切れ時の印刷中断の有効／無効	×
パンチ屑フル時の印刷継続	パンチ屑フル時の印刷継続の有効／無効	×
トナーモード*1	印刷に適用されるトナーモード	×

*1 Loops LP50 Seriesをお使いの場合にのみ印字されます。

有線802.1X設定

リスト項目	説明	ユーザ
802.1X使用	有線802.1X認証の有効／無効	×
EAPメソッド	設定されているEAPメソッド	×

無線LAN設定 *1

リスト項目	説明	ユーザ
無線LAN	無線LANの有効／無効	×

*1 無線LAN/Bluetooth モジュールが装着されている場合のみ印字されます。

BLUETOOTH設定 *1

リスト項目	説明	ユーザ
Bluetooth	Bluetoothの有効／無効	×
Bluetooth名	Bluetooth名	×
デバイスアドレス	Bluetoothアドレス	×
検索の許可	Bluetooth機器からの検索の許可の有効／無効	×
セキュリティ	PINコードによる通信の保護の有効／無効	×
PIN	PINコード	×

リスト項目	説明	ユーザ
データの暗号化	通信の暗号化の有効／無効	×

*1 無線LAN/Bluetooth モジュールが装着されている場合のみ印字されます。

ネットワーク設定 - ネットワーク製品名 - 一般

リスト項目	説明	ユーザ
ETHERNET通信速度 全／半二重設定	送信速度の設定	×

ネットワーク設定 - ネットワーク - TCP/IP

リスト項目	説明	ユーザ
アドレス設定方法	IPアドレスの取得方法	×
ホスト名	本機の名称	×
IPアドレス	本機のIPアドレス	×
サブネットマスク	本機のサブネットアドレス	×
ゲートウェイ	本機のゲートウェイアドレス	×

ネットワーク設定 - ネットワーク - IPv6

リスト項目	説明	ユーザ
IPv6使用	IPv6の有効／無効	×
LLMNR	LLMNR (Linklocal Multicast Name Resolution) プロトコルの有効／無効	×
アドレス設定方法	IPv6アドレスの取得方法	×
リンクローカルアドレス	本機のリンクローカルアドレス	×
IPアドレス	本機のIPv6アドレス	×
プレフィックス長	IPv6アドレスのプレフィックス長	×
ゲートウェイ	本機のゲートウェイアドレス	×
DHCPv6使用 (設定取得)	DHCPv6使用 (設定取得) の有効／無効	×
ステートレス使用IPアドレス取得 (Mフラグ)	ステートレス使用 (IPアドレス取得 Mフラグ) の有効／無効	×
ステートレス使用で設定を取得 (Oフラグ)	ステートレス使用 (設定取得 Oフラグ) の有効／無効	×

リスト項目	説明	ユーザ
IPアドレス1	ルーターから通知された IPv6アドレス プレフィックス長 ゲートウェイ	×
プレフィックス長1		×
ゲートウェイ1		×
IPアドレス2		×
プレフィックス長2		×
ゲートウェイ2		×
IPアドレス3		×
プレフィックス長3		×
ゲートウェイ3		×
IPアドレス4		×
プレフィックス長4		×
ゲートウェイ4		×
IPアドレス5		×
プレフィックス長5		×
ゲートウェイ5		×
IPアドレス6		×
プレフィックス長6		×
ゲートウェイ6		×
IPアドレス7		×
プレフィックス長7		×
ゲートウェイ7		×
ステートフル使用（IPアドレス取得）	ステートフル使用（IPアドレス取得）の有効／無効	×
ステートフル使用（設定取得）	ステートフル使用（設定取得）の有効／無効	×

ネットワーク設定 - ネットワーク - IPX/SPX

リスト項目	説明	ユーザ
IPX/SPX使用	IPX/SPXの有効／無効	×
フレームタイプ	フレームタイプ設定	×

ネットワーク設定 - ネットワーク - APPLE TALK

リスト項目	説明	ユーザ
APPLE TALK使用	AppleTalkの有効／無効	×
デバイス名	本機のAppleTalk名	×
ゾーン名	AppleTalkゾーン名	×

ネットワーク設定 - セッション - LDAPセッション

リスト項目	説明	ユーザ
LDAP使用	LDAPの有効／無効	×
付加情報1	LDAPサーバーの設定に対応するスキーマ名	×
付加情報2	LDAPサーバーの設定に対応するスキーマ名	×
検索方法	LDAP検索時の検索方法	×

ネットワーク設定 - セッション - DNSセッション

リスト項目	説明	ユーザ
DNS使用	DNSの有効／無効	×
プライマリDNSサーバーアドレス	プライマリDNSサーバーのIPアドレス	×
セカンダリDNSサーバーアドレス	セカンダリDNSサーバーのIPアドレス	×
プライマリDNSサーバーアドレス (IPv6)	プライマリDNSサーバーのIPv6アドレス	×
セカンダリDNSサーバーアドレス (IPv6)	セカンダリDNSサーバーのIPv6アドレス	×

ネットワーク設定 - セッション - DDNSセッション

リスト項目	説明	ユーザ
DDNS使用	DDNSの有効／無効	×
ホスト名	本機のホスト名	×
ドメイン名	本機のドメイン名	×
セキュリティ方式	本機のセキュリティ方式	×
プライマリログインネーム	セキュリティ方式でGSS-TSIGを選択した場合のプライマリログインネーム	×
セカンダリログインネーム	セキュリティ方式でGSS-TSIGを選択した場合のセカンダリログインネーム	×

ネットワーク設定 - セッション - SMBセッション

リスト項目	説明	ユーザ
SMBサーバプロトコル	SMBの有効／無効	×
制限	プリント共有／ファイル共有の機能制限の有無	×
NETBIOS名	本機のNetBIOS名	×
ログオン	ログオン設定	×
ワークグループ	本機のワークグループ	×
ドメイン	本機のドメイン名	×
プライマリドメインコントローラ	プライマリドメインコントローラのホスト名またはIPアドレス	×
バックアップドメインコントローラ	バックアップドメインコントローラのホスト名またはIPアドレス	×
デバイス名	本機のドメインデバイス名	×
プライマリWINSサーバーアドレス	プライマリWINSサーバーのIPアドレス	×
セカンダリWINSサーバーアドレス	セカンダリWINSサーバーのIPアドレス	×
SMBクライアントの認証	SMBクライアントの認証方法	×

リスト項目	説明	ユーザ
スーパースリープモード時のホストアナウンスメント送信	スーパースリープモード時のホストアナウンスメント送信の有効/無効	×
SMBサーバのSMB署名	SMBサーバのSMB署名の設定	×
SMBクライアントのSMB署名	SMBクライアントのSMB署名の設定	×

ネットワーク設定 - セッション - NETWAREセッション

リスト項目	説明	ユーザ
バインダリサーバ使用	バインダリモードの有効/無効	×
NDS使用	NDSモードの有効/無効	×
サービスコンテキスト	NDSコンテキスト	×
サービスツリー	NDSツリー	×
優先サーバ	優先サーバ名	×

ネットワーク設定 - セッション - BONJOURセッション

リスト項目	説明	ユーザ
BONJOUR使用	Bonjourの有効/無効	×
LINK-LOCALホスト名	本機のDNS名	×
サービス名	本機のBonjourサービス名	×

ネットワーク設定 - セッション - LLTDセッション

リスト項目	説明	ユーザ
LLTD使用	LLTD (Link Layer Topology Discovery) の有効/無効	×
デバイス名	ネットワークマップに表示されるデバイス名	×

ネットワーク設定 - セッション - SLPセッション

リスト項目	説明	ユーザ
SLP使用	SLP (Service Location Protocol) の有効/無効	×
TTL	サービスを提供するネットワークの範囲TTL (Time To Live)	×
スコープ	サービスを提供するグループを指定するためのスコープ	×

ネットワーク設定 - ネットワークサービス - HTTPネットワークサービス

リスト項目	説明	ユーザ
HTTPサーバ使用	本機HTTPサーバの有効/無効	×
プライマリポート番号	HTTPネットワークサービスのプライマリポート番号	×
セカンダリポート番号	HTTPネットワークサービスのセカンダリポート番号	×
SSL使用	HTTP SSLの有効/無効	×
SSLポート番号	HTTP SSLのポート番号	×

ネットワーク設定 - ネットワークサービス - SMTPクライアントネットワークサービス

リスト項目	説明	ユーザ
SMTPクライアント使用	SMTPクライアント機能の有効/無効	×
認証	SMTP認証の有効/無効	×
POP BEFORE SMTP	POP Before SMTP機能の有効/無効	×
SMTPサーバアドレス	SMTPサーバのIPアドレス	×
ログイン名	SMTP認証に使用するログイン名	×
ポート番号	EメールやインターネットファクスをSMTPサーバに送る際に使用するポート番号	×
SSL使用	SMTP SSLの有効/無効	×
SSL/TLS	SSLに使用されるプロトコル	×

ネットワーク設定 - ネットワークサービス - SMTPサーバネットワークサービス

リスト項目	説明	ユーザ
SMTPサーバ使用	SMTPサーバ機能の有効/無効	×
ポート番号	本機がSMTP受信する際に使用するポート番号	×
Eメール転送使用	オフランプゲートウェイの有効/無効	×
オフランプセキュリティ	オフランプセキュリティの有効/無効	×
オフランプ印刷	オフランプ印刷の有効/無効	×
Eメールアドレス	SMTPサーバ機能が有効の場合に適用する本機のEメールアドレス	×

ネットワーク設定 - ネットワークサービス - IPセキュリティ

リスト項目	説明	ユーザ
IPセキュリティ使用	IPセキュリティ機能の有効/無効	×
ポリシー名	IPセキュリティに使用するポリシー	×

ネットワーク設定 - ネットワークサービス - POP3ネットワークサービス

リスト項目	説明	ユーザ
POP3クライアント使用	POP3クライアント機能の有効/無効	×
POP3サーバアドレス	POP3サーバのホスト名またはIPアドレス	×
認証	POP3認証の有効/無効	×
ログインタイプ	POP3ログインタイプ	×
アカウント名	本機用Eメールアカウントのアカウント名	×
ポーリングレート	POP3サーバに新着メッセージを確認する間隔(分)	×
ポート番号	POP3サーバにアクセスする際に使用するポート番号	×
SSL使用	POP3 SSLの有効/無効	×
SSLポート番号	POP3 SSLのポート番号	×

ネットワーク設定 - ネットワークサービス - FTPクライアントネットワークサービス

リスト項目	説明	ユーザ
SSL設定	FTP SSLの設定	×
ポート番号 (初期値)	本機からFTPサーバーにアクセスする際に初期設定として使用するポート番号	×

ネットワーク設定 - ネットワークサービス - FTPサーバーネットワークサービス

リスト項目	説明	ユーザ
FTPサーバー使用	FTPサーバー機能の有効/無効	×
ポート番号 (初期値)	本機でFTPを使用してデータを受信する際に初期設定として使用するポート番号	×
SSL使用	FTP SSLの有効/無効	×
SSLポート番号	FTP SSLのポート番号	×

ネットワーク設定 - ネットワークサービス - WEB SERVICES設定

リスト項目	説明	ユーザ
SSL使用	Web Service SSLの有効/無効	×
フレンドリーネーム (表示名)	本機の表示名	×
WEB SERVICEプリント	Web Serviceプリントの有効/無効	×
プリンタ名	本機のプリンタ名	×
プリンタ情報	本機のプリンタ情報	×
WEB SERVICEスキャン	Web Serviceスキャンの有効/無効	×
スキャナ名	本機のスキャナ名	×
スキャナ情報	本機のスキャナ情報	×
PCからのスキャンでの認証	ジョブを受け付ける際の認証設定	×
Syslog使用	syslog送信の有効/無効	×
サーバー IPアドレス	syslogサーバのIPアドレス	×
ポート番号	syslogサーバが使用するポート番号	×
プロトコル	通信プロトコル	×
SSL使用	SSLの使用	×
ログの重要度	ログの重要度	×
ログの種類	ログの種類	×

ネットワーク設定 - ネットワークサービス - SYSLOG設定

リスト項目	説明	ユーザ
Syslog使用	syslog送信の有効/無効	×
サーバー IPアドレス	syslogサーバのIPアドレス	×
ポート番号	syslogサーバが使用するポート番号	×
プロトコル	通信プロトコル	×
SSL使用	SSLの使用	×
ログの重要度	ログの重要度	×
ログの種類	ログの種類	×

ネットワーク設定 - ネットワークサービス - SNMPネットワークサービス

リスト項目	説明	ユーザ
SNMP使用	SNMPの有効/無効	×
リードコミュニティ	リードコミュニティ名	×
SNMP V3使用	SNMP V3の有効/無効	×
SNMP V3トラップ使用	SNMP V3トラップの有効/無効	×
認証トラップ使用	認証トラップの有効/無効	×
警告トラップ使用	警告トラップの有効/無効	×
トラップ送信先1	トラップ送信先のIPアドレス（最大10先まで）	×
IPトラップコミュニティ	IPトラップコミュニティ名	×
IPXトラップアドレス	IPXトラップアドレス	×

ネットワーク設定 - ネットワークサービス - SNTP設定

リスト項目	説明	ユーザ
SNTP使用	SNTPの有効/無効	×
プライマリSNTPアドレス	プライマリSNTPサーバーのホスト名またはIPアドレス	×
セカンダリSNTPアドレス	セカンダリSNTPサーバーのホスト名またはIPアドレス	×
ポート番号	SNTPのポート番号	×
ポーリングレート	SNTPサーバーに時間設定を確認する間隔（時間）	×
NTP認証	NTP認証の有効/無効	×

ネットワーク設定 - ネットワークサービス - TELNETサービス

リスト項目	説明	ユーザ
TELNET使用	TELNETサービスの有効/無効	×
ポート番号	TELNETサービスのポート番号	×
ユーザ名	TELNETサービスユーザ名	×

ネットワーク設定 - ネットワークサービス - フィルタリング

リスト項目	説明	ユーザ
IPフィルタリング使用	IPフィルタリングの有効/無効	×
MACアドレスフィルタリング使用	MACアドレスフィルタリングの有効/無効	×

ネットワーク設定 - プリントサービス設定 - RAW TCP印刷

リスト項目	説明	ユーザ
RAW TCP印刷使用	Raw TCP印刷の有効/無効	×
ポート番号	Raw TCP印刷のポート番号	×

ネットワーク設定 - プリントサービス設定 - LPD印刷

リスト項目	説明	ユーザ
LPD印刷使用	LPD印刷の有効/無効	×
ポート番号	LPD印刷のポート番号	×
LPDバナー	バナーページ印刷の有効/無効	×

ネットワーク設定 - プリントサービス設定 - IPP印刷

リスト項目	説明	ユーザ
IPP印刷使用	IPP印刷の有効／無効	×
IPPポート80使用	ポート80を使用したIPP印刷の有効／無効	×
ポート番号	IPP印刷のポート番号	×
URL	IPP印刷用のURL	×
認証	IPP印刷時の認証の有効／無効	×
ユーザ名	認証に使用するユーザ名	×
SSL使用	IPP SSLの有効／無効	×
SSLポート番号	IPP SSLのポート番号	×
SSL URL	SSLを使用したIPP印刷用のURL	×

ネットワーク設定 - プリントサービス設定 - FTP印刷

リスト項目	説明	ユーザ
FTP印刷使用	FTP印刷の有効／無効	×
ユーザ名	FTP印刷のユーザ名	×
パスワード	FTP印刷のパスワード	×

ネットワーク設定 - プリントサービス設定 - NETWARE印刷

リスト項目	説明	ユーザ
プリントサーバー名	本機のプリントサーバー名	×
パスワード	NetWareファイルサーバーのパスワード	×
印刷キューポーリングレート	NetWareファイルサーバーからの印刷ジョブの取得間隔(秒)	×

ネットワーク設定 - プリントサービス設定 - Eメール印刷

リスト項目	説明	ユーザ
ヘッダ印刷	Eメールヘッダの印刷の有無	×
本文印刷	Eメール本文の印刷の有無	×
Eメール本文最大印刷枚数	Eメール本文の最大印刷枚数	×
エラーメッセージの出力	エラーメッセージ印刷の有効／無効	×
エラーメール転送をする	エラーメール転送の有効／無効	×
エラーメールの転送先アドレス	エラーメールが転送されるEメールアドレス	×
分割受信	分割受信したEメール印刷の有効／無効	×
分割受信待ち時間	分割受信したEメールを印刷する場合に印刷を開始する前に次の分割メッセージが届くまで待つ時間(分)	×
MDNリプライ	MDNリプライの有効／無効	×

ネットワーク設定 - プリントサービス設定 - USBケーブル印刷

リスト項目	説明	ユーザ
USBケーブル印刷モード	USBケーブル印刷のモード	×

ネットワーク設定 - プリントサービス設定 - MULTI STATION印刷 *1

リスト項目	説明	ユーザ
マルチステーション印刷有効	マルチステーション印刷の有効/無効	×
文書保持時間	文書の保持時間	×
表示ジョブ数	表示するジョブの数	×
表示順	表示の順序	×
印刷順	印刷の順序	×
再印刷有効	再印刷の有効/無効	×
連携MFP1~10	連携するMFP1~10	×

*1 マルチステーション印刷オプションがインストールされている場合のみ印字されます。

プリンタデータコンバータ

リスト項目	説明	ユーザ
プリンタデータコンバータ使用	プリンタデータコンバータの有効/無効	×

OFF DEVICE CUSTOMIZATION ARCHITECTURE

リスト項目	説明	ユーザ
ポート使用	ポートの有効/無効	×
ポート番号	ポート番号	×
SSL使用	SSLの有効/無効	×
SSLポート番号	SSLポート番号	×
セッションタイムアウト	外部環境との接続状態を継続する時間	×

セキュリティ設定 - 認証 - 部門設定

リスト項目	説明	ユーザ
部門コード使用	部門コード管理の有効/無効	×
部門コード (コピー)	部門管理 (コピー) の有効/無効	×
部門コード (ファクス)	部門管理 (ファクス) の有効/無効	×
部門コード (プリント)	部門管理 (プリント) の有効/無効	×
部門コード (スキャン)	部門管理 (スキャン) の有効/無効	×
部門コード (リスト)	部門管理 (リスト) の有効/無効	×
部門コード (設定/登録)	部門コード (設定/登録) の有効/無効	×
部門コード (EWB)	部門管理 (EWB) の有効/無効	×
ユーザ登録時に部門コード入力を 必須にする	ユーザ登録時の部門コード入力の有無	×
不正な部門コードの印刷ジョブ	不正な印刷ジョブの取り扱い	×

セキュリティ設定 - 認証 - ユーザ認証設定

リスト項目	説明	ユーザ
ユーザ認証使用	ユーザ認証の有効/無効	×
機能別ユーザ認証設定	機能別ユーザ認証の有効/無効	×
ユーザ認証設定 (コピー)	ユーザ認証設定 (コピー) の有効/無効	×
ユーザ認証設定 (ファクス)	ユーザ認証設定 (ファクス) の有効/無効	×
ユーザ認証設定 (プリント)	ユーザ認証設定 (プリント) の有効/無効	×
ユーザ認証設定 (スキャン)	ユーザ認証設定 (スキャン) の有効/無効	×
ユーザ認証設定 (リスト)	ユーザ認証設定 (リスト) の有効/無効	×
ユーザ認証設定 (設定/登録)	ユーザ認証設定 (設定/登録) の有効/無効	×
ユーザ認証設定 (EWB)	ユーザ認証設定 (EWB) の有効/無効	×
管理者の認証方法	管理者の認証方法	×
認証失敗時の印刷ジョブ	認証失敗時の印刷ジョブの取り扱い	×
ログオン時の自動リリース	ログオン時の自動リリースの有効/無効	×
プロジェクト管理	プロジェクト管理の有効/無効	×
印刷ジョブ (プロジェクトコードを持たない)	プロジェクト管理有効時のプロジェクトコードなしの印刷ジョブの処理	×
ゲストユーザを有効にする	ゲストユーザによる操作の許可/不許可	×
認証方法	ユーザ認証方法	×

セキュリティ設定 - 認証 - Eメール送信のユーザ認証設定

リスト項目	説明	ユーザ
Eメール送信のユーザ認証	Eメール送信のユーザ認証の有効/無効	×

セキュリティ設定 - 認証 - Eメールアドレス設定

リスト項目	説明	ユーザ
送信者アドレス設定	送信者アドレスの設定	×
送信者名	送信者名の設定	×
Eメール宛先制限設定	Eメール宛先制限設定の有効/無効	×

セキュリティ設定 - 認証 - シングルサインオン設定

リスト項目	説明	ユーザ
Eメール送信のシングルサインオン	Eメール送信時のシングルサインオンの有効/無効	×

セキュリティ設定 - 認証 - ホームディレクトリ設定

リスト項目	説明	ユーザ
ホームディレクトリ使用	ホームディレクトリの有効/無効	×
ホームディレクトリサーバー	使用するホームディレクトリサーバー	×

セキュリティ設定 - 認証 - 共有ユーザ管理設定

リスト項目	説明	ユーザ
ユーザ管理情報同期	ユーザ管理情報同期の有効／無効	×
接続タイムアウト	接続タイムアウト	×

セキュリティ設定 - 証明書管理

リスト項目	説明	ユーザ
デバイス証明書	デバイス証明書の種類	×

セキュリティ設定 - パスワードポリシー - ユーザパスワードポリシー

リスト項目	説明	ユーザ
パスワード最小桁数	許可するパスワード最小桁数	×
文字列の制限	使用禁止の文字列の有無	×
ロックアウト設定	ロックアウト機能の有効／無効	×
リトライ回数	許可するパスワード入力リトライ回数	×
ロックアウト時間	ロックアウト時間（分）	×
有効期間設定	パスワードの有効期間設定の有無	×
有効期間	パスワードの有効期間（日）	×

セキュリティ設定 - パスワードポリシー - 管理者、監査者パスワードポリシー

リスト項目	説明	ユーザ
パスワード最小桁数	許可するパスワード最小桁数	×
文字列の制限	使用禁止の文字列の有無	×
ロックアウト設定	ロックアウト機能の有効／無効	×
リトライ回数	許可するパスワード入力リトライ回数	×
ロックアウト時間	ロックアウト時間（分）	×
有効期間設定	パスワードの有効期間設定の有無	×
有効期間	パスワードの有効期間（日）	×

セキュリティ設定 - パスワードポリシー - ファイリングボックス、テンプレートグループ、テンプレート、暗号化PDF、SNMP v3、クローニング、機密受信-パスワードポリシー

リスト項目	説明	ユーザ
パスワード最小桁数	許可するパスワード最小桁数	×
文字列の制限	使用禁止の文字列の有無	×
ロックアウト設定	ロックアウト機能の有効／無効	×
リトライ回数	許可するパスワード入力リトライ回数	×
ロックアウト時間	ロックアウト時間（分）	×

セキュリティ設定 - セキュリティスタンプ

リスト項目	説明	ユーザ
プリント - コピー	コピージョブへの付加	×
プリント - プリンタ	印刷ジョブへの付加	×
プリント - ファイリングボックス	ファイリングボックスへの付加	×
ファクス - 送信	ファクス送信ジョブへの付加	×
オプション - 日付と時間	日付と時間の付加	×
オプション - カードID	カードIDの付加	×
オプション - ユーザ名	ユーザ名の付加	×
オプション - ジョブID	ジョブIDの付加	×
オプション - シリアル番号	シリアル番号の付加	×
オプション - 部門管理レポート	部門名称レポートの付加	×
オプション - 任意の文字	任意の文字の付加	×

アドレス帳

リスト項目	説明	ユーザ
共通設定 - 共通アドレス帳	共通アドレス帳の有効/無効	×
共通設定 - 接続タイムアウト	接続タイムアウト	×
プライマリMFP設定 - セカンダリMFP1~10	セカンダリMFP1~10	×

データバックアップ設定

リスト項目	説明	ユーザ
データバックアップ	データバックアップの有効/無効	×
データバックアップに外部サーバーを使用	外部サーバー使用の有効/無効	×
データ自動バックアップ周期	自動バックアップの有効/無効/周期設定	×
データ自動バックアップ周期 - 曜日	自動バックアップの曜日設定	×
データ自動バックアップ周期 - 時間	自動バックアップの時間設定	×

区点コード表

以下の表に記載されているコードが本機で使用できる区点コードです。
文字入力画面で「区点コード」を押すと「？」が入力されますので、続いて目的の文字の区点コードを入力してください。
区点コードは、表の左行と横列の番号を組み合わせた桁の番号から成ります。

例) 院：[区点コード] を押し「1701」と入力して、[変換] を押す。

記号	4桁目										
	1~3桁目	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9
010			?
011	!	!	!	!	!	!	!	!	!	!	!
012	∨	∨	∨	//	全	々	メ	○	一	一	一
013	-	/	\	~			'	'	'
014	"	"	()	[]	[]	{	}	}
015	<	>	<	>	「	」	「	」	【	】	】
016	+	-	±	×	÷	=	≠	<	>	≤	≤
017	≧	∞	∴	♂	♀	°	'	"	℃	¥	¥
018	\$	¢	£	%	#	&	*	@	S	☆	☆
019	★	○	●	◎	◇	△	▽	▼	※	〒	〒
020	◆	□	■	◊	▲	▽	▼	※	〒	〒	〒
021	→	←	↑	↓	≡						
031							0	1	2	3	3
032	4	5	6	7	8	9					
033				A	B	C	D	E	F	G	G
034	H	I	J	K	L	M	N	O	P	Q	Q
035	R	S	T	U	V	W	X	Y	Z		
036						a	b	c	d	e	e
037	f	g	h	i	j	k	l	m	n	o	o
038	p	q	r	s	t	u	v	w	x	y	y
039	z										
040		あ	あ	い	い	う	う	え	え	お	お
041	お	か	が	き	ぎ	く	く	け	げ	こ	こ
042	ご	さ	ざ	し	じ	す	す	せ	ぜ	そ	そ
043	ぞ	た	だ	ち	ぢ	っ	っ	づ	て	で	で
044	と	ど	な	に	ぬ	ね	の	は	ば	ぼ	ぼ
045	ひ	び	み	ふ	む	ぶ	め	へ	べ	べ	べ
046	ほ	ぼ	み	む	ぶ	め	へ	も	や	ゆ	ゆ
047	ゆ	よ	よ	ら	り	る	れ	ろ	わ	わ	わ
048	ぬ	ぬ	を	ん							
050		ア	ア	イ	イ	ウ	ウ	エ	エ	オ	オ
051	オ	カ	ガ	キ	ギ	ク	グ	ケ	ゲ	コ	コ
052	ゴ	サ	ザ	シ	ジ	ス	ズ	セ	ゼ	ソ	ソ
053	ゾ	タ	ダ	チ	ヂ	ッ	ツ	テ	テ	デ	デ
054	ト	ド	ナ	ニ	ヌ	ネ	ノ	ハ	バ	パ	パ
055	ヒ	ビ	ピ	フ	ブ	ブ	ヘ	ベ	ペ	ポ	ポ
056	ボ	ボ	マ	ミ	ム	メ	モ	ヤ	ヤ	ユ	ユ
057	ユ	ヨ	ヨ	ラ	リ	ル	レ	ロ	ワ	ワ	ワ
058	キ	エ	エ	ン	リ	カ	ケ				
060		A	B	Γ	Δ	E	Z	H	Θ	I	I
061	K	Λ	M	N	Ξ	O	Π	P	Σ	T	T
062	Y	Φ	X	Ψ	Ω						
063				α	β	γ	δ	ε	ζ	η	η
064	θ	ι	κ	λ	μ	ν	ξ	ο	π	ρ	ρ
065	σ	τ	υ	φ	χ	ψ	ω				
070		A	B	B	Γ	Д	E	Ё	Ж	З	З
071	И	Й	K	Л	M	H	O	П	P	C	C
072	T	У	Ф	X	Ц	Ч	Ш	Щ	Ъ	Ы	Ы
073	Ь	Э	Ю	Я							
074										a	a
075	б	в	г	д	e	ё	ж	з	и	й	й
076	к	л	м	н	о	п	р	с	т	у	у
077	ф	х	ц	ч	ш	щ	ъ	ы	ь	э	э
078	ю	я									
160		亜	唾	娃	阿	哀	愛	挨	始	達	達
161	葵	茜	穉	惡	握	渥	旭	葦	芦	綾	綾
162	梓	庄	幹	扱	宛	姐	虻	飴	絢	闇	闇
163	鮎	或	粟	拾	安	庵	按	暗	案		
164	鞍	杏									
166			以	伊	位	依	偉	囧	夷	委	委
165	威	尉	惟	意	慰	易	椅	為	畏	異	異
166	移	維	緯	胃	萎	衣	謂	違	遺	医	医
167	井	亥	域	育	郁	磯	一	壹	溢	逸	逸

記号	4桁目										
	1~3桁目	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9
168	稻	茨	芋	鱒	允	印	咽	員	因	姻	姻
169	引	飲	淫	胤	蔭						
170		院	陰	隱	韻	吋					
171	迂	雨	卯	鵝	窺	丑	右	宇	烏	羽	羽
172	唄	爵	爵	鰻	姥	廐	確	白	烏	鳩	鳩
173	云	運	雲				浦	瓜	潤	嚙	嚙
174	曳	栄	永	泳	洩	瑛	盈	穎	穎	映	映
175	衛	詠	液	疫	益	馭	馭	悅	調	越	越
176	閱	榎	圓	園	堰	燿	燿	宴	詭	怨	怨
177	掩	援	沿	演	炎	焔	燿	燿	猿	猿	猿
178	艶	苑	園	遠	鉛	鴛	塩				
179	凹	央	奥	往	応				於	汚	甥
180		押	旺	横	欧	毳	王	翁	襖	鶯	鶯
181	鷗	黄	岡	冲	茨	億	屋	憶	臆	桶	桶
182	牡	乙	俺	卸	恩	温	稔	音			
183	仮	何	伽	価	佳	加	可	嘉	夏	塚	塚
184	家	寡	科	暇	果	架	歌	河	火	珂	珂
185	禍	禾	稼	箇	花	苛	茹	荷	華	菓	菓
186	蝦	課	嘩	貨	迦	過	霞	蚊	俄	蛾	蛾
187	我	牙	画	臥	芽	蛾	賀	雅	餓	駕	駕
188	介	会	解	回	塊	壞	廻	快	怪	悔	悔
189	恢	懷	戒	拐	改						
190		魁	晦	械	海	灰	界	皆	繪	芥	芥
191	蟹	開	階	貝	凱	効	外	咳	害	崖	崖
192	慨	概	涯	碍	蓋	街	該	錯	骸	淫	淫
193	馨	蛙	垣	柿	妨	鈎	劃	嚇	各	廓	廓
194	拡	攪	格	核	穀	獲	確	穫	覺	角	角
195	赫	較	郭	閣	隔	革	確	岳	樂	額	額
196	穎	頸	筮	攄	櫃	鯁	鯁	淵	劇	喝	喝
197	恰	括	活	渴	滑	葛	褐	轄	且	鏗	鏗
198	叶	栴	樺	鞞	株	兜	電	蒲	釜	鎌	鎌
199	嘘	鴨	栢	茅	萱						
200		粥	刈	苻	瓦	乾	侃	冠	寒	刊	刊
201	勘	勸	卷	喚	堰	姦	完	官	寬	干	干
202	幹	患	感	慣	憾	換	敢	柑	桓	棺	棺
203	款	歛	汗	漢	澗	淮	環	甘	監	看	看
204	竿	管	簡	緩	缶	翰	肝	艦	莞	覲	覲
205	諫	貫	還	鑑	間	閑	閑	陷	韓	館	館
206	舘	丸	含	岸	巖	玩	癌	眼	岩	斷	斷
207	贖	雁	頑	顏							
208	基	奇	嬉	寄	岐	希	伎	危	喜	器	器
209	旗	既	期	棄	棄	汽	幾	忌	揮	机	机
210		機	婦	毅	氣	起	畿	祈	季	稀	稀
211	紀	徽	規	儀	妓	宜	戲	技	擬	欺	欺
212	鬼	龜	偽	儀	妓	宜	戲	技	擬	欺	欺
213	犧	疑	祇	義	蟻	誼	議	掬	菊	鞠	鞠
214	吉	吃	喫	桔	橘	詰	砧	杵	黍	却	却
215	客	脚	虐	逆	丘	久	仇	休	及	吸	吸
216	宮	弓	急	救	朽	求	汲	泣	灸	球	球
217	究	窮	笈	糾	糾	給	汙	牛	距	居	居
218	巨	拒	拋	拳	渠	虛					
219	禦	魚	亨	享	京						
220		供	俠	僑	兇	競	共	凶	協	匡	匡
221	卿	叫	喬	境	峽	強	矯	怯	恐	恭	恭
222	挾	教	喬	況	狹	狹	矯	胸	髡	興	興
223	騫	鄉	鏡	響	響	驚	仰	凝	髡	曉	曉
224	業	局	曲	極	玉	桐	秆	僅	勤	均	均
225	巾	錦	斤	欣	欽	琴	禁	禽	筋	緊	緊

	1～3 桁目	4桁目									
		0	1	2	3	4	5	6	7	8	9
く	226	芹	菌	衿	襟	謹	近	金	吟	銀	九
	227	俱	句	区	狗	玖	矩	苦	軀	駟	駟
	228	駒	具	愚	虞	喰	空	偶	寓	遇	隅
	229	串	櫛	釧	屑	屈					
	230		掘	窟	沓	靴	轡	蓬	熊	隈	桑
	231	栗	部	線	桑	歛	君				軍
	232										
	233		卦	袈	祢	係	傾	刑	兄	啓	圭
234	珪	型	契	形	徑	惠	慶	慧	憩	揭	
235	携	敬	景	桂	溪	畦	稽	系	絳	繼	
236	繫	野	葦	荊	蚩	計	詣	警	輕	頰	
237	鶉	芸	迎	鯨	劇	戟	擊	激	隙	桁	
238	傑	欠	決	潔	穴	結	血	訣	月	件	
239	俟	倦	健	兼	券	劍	喧	圈	堅	嫌	
240	建	憲	懸	拳	捲						
241		檢	權	牽	犬	獻	研	硯	絹	梟	
242	肩	見	謙	賢	軒	遣	鍵	陰	頭	駿	
243	骸	元	原	廠	幻	弦	減	源	玄	現	
243	絃	絃	言	諺	限						
こ	243					乎	個	古	呼	固	
	244	姑	孤	己	庫	弧	戸	故	枯	狐	
	245	糊	袴	股	胡	孤	虎	誇	跨	鉆	
	246	顧	鼓	互	伍	午	吳	吾	晉	娛	
	247	御	悟	梧	檣	伍	吳	語	誤	護	
	248	乞	鯉	交	佼	侯	候	倅	光	公	
	249	効	勾	厚	口	向					
	250		后	喉	坑	垢	好	孔	孝	宏	
	251	巧	巷	幸	広	庚	康	弘	恒	慌	
	252	拘	控	控	昂	庚	更	杭	校	梗	
	253	江	洪	浩	港	溝	甲	皇	硬	稿	
	254	紅	紘	絞	綱	耕	考	肯	肱	腔	
	255	航	荒	行	衡	講	貢	購	郊	酵	
	256	砒	鋼	閤	降	項	香	高	鴻	剛	
	257	号	合	壕	拷	濠	豪	轟	翹	克	
	258	告	國	鞞	酷	黠	黑	獄	漉	腰	
259	忽	惚	骨	拍	込						
260		此	頃	今	困	坤	壘	婚	恨		
261	昏	昆	根	梱	混	痕	紺	良	魄		
さ	261									些	
	262	佐	又	峻	嵯	左	差	查	沙	磋	
	263	詐	鎖	婆	坐	座	挫	債	催	再	
	264	哉	塞	妻	宰	彩	才	採	栽	歲	
	265	災	采	犀	碎	砦	祭	齋	細	菜	
	266	載	際	劑	在	材	罪	財	冴	坂	
	267	堺	紳	看	咲	崎	埼	碕	牙	作	
	268	昨	搾	昨	朔	峭	窄	策	筵	索	
	269	鮭	笹	匙	冊	刷					
	270		察	拶	撮	擦	札	殺	薩	雜	
し	271	鯖	捌	鑄	鮫	晒	傘	傘	參	山	
	272	慘	撤	散	棧	燦	珊	産	算	蚕	
	273	讚	贊	酸	餐	暫					
	274								仕	仔	
	275	使	刺	司	史	嗣	四	士	始	姊	
	276	子	屍	市	師	志	思	指	支	孜	
	277	施	旨	枝	止	死	氏	獅	社	私	
	278	紙	諮	資	脂	至	視	詞	詩	似	
	279	字		寺	慈	持					
280		次	滋	治	爾	璽	痔	磁	示		
281	耳	自	時	辭	夕	鹿	式	識	鳴		
282	軸	穴	疾	七	叱	執	矢	嫉	室		
283	湿	漆	痺	質	寫	射	捨	赦	斜		
284	屢	蕊	編	舍	寫	蛇	借	邪	借		
285	社	紗	者	謝	車	遮	蛇	邪	借		
286	尺	杓	灼	爵	酌	積	錫	若	寂		
287	惹	主	趣	酒	首	受	祝	祝	壽		
288	腫	趣	酒	首	収						
289	綬	需	囚	収	周						

	1～3 桁目	4桁目								
		0	1	2	3	4	5	6	7	8
す	290	宗	就	州	修	愁	拾	洲	秀	秋
	291	終	繡	習	舟	蒐	衆	充	讖	十
	292	輓	遇	酋	臯	集	隴	什	讐	讐
	293	從	戎	柔	汁	洪	獸	縱	重	統
	294	夙	宿	淑	祝	縮	肅	塾	熟	術
	295	述	俊	峻	春	瞬	峻	舜	駿	出
	296	旬	楯	殉	淳	準	潤	盾	純	准
	297	醇	順	処	初	諸	暑	曙	渚	巡
	298	署	書	署	諸	諸	助	叙	女	序
	299	恕	鋤	除	傷	償				
	300		勝	匠	升	召	哨	商	唱	嘗
	301	妾	娼	宵	將	少	尚	庄	昌	嘗
	302	彰	承	抄	招	小	捷	昇	昌	昭
	303	松	梢	樟	樵	沼	消	昇	湘	昭
	304	照	症	省	硝	礁	祥	称	章	笑
305	紹	肖	苜	蔣	蕉	衝	裳	訟	証	
306	詳	象	賞	響	鉦	鐘	鐘	障	鞞	
307	丈	丞	乘	冗	淨	城	場	壤	嬢	
308	情	擾	条	杖	刺	狀	量	穰	蒸	
309	釀	錠	囁	壇	飾					
310		拭	植	殖	燭	織	職	色	觸	
311	蝕	辱	尻	伸	信	侵	唇	娠	寢	
312	心	慎	振	新	晉	森	榛	浸	深	
313	疹	真	神	秦	紳	臣	仁	薪	親	
314	身	辛	進	針	震	人	仁	刃	親	
315	尋	甚	盡	腎	訊	迅	陣	鞞	王	
せ	315								筍	諏
	316	須	詐	囃	厨	逗	吹	垂	帥	推
	317	炊	睡	粹	翠	哀	遂	醉	錐	水
	318	瑞	髓	崇	高	衰	樞	趨	錐	隨
	319	楯	管	願	雀	裾				杉
	320			澄	摺	寸				
	320					世	瀨	畝	是	凄
そ	321	勢	姓	征	性	成	政	整	星	制
	322	栖	正	清	性	生	盛	聲	聖	晴
	323	西	誠	誓	請	逝	醒	青	靜	齊
	324	脆	隻	席	惜	戚	斥	昔	析	積
	325	籍	績	脊	責	赤	跡	蹟	碩	切
	326	接	撰	折	設	窃	節	說	雪	絶
	327	蟬	仙	先	干	占	宣	專	尖	川
	328	扇	撰	旋	穿	占	淺	洗	染	煎
	329			織	羨	腺	舛	船	薦	詮
	330			織	羨	腺	舛	船	薦	詮
た	331	選	遷	錢	銑	閃	鮮	善	漸	踐
	332	全	禪	繕	膳	糧				然
	332					贈	贈	側	則	即
	333	曾	楚	狙	疏	疎	礎	祖	祖	措
	334	組	蘇	訴	阻	遯	鼠	僧	創	粗
	335	倉	喪	壯	奏	爽	宋	層	匠	想
	336	搜	掃	挿	搔	採	早	曹	巢	槍
	337	漕	燥	争	瘦	瘡	窓	糟	総	綜
	338	草	葬	莊	藻	藻	裝	走	送	遭
	339	霜	騷	像	增	憎				
	340		臟	藏	贈	造	促	側	則	即
	341	捉	束	測	足	速	俗	屬	賊	族
	342	卒	袖	其	揃	存	孫	尊	損	村
	343	他	柁	多	汰	陀	唾	墮	堆	情
	344		岱	帶	待	怠	態	戴	替	滯
345		腿	苔	袋	貸	退	逮	隊	黛	
346		台	大	第	醒	題	鷹	瀧	卓	
347		宅	托	扞	拓	濯	濯	隴	託	
348		諾	叩	但	達	奪	脫	異	豎	
349		棚	谷	狸	鱈	樽	誰	丹	嘆	
350		担	探	旦	歎	澁	炭	短	端	
351		綻	耽	胆	蛋	誕	団	壇	彈	
352		暖	檀	段	男	談				

1~3 桁目	4桁目										
	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	
ち	354					値	知	地	弛	馳	築
	355	智	池	痴	稚	置	致	窈	遲	地	馳
	356	畜	竹	筑	蓄	逐	秩	窈	遲	地	馳
	357	中	仲	宙	忠	抽	昼	柱	注	虫	衷
	358	註	耐	鑄	駐	樽	瀦	猪	芋	著	貯
	359	丁	兆	洞	喋	龍					
	360		帖	帳	疔	弔	張	彫	微	懲	挑
	361	暢	朝	潮	牒	町	眺	聰	脹	腸	蝶
	362	調	諜	超	跳	銚	長	頂	鳥	勅	抄
	363	直	朕	沈	珍	賃	鎮	陳			
つ	363							津	墜	椎	
	364	槌	追	鎚	痛	通	塚	柵	楓	佃	
	365	漬	柘	辻	薦	綴	鈔	漬	坪	壘	
	366	嬌	紬	瓜	吊	釣	鶴				
て	366						亨	低	停	偵	
	367	剃	貞	呈	堤	定	帝	底	庭	廷	弟
	368	悌	抵	挺	提	梯	汀	碇	禎	程	締
	369	艇	訂	鄭	蹄	鼎					
	370		邸	鄭	釘	通	泥	摘	擢	敵	滴
	371	的	笛	適	鎬	溺	哲	徹	撤	鞞	迭
	372	鉄	典	填	天	展	店	添	纏	甜	貼
	373	転	顛	点	伝	殿	澱	田	電		
と	373							兎	登	吐	
	374	堵	塗	妬	屠	徒	斗	杜	渡	菟	菟
	375	賭	途	都	鍍	砥	砺	努	度	土	奴
	376	怒	倒	党	冬	凍	刀	唐	塔	塘	套
	377	宕	島	嶋	悼	投	搭	東	桃	棹	棟
	378	盜	淘	湯	涛	灯	燈	当	痘	禱	等
	379	答	筒	糖	統	到	討				
	380		董	董	藤	鬪	働	豆	踏	逃	透
	381	鎧	陶	頭	騰	鬪	働	動	同	堂	導
	382	懂	撞	洞	瞳	童	胴	苟	道	銅	峠
	383	鴛	匿	得	德	流	特	督	禿	篤	毒
	384	独	読	析	椽	凸	突	椽	屈	鳶	苦
	385	寅	酉	静	噸	屯	惇	敦	沌	豚	遁
	386	頓	呑	墨							
な	386					奈	那	内	乍	凧	薙
	387	謎	灘	捺	鍋	槽	馴	繩	罨	南	楠
	388	軟	難	汝							
に	388				二	尼	弑	迓	匂	賑	肉
	389	虹	廿	日	乳	入	妊	忍	認		
	390		如	尿	菲	任	妊	忍	認		
ぬねの	390									濡	襦
	391	衤	寧	葱	猫	熱	年	念	捻	撚	燃
	392	粘	乃	迺	之	莖	囊	惱	濃	納	能
	393	腦	農	農	視	蚤					
は	393					巴	把	播	霸	杷	
	394	波	派	琶	破	婆	罵	芭	馬	俳	杷
	395	排	排	敗	杯	盃	牌	背	肺	輩	配
	396	倍	培	媒	梅	煤	煤	狼	買	壳	賠
	397	陪	這	蠅	秤	荻	荻	伯	剥	博	拍
	398	柏	泊	白	蝟	箔	粕	薄	迫	曝	漠
	399	爆	縛	莫	駁	麥					
	400		函	箱	裕	簪	肇	苦	櫛	幅	肌
	401	畑	皇	八	鉢	澆	癸	醜	髮	伐	罰
	402	拔	筏	閥	鳩	漸	塙	蛤	隼	伴	判
	403	半	反	叛	帆	搬	斑	板	汎	汎	煩
	404	犯	班	畔	繁	般	販	範	範	采	煩
	405	頒	飯	挽	晚	番	盤	磬	蕃	蚤	
ひ	405										匪
	406	卑	否	妃	庇	彼	悲	扉	批	披	斐
	407	比	泌	疲	皮	碑	秘	緋	罷	肥	被
	408	誹	費	疲	非	樋	樋	備	備	尾	微
	409	枇	毘	毘	眉	美					
	410		鼻	柸	稗	匹	疋	髭	彦	膝	菱
	411	肘	弼	必	畢	筆	逼	桧	姬	媛	紐
	412	百	謬	儀	彪	標	水	漂	瓢	票	表
	413	評	豹	廟	描	病	秒	苗	苗	鈇	蒜
	414	蛭	鱸	品	彬	斌	瀕	貧	貧	賣	頻

1~3 桁目	4桁目										
	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	
ふ	415	敏	瓶								
	415			不	付	埠	夫	婦	富	富	布
	416	府	怖	扶	敷	斧	普	浮	父	符	腐
	417	膚	芙	譜	負	賦	赴	阜	附	侮	撫
	418	武	舞	葡	蕪	部	封	楓	風	葺	落
	419	伏	副	復	幅	服					
	420		福	腹	複	覆	淵	弗	払	沸	仏
	421	物	福	腹	複	覆	淵	弗	払	沸	仏
	422	粉	糞	紛	雰	文	聞				
へ	422							丙	併	兵	塀
	423	幣	平	弊	柄	並	蔽	閉	陛	米	眞
	424	僻	壁	癖	碧	別	瞥	蔑	篋	偏	変
	425	片	篇	編	辺	返	遍	便	勉	婉	弁
	426	鞭									
ほ	426		保	舗	舗	圃	捕	步	甫	補	輔
	427	穂	募	墓	慕	戊	暮	母	簿	菩	倣
	428	俸	包	呆	報	奉	宝	峯	峯	崩	庖
	429	抱	捧	放	方	昉					
	430		法	泡	泡	邦	縫	胞	芳	萌	蓬
	431	蜂	褒	訪	豊	邦	鋒	飽	鳳	鵬	乏
	432	亡	傍	剖	坊	妨	帽	忘	忙	房	暴
	433	望	某	棒	冒	紡	肪	膨	謀	貌	質
	434	銑	防	吠	頬	北	僕	卜	墨	撲	朴
	435	牧	防	睦	鈕	勃	沒	殆	堀	幌	奔
	436	本		翻	凡	盆					
ま	436						摩	磨	魔	麻	埋
	437	昧	枚	每	哩	模	幕	膜	枕	鮪	枉
	438	籩	榭	亦	俣	又	抹	末	沫	迄	俣
	439	繭	廡	萬	慢	滿					
	440			漫							
みむ	440				味	未	魅	巳	箕	岬	密
	441	蜜	湊	蓑	稔	脈	妙	耗	民	眠	務
	442	夢	無	牟	矛	霧	鷓	棕	婿	娘	
め	442										冥
	443	名	命	明	盟	迷	銘	鳴	姪	牝	滅
	444	免	棉	綿	緬	緬	麵				
も	444							摸	模	茂	妄
	445	孟	毛	猛	盲	網	耗	蒙	儲	木	默
	446	目	空	勿	餅	尤	戾	糲	質	問	悶
	447	紋	門	匆							
や	447					也	冶	夜	爺	野	弥
	448	矢	厄	役	約	藥	詛	躍	靖	柳	敷
	449	鍵									
ゆ	449		愉	愈	油	癒	優	勇	友	宥	幽
	450		諭	輸	唯	佑	湧	湧	猶	猷	由
	451	悠	憂	裕	誘	遊	邑	郵	融	夕	
	452	祐									予
よ	452										予
	453	余	与	譽	輿	預	傭	幼	妖	容	庸
	454	揚	搖	擁	曜	楊	樣	洋	溶	熔	用
	455	糞	羊	耀	葉	蓉	要	詔	踊	遥	陽
	456	養	慾	抑	欲	沃	浴	翌	翼	淀	
ら	456										羅
	457	螺	裸	來	萊	賴	雷	洛	絡	落	酪
	458	乱	卵	嵐	欄	濫	藍	蘭	覽		
り	458									利	吏
	459	履	李	梨	理	璃					
	460		刺	裏	裡	里	離	陸	律	率	立
	461	律	掠	略	劉	流	溜	琉	留	疏	粒
	462	隆	竜	龍	侶	慮	旅	虜	了	亮	僚
	463	両	凌	寮	料	梁	涼	獵	療	瞭	稜
	464	糧	良	諒	淋	量	陵	領	力	綠	倫
	465	厘	林	淋	量	淋	臨	輪	隣	冷	麟
るれ	466	瑠	瑠	淚	累	類	令	伶	例	零	勵
	467	嶺	嶺	玲	玲	苓	鈴	隸	零	靈	麗
	468	齡	曆	歷	列	劣	烈	裂	廉	戀	憐
	469	漣	煉	簾	練	練					
	470			蓮	連	鍊					

1~3 桁目	4桁目									
	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9
ろ	470				呂	魯	櫓	炉	路	路
	471	露	勞	婁	廊	朗	樓	榔	浪	漏
	472	牢	狼	籠	老	蠶	郎	六	麓	碌
	473	肋	録	論						
わ	473			倭	和	話	歪	賄	脇	惑
	474	梓	鷲	瓦	亘	鰐	託	藁	蕨	湾
	475	碗	腕							
第2水準漢字	480		弋	巧	丕	个	卬	丿	并	ノ
	481	乖	乘	亂	丁	豫	爭	舒	式	于
	482	亟	亾	亢	京	毫	亶	从	仍	仄
	483	仂	仗	仞	仞	仞	仞	仞	仞	仞
	484	佝	佝	佝	佝	佝	佝	佝	佝	佝
	485	侑	侑	侑	侑	侑	侑	侑	侑	侑
	486	侑	侑	侑	侑	侑	侑	侑	侑	侑
	487	倅	倅	倅	倅	倅	倅	倅	倅	倅
	488	偃	偃	偃	偃	偃	偃	偃	偃	偃
	489	傀	傀	傀	傀	傀	傀	傀	傀	傀
	490		僉	僉	僉	僉	僉	僉	僉	僉
	491	僉	僉	僉	僉	僉	僉	僉	僉	僉
	492	僉	僉	僉	僉	僉	僉	僉	僉	僉
	493	兢	兢	兢	兢	兢	兢	兢	兢	兢
	494	罔	青	暮	冕	冂	冂	冂	冂	冂
	495	冂	冂	冂	冂	冂	冂	冂	冂	冂
	496	几	几	几	几	几	几	几	几	几
	497	刂	刂	刂	刂	刂	刂	刂	刂	刂
	498	刂	刂	刂	刂	刂	刂	刂	刂	刂
	499	劒	劒	劒	劒	劒	劒	劒	劒	劒
	500		勛	勛	勛	勛	勛	勛	勛	勛
	501	勛	勛	勛	勛	勛	勛	勛	勛	勛
	502	匸	匸	匸	匸	匸	匸	匸	匸	匸
	503	匸	匸	匸	匸	匸	匸	匸	匸	匸
	504	厄	厄	厄	厄	厄	厄	厄	厄	厄
	505	廠	廠	廠	廠	廠	廠	廠	廠	廠
	506	叭	叭	叭	叭	叭	叭	叭	叭	叭
	507	吩	吩	吩	吩	吩	吩	吩	吩	吩
	508	咒	咒	咒	咒	咒	咒	咒	咒	咒
	509	啞	啞	啞	啞	啞	啞	啞	啞	啞
	510		咫	咫	咫	咫	咫	咫	咫	咫
511	唔	唔	唔	唔	唔	唔	唔	唔	唔	
512	售	售	售	售	售	售	售	售	售	
513	咯	咯	咯	咯	咯	咯	咯	咯	咯	
514	喻	喻	喻	喻	喻	喻	喻	喻	喻	
515	嘔	嘔	嘔	嘔	嘔	嘔	嘔	嘔	嘔	
516	嘴	嘴	嘴	嘴	嘴	嘴	嘴	嘴	嘴	
517	摩	摩	摩	摩	摩	摩	摩	摩	摩	
518	囟	囟	囟	囟	囟	囟	囟	囟	囟	
519	囟	囟	囟	囟	囟	囟	囟	囟	囟	
520		圉	圉	圉	圉	圉	圉	圉	圉	
521	坏	坏	坏	坏	坏	坏	坏	坏	坏	
522	埤	埤	埤	埤	埤	埤	埤	埤	埤	
523	埔	埔	埔	埔	埔	埔	埔	埔	埔	
524	堡	堡	堡	堡	堡	堡	堡	堡	堡	
525	墟	墟	墟	墟	墟	墟	墟	墟	墟	
526	墟	墟	墟	墟	墟	墟	墟	墟	墟	
527	壻	壻	壻	壻	壻	壻	壻	壻	壻	
528	天	天	天	天	天	天	天	天	天	
529	奮	奮	奮	奮	奮	奮	奮	奮	奮	
530		姘	姘	姘	姘	姘	姘	姘	姘	
531	姜	姜	姜	姜	姜	姜	姜	姜	姜	
532	姘	姘	姘	姘	姘	姘	姘	姘	姘	
533	嫵	嫵	嫵	嫵	嫵	嫵	嫵	嫵	嫵	
534	嬌	嬌	嬌	嬌	嬌	嬌	嬌	嬌	嬌	
535	孀	孀	孀	孀	孀	孀	孀	孀	孀	
536	學	學	學	學	學	學	學	學	學	
537	寔	寔	寔	寔	寔	寔	寔	寔	寔	
538	寔	寔	寔	寔	寔	寔	寔	寔	寔	
539	尹	尹	尹	尹	尹	尹	尹	尹	尹	
540		岍	岍	岍	岍	岍	岍	岍	岍	
541	岍	岍	岍	岍	岍	岍	岍	岍	岍	

1~3 桁目	4桁目									
	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9
	542	峇	峙	峇	峇	峇	峇	峇	峇	峇
	543	峇	峙	峇	峇	峇	峇	峇	峇	峇
	544	峇	峙	峇	峇	峇	峇	峇	峇	峇
	545	峇	峙	峇	峇	峇	峇	峇	峇	峇
	546	峇	峙	峇	峇	峇	峇	峇	峇	峇
	547	峇	峙	峇	峇	峇	峇	峇	峇	峇
	548	峇	峙	峇	峇	峇	峇	峇	峇	峇
	549	峇	峙	峇	峇	峇	峇	峇	峇	峇
	550	峇	峙	峇	峇	峇	峇	峇	峇	峇
	551	峇	峙	峇	峇	峇	峇	峇	峇	峇
	552	峇	峙	峇	峇	峇	峇	峇	峇	峇
	553	峇	峙	峇	峇	峇	峇	峇	峇	峇
	554	峇	峙	峇	峇	峇	峇	峇	峇	峇
	555	峇	峙	峇	峇	峇	峇	峇	峇	峇
	556	峇	峙	峇	峇	峇	峇	峇	峇	峇
	557	峇	峙	峇	峇	峇	峇	峇	峇	峇
	558	峇	峙	峇	峇	峇	峇	峇	峇	峇
	559	峇	峙	峇	峇	峇	峇	峇	峇	峇
	560	峇	峙	峇	峇	峇	峇	峇	峇	峇
	561	峇	峙	峇	峇	峇	峇	峇	峇	峇
	562	峇	峙	峇	峇	峇	峇	峇	峇	峇
	563	峇	峙	峇	峇	峇	峇	峇	峇	峇
	564	峇	峙	峇	峇	峇	峇	峇	峇	峇
	565	峇	峙	峇	峇	峇	峇	峇	峇	峇
	566	峇	峙	峇	峇	峇	峇	峇	峇	峇
	567	峇	峙	峇	峇	峇	峇	峇	峇	峇
	568	峇	峙	峇	峇	峇	峇	峇	峇	峇
	569	峇	峙	峇	峇	峇	峇	峇	峇	峇
	570	峇	峙	峇	峇	峇	峇	峇	峇	峇
	571	峇	峙	峇	峇	峇	峇	峇	峇	峇
	572	峇	峙	峇	峇	峇	峇	峇	峇	峇
	573	峇	峙	峇	峇	峇	峇	峇	峇	峇
	574	峇	峙	峇	峇	峇	峇	峇	峇	峇
	575	峇	峙	峇	峇	峇	峇	峇	峇	峇
	576	峇	峙	峇	峇	峇	峇	峇	峇	峇
	577	峇	峙	峇	峇	峇	峇	峇	峇	峇
	578	峇	峙	峇	峇	峇	峇	峇	峇	峇
	579	峇	峙	峇	峇	峇	峇	峇	峇	峇
	580	峇	峙	峇	峇	峇	峇	峇	峇	峇
	581	峇	峙	峇	峇	峇	峇	峇	峇	峇
	582	峇	峙	峇	峇	峇	峇	峇	峇	峇
	583	峇	峙	峇	峇	峇	峇	峇	峇	峇
	584	峇	峙	峇	峇	峇	峇	峇	峇	峇
	585	峇	峙	峇	峇	峇	峇	峇	峇	峇
	586	峇	峙	峇	峇	峇	峇	峇	峇	峇
	587	峇	峙	峇	峇	峇	峇	峇	峇	峇
	588	峇	峙	峇	峇	峇	峇	峇	峇	峇
	589	峇	峙	峇	峇	峇	峇	峇	峇	峇
	590	峇	峙	峇	峇	峇	峇	峇	峇	峇
	591	峇	峙	峇	峇	峇	峇	峇	峇	峇
	592	峇	峙	峇	峇	峇	峇	峇	峇	峇
	593	峇	峙	峇	峇	峇	峇	峇	峇	峇
	594	峇	峙	峇	峇	峇	峇	峇	峇	峇
	595	峇	峙	峇	峇	峇	峇	峇	峇	峇
	596	峇	峙	峇	峇	峇	峇	峇	峇	峇
	597	峇	峙	峇	峇	峇	峇	峇	峇	峇
	598	峇	峙	峇	峇	峇	峇	峇	峇	峇
	599	峇	峙	峇	峇	峇	峇	峇	峇	峇
	600	峇	峙	峇	峇	峇	峇	峇	峇	峇
	601	峇	峙	峇	峇	峇	峇	峇	峇	峇
	602	峇	峙	峇	峇	峇	峇	峇	峇	峇
	603	峇	峙	峇	峇	峇	峇	峇	峇	峇
	604	峇	峙	峇	峇	峇	峇	峇	峇	峇
	605	峇	峙	峇	峇	峇	峇	峇	峇	峇
	606	峇	峙	峇	峇	峇	峇	峇	峇	峇
	607	峇	峙	峇	峇	峇	峇	峇	峇	峇
	608	峇	峙	峇	峇	峇	峇	峇	峇	峇
	609	峇	峙	峇	峇	峇	峇	峇	峇	峇
	610	峇	峙	峇	峇	峇	峇	峇	峇	峇

1～3 桁目	4桁目									
	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9
749	樓	禪	禪	襠	襤					
750		襦	襦	襦	襦	襦	襦	襦	襦	襦
751	覷	覷	覷	覷	覷	覷	覷	覷	覷	覷
752	覷	覷	覷	覷	覷	覷	覷	覷	覷	覷
753	訃	訃	訃	訃	訃	訃	訃	訃	訃	訃
754	詒	詒	詒	詒	詒	詒	詒	詒	詒	詒
755	誨	誨	誨	誨	誨	誨	誨	誨	誨	誨
756	誑	誑	誑	誑	誑	誑	誑	誑	誑	誑
757	誑	誑	誑	誑	誑	誑	誑	誑	誑	誑
758	誑	誑	誑	誑	誑	誑	誑	誑	誑	誑
759	證	證	證	證	證	證	證	證	證	證
760		讓	讓	讓	讓	讓	讓	讓	讓	讓
761	讓	讓	讓	讓	讓	讓	讓	讓	讓	讓
762	豐	豕	豕	豕	豕	豕	豕	豕	豕	豕
763	貍	貍	貍	貍	貍	貍	貍	貍	貍	貍
764	貳	貳	貳	賈	賈	賈	賈	賈	賈	賈
765	賈	賈	賈	賈	賈	賈	賈	賈	賈	賈
766	賈	賈	賈	賈	賈	賈	賈	賈	賈	賈
767	賈	賈	賈	賈	賈	賈	賈	賈	賈	賈
768	跟	跟	跟	跟	跟	跟	跟	跟	跟	跟
769	蹂	蹂	蹂	蹂	蹂	蹂	蹂	蹂	蹂	蹂
770		躡	躡	躡	躡	躡	躡	躡	躡	躡
771	躡	躡	躡	躡	躡	躡	躡	躡	躡	躡
772	躡	躡	躡	躡	躡	躡	躡	躡	躡	躡
773	軾	軾	軾	軾	軾	軾	軾	軾	軾	軾
774	軾	軾	軾	軾	軾	軾	軾	軾	軾	軾
775	軾	軾	軾	軾	軾	軾	軾	軾	軾	軾
776	軾	軾	軾	軾	軾	軾	軾	軾	軾	軾
777	軾	軾	軾	軾	軾	軾	軾	軾	軾	軾
778	軾	軾	軾	軾	軾	軾	軾	軾	軾	軾
779	迳	迳	迳	迳	迳	迳	迳	迳	迳	迳
780		邊	邊	邊	邊	邊	邊	邊	邊	邊
781	邊	邊	邊	邊	邊	邊	邊	邊	邊	邊
782	邊	邊	邊	邊	邊	邊	邊	邊	邊	邊
783	邊	邊	邊	邊	邊	邊	邊	邊	邊	邊
784	醱	醱	醱	醱	醱	醱	醱	醱	醱	醱
785	醱	醱	醱	醱	醱	醱	醱	醱	醱	醱
786	釵	釵	釵	釵	釵	釵	釵	釵	釵	釵
787	鈕	鈕	鈕	鈕	鈕	鈕	鈕	鈕	鈕	鈕
788	鈕	鈕	鈕	鈕	鈕	鈕	鈕	鈕	鈕	鈕
789	鈕	鈕	鈕	鈕	鈕	鈕	鈕	鈕	鈕	鈕
790		錙	錙	錙	錙	錙	錙	錙	錙	錙
791	錙	錙	錙	錙	錙	錙	錙	錙	錙	錙
792	鑿	鑿	鑿	鑿	鑿	鑿	鑿	鑿	鑿	鑿
793	鑿	鑿	鑿	鑿	鑿	鑿	鑿	鑿	鑿	鑿
794	鑿	鑿	鑿	鑿	鑿	鑿	鑿	鑿	鑿	鑿
795	鑿	鑿	鑿	鑿	鑿	鑿	鑿	鑿	鑿	鑿
796	閔	閔	閔	閔	閔	閔	閔	閔	閔	閔
797	閔	閔	閔	閔	閔	閔	閔	閔	閔	閔
798	關	關	關	關	關	關	關	關	關	關
799	陟	陟	陟	陟	陟	陟	陟	陟	陟	陟
800		陟	陟	陟	陟	陟	陟	陟	陟	陟
801	險	險	險	險	險	險	險	險	險	險
802	雋	雋	雋	雋	雋	雋	雋	雋	雋	雋
803	霏	霏	霏	霏	霏	霏	霏	霏	霏	霏
804	霏	霏	霏	霏	霏	霏	霏	霏	霏	霏
805	靸	靸	靸	靸	靸	靸	靸	靸	靸	靸
806	靸	靸	靸	靸	靸	靸	靸	靸	靸	靸
807	韠	韠	韠	韠	韠	韠	韠	韠	韠	韠
808	韶	韶	韶	韶	韶	韶	韶	韶	韶	韶
809	顏	顏	顏	顏	顏	顏	顏	顏	顏	顏
810		飶	飶	飶	飶	飶	飶	飶	飶	飶
811	餠	餠	餠	餠	餠	餠	餠	餠	餠	餠
812	餠	餠	餠	餠	餠	餠	餠	餠	餠	餠
813	餠	餠	餠	餠	餠	餠	餠	餠	餠	餠
814	馮	馮	馮	馮	馮	馮	馮	馮	馮	馮
815	馮	馮	馮	馮	馮	馮	馮	馮	馮	馮
816	馮	馮	馮	馮	馮	馮	馮	馮	馮	馮
817	馮	馮	馮	馮	馮	馮	馮	馮	馮	馮

1～3 桁目	4桁目									
	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9
818	髡	髡	髡	髡	髡	髡	髡	髡	髡	髡
819	髡	髡	髡	髡	髡	髡	髡	髡	髡	髡
820		鬚	鬚	鬚	鬚	鬚	鬚	鬚	鬚	鬚
821	鬚	鬚	鬚	鬚	鬚	鬚	鬚	鬚	鬚	鬚
822	鬚	鬚	鬚	鬚	鬚	鬚	鬚	鬚	鬚	鬚
823	鮓	鮓	鮓	鮓	鮓	鮓	鮓	鮓	鮓	鮓
824	鮓	鮓	鮓	鮓	鮓	鮓	鮓	鮓	鮓	鮓
825	鮓	鮓	鮓	鮓	鮓	鮓	鮓	鮓	鮓	鮓
826	鮓	鮓	鮓	鮓	鮓	鮓	鮓	鮓	鮓	鮓
827	鮓	鮓	鮓	鮓	鮓	鮓	鮓	鮓	鮓	鮓
828	鮓	鮓	鮓	鮓	鮓	鮓	鮓	鮓	鮓	鮓
829	鸚	鸚	鸚	鸚	鸚	鸚	鸚	鸚	鸚	鸚
830	鸚	鸚	鸚	鸚	鸚	鸚	鸚	鸚	鸚	鸚
831	鸚	鸚	鸚	鸚	鸚	鸚	鸚	鸚	鸚	鸚
832	鸚	鸚	鸚	鸚	鸚	鸚	鸚	鸚	鸚	鸚
833	鸚	鸚	鸚	鸚	鸚	鸚	鸚	鸚	鸚	鸚
834	麩	麩	麩	麩	麩	麩	麩	麩	麩	麩
835	麩	麩	麩	麩	麩	麩	麩	麩	麩	麩
836	黠	黠	黠	黠	黠	黠	黠	黠	黠	黠
837	黠	黠	黠	黠	黠	黠	黠	黠	黠	黠
838	黠	黠	黠	黠	黠	黠	黠	黠	黠	黠
839	誦	誦	誦	誦	誦	誦	誦	誦	誦	誦
840		堯	堯	堯	堯	堯	堯	堯	堯	堯

索引

数字

1200dpi 印刷	44
600dpi 印刷	44
802.1X	119
802.1X認証設定	118

A

APPLETALK使用	78
AppleTalkプロトコルを設定する	78

D

DHCP使用 (IPアドレス)	73, 75
DHCP使用 (オプション)	73, 75
DHCP有効 (オプション)	71

E

EAP-MD5	118
EAP-MSCHAP	118
EAP-TLS	118
EAP-TTLS	118
EAPユーザ名	121
Ethernet速度を設定する	79
ETHERNET通信速度／通信方式設定	79
Eメール	24
Eメール確認	28
Eメール設定	91
Eメールの件名を設定する	92

F

FQDNアップデート方法	73, 75
FQDNオプション	73, 75
Fコード	20

H

HTTPサーバー使用	78
HTTPネットワークサービスを設定する	78

I

IPv6プロトコル	71, 72, 74
IPX/SPXプロトコルを設定する	76
IPX/SPX使用	76
IPアドレス	69, 71
IPセキュリティを設定する	80
IPフィルタリング	79

L

LANケーブルのリンクダウン検出	79
LDAP、フィルタリング機能、リンクダウン検出を設定する	79
LDAP使用	79
LLMNR	71, 72, 74

M

MACアドレスフィルタリング	79
----------------	----

N

NDS使用	76
NetBIOS名	77
Netware使用	76
NetWareを設定する	76

O

OCRカウンタを表示する	126
--------------	-----

P

PEAP	118
------	-----

S

SMBプロトコル	77
SMBプロトコルを設定する	77
SSIDとパスフレーズによる接続を設定する	32
SSL使用	78

T

TCP/IPプロトコルを設定する (IPv4)	69
TCP/IPプロトコルを設定する (IPv6)	70

U

USBケーブル印刷	115
-----------	-----

W

Wi-Fi Direct設定	32
WINSセカンダリ	77
WINSプライマリ	77

あ

新しい部門コードの登録	132
厚紙セット	62
圧縮率	17
宛先の検索結果の表示順設定	26
宛先の登録	23
宛先の編集／削除	26
宛先を検索する	26
アドレス設定方法	69, 71, 72, 74
アドレス帳	23
アドレス帳リスト	20
アドレス帳を管理する	23
暗号化レベル	98

い

位置合わせ	43
位置を補正する	12, 46
異方向用紙の許可	82, 107
印刷用パスワード	88
インターネットファクス設定	29, 93
インテグリティチェックを実行する	100

う

ウィークリータイマー	41
ウィークリータイマーを設定する	42

お

オートカセットチェンジ	82, 107
オートクリアを設定する	46
オプションのライセンスを管理する	46
オプションをインストールする	48

か

会社名	24
回線増設ユニットを設定する	88
回線モニタ	86
解像度	15, 18
外部キーボードレイアウト	61
カウンタ管理メニューに入る	124
カセット	21, 116
カセット引き出し時用紙サイズ・タイプ確認	62

画像粗さを切り替える	45	システムをアップデートする	54
画像回転	17	下地調整	18
紙詰り解除後の印刷	62	自動印刷	103
カラー原稿モード	13	自動階調補正	43
カラーモード	13, 17	自動階調補正と位置合わせの操作を設定する	43
簡易階調補正を設定する	12	自動階調補正を設定する	12, 44
管理者設定メニューに入る	35	自動カラー選択時の原稿モード	13
管理者パスワードを変更する	40	自動カラー選択時のモノクロページ画質	17
管理者メッセージ	39	自動カラー選択時モノクロページ濃度調整	17
き		自動カラー選択の初期値	82
キーボード設定を変更する	61	自動カラー選択判定レベル	14, 17
機器情報を設定する	39	自動節電モード	41
機器設定	11, 37	自動節電モードを設定する	42
既定の件名	92	自動でIPv6の設定を行う	
既定の電源オフ動作	60	ステートフルのネットワーク環境	74
機密受信	88	ステートレスのネットワーク環境	72
強制暗号化	98	自動両面	82
切り捨て印刷	87	写真	19
記録モードを設定する	87	縦横交互排紙	87
く		終了音量	86
区点コード表	168	縮小印刷	87
グループの検索	27	受信管理記録	103
グループの登録	27	受信終了音	86
グループの編集/削除	27	受信専用	88
グループメンバーの確認	27	受信方法	85
グループリスト	20	受信元情報	84, 85
グループを管理する	27	出力形式	102
け		手動でIPv6の設定を行う	71
ゲートウェイ	69, 71	情報	39
権限	98	証明書をインポートする	94
原稿送り装置のスジ低減レベルを設定する	62	証明書を管理する	94
原稿外消去	83	初期化	113
原稿モード	13, 15, 18	初期設定	
件名	91	802.1X認証	119
件名のカスタマイズ	92	IPセキュリティ	80
こ		初期設定に戻す	44
コピー	44, 62	初期設定をする	85
コピー/プリント割当を初期化する	137	ジョブ強制続行（排紙先設定違い）	107
コピー 600dpi	44	ジョブ強制続行（パンチ屑フル）	83, 90, 108
コピー設定	13, 82	ジョブスキップ設定	61
コピー設定手差し用紙	13	ジョブスキップを設定する	61
さ		白黒原稿モード	13
サービスコンテキスト	76	白黒無制限の有効/無効を設定する	137
サービスツリー	76	新規に補正する	44
サービス電話番号	39	す	
サービス用パスワードをリセットする	40	スーパースリープ	41, 43
最大コピー部数	82	スーパースリープモード	41
サブネットマスク	69	スキャン	62
し		スキャンカウンタを表示する	126
自局名を登録する	84	スキャン設定	17
時刻指定	88	ステータスメッセージを設定する	46
システムアップデートを実行する	54	スリープ移行時間	41, 43
システム設定リスト		スリープモード	41
管理者	148	スリープモードまたはスーパースリープモードを	
ユーザ	20	設定する	43
システムの初期化	113	せ	
		姓	24
		制限	77
		製品情報を表示する	47

製本	14
セカンダリポート番号	78
セキュアPDFの初期設定をする	98
セキュリティ設定	94
セキュリティモードを設定する	109
セッション消去	80
設置場所	39
設定確認	119
[設定/登録]からアドレス帳に登録する	24
節電モードを設定する	41
セルフチェック間隔を設定する	63
センタリングコピー	83
全部門一括制限の有効/無効を設定する	137
全部門のカウンタをリセットする	138
全部門を削除する	138
そ	
ソートモード	82
ゾーン名	78
送/受信	88
送信管理記録	103
送信者アドレス	91, 93
送信者名	91, 93
ソフトウェアキーボード	61
た	
帯電チャージャとLEDプリントヘッドを クリーニングする	62
ダイヤルイン	86
ダイヤルタイプ	86
ダイヤルタイプ (回線2)	86
ダイレクト送信	104
ち	
中継親局結果表	104
中継子局	104, 105
中継孫局	104
つ	
通信受付表	102
通信受付表を設定する	105
通信記録出力	102
通信記録出力を設定する	102
通信結果表	102
通信結果表を設定する	103
て	
データバックアップ/リストアを設定する	63
データをUSBメディアからリストアする	66
データをUSBメディアにバックアップする	64
データを外部サーバーからリストアする	67
データを外部サーバーにバックアップする	65
ディスプレイを調整する	12
デバイス証明書をエクスポートする	97
デバイス名	78
電源オフ画面の表示/電源オフ時の動作を 設定する	60
電源オフ方法選択画面	60
電話番号	24
電話番号2	24

と	
トータルカウンタ	125
トータルカウンタ印刷	127
同報送信	104
トナー切れ事前通知	46
トナーモード	13
な	
名	24
ナンバーディスプレイ回線	86
に	
日時を設定する	41
ね	
ネットワーク状態を確認する	81
ネットワーク設定	68
ネットワーク設定ページ	146
の	
濃度	13, 15, 18
濃度調整	
カラー	13
白黒	13
ブルー	13
は	
ハイコントラスト表示を設定する	11
排紙トレイ自動切替 (カスケード印刷)	83, 108
バインダリサーバー	76
白紙ページ除去判定レベル	14, 17
パスワードを管理する/サービス用パスワードを リセットする	40
発信元情報	84, 85
番号入力画面	145
ひ	
備考	24
日付/時刻	41
日付表示形式	41
表示	61
表示言語を削除する	52
表示言語を追加/削除する	50
表示言語を追加する	51
表示言語を変更する	11
標準	19
標準で使用する言語を設定する	53
ふ	
ファイリングボックス	19
ファイル設定	90
ファクス設定	15, 84
ファンクションボタンの機能を設定する	63
ファンクションボタンの機能を表示する	12
複数宛先送信前確認	16
複製データをインストールする	56
複製データを作成/インストールする	56
複製ファイルを作成する	58
部署名	24
復活送信を設定する	88
ブック両面	14
部門OCRカウンタを表示する	129

部門カウンタのクリア	136
部門管理	130
部門管理カウンタ	128
部門管理の有効/無効を設定する	131
部門コードの削除	135
部門コードの変更	134
部門コードリストを印刷する	131
部門コードを登録/変更/削除する	131
部門スキャンカウンタ	129
部門ファクス送信カウンタを表示する	129
部門プリントカウンタを表示する	129
プライベート印刷/ホールド印刷の 自動リリース	108
プライマリポート番号	78
プリンタ/ファイリングボックス	107
プリントカウンタを表示する	126
ブルー印刷濃度を設定する	63
ブルー原稿モード	13
Bluetooth	112
Bluetooth印刷	31
フレームタイプ	76
プレゼンテーション	19
プレビュー設定	16, 17
プレフィックス	71
分割送信サイズ	91
分割ページサイズ	93
へ	
ページ集約	14
ほ	
ホーム画面設定	142
ポーリング	104
ホチキス針無し時の印刷中断	82, 107
ポップアップメッセージを設定する	62
ポリシー名	80
本文	91, 93
本文送信	91, 93
ま	
マスタパスワード	98
む	
無線LAN	109
め	
メール通知を設定する	39
メモリ送信	104
も	
文字入力画面	144
文字入力のしかた	144
モニタ音量	86
ゆ	
ユーザ証明書のCommon Nameを ユーザ名に使う	121
ユーザ設定メニューに入る	10
ユーザパスワード	98
ユーザパスワードに認証コードを使用	98
ユーザパスワード変更	117
優先サーバ	76

よ	
用紙切れ通知	46
用紙サイズを設定する	21
用紙種類を設定する	22
ら	
ライセンス情報を表示する	47
ラインアート	19
り	
リスト印刷	20
リスト印刷/レポート設定	102
リスト印字	146
リストを印刷する	106
リモート	105
リモート受信	85
両面印刷	87
両面モード	17
リング音量	86
リンクローカルアドレス	71, 72, 74
れ	
レイアウト	61
レポート出力を設定する	102
ろ	
ローカル	105
ログ一覧からアドレス帳に登録する	25
ログエクスポートを実行する	60
ログオン	77
ログをエクスポートする	60
わ	
割当管理	133

FC-2000AC
FC-2505AC/3505AC/4505AC/5005AC
DP-2508A/3508A/4508A/5008A
FC-5506AC/6506AC/7506AC
DP-6508A/8508A
DP-3535/4535/5035
OMJ150060E0

東芝デジタル複合機

設定管理ガイド

e-STUDIO2000AC

e-STUDIO2505AC/3505AC/4505AC/5005AC

e-STUDIO2508A/3508A/4508A/5008A

e-STUDIO5506AC/6506AC/7506AC

e-STUDIO6508A/8508A

PAPER REUSING SYSTEM
Loops LP35 PAPER REUSING SYSTEM
Loops LP45 PAPER REUSING SYSTEM
Loops LP50

東芝テック株式会社

